

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校・習志野高校	
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校・習志野高等学校	
事業名	1 小学生・中学生・高校生のキャリア教育の推進			
		平成25年度事業費決算見込み額		-
事業の概要	◆小学生・中学生を対象にした職場体験を充実させます。 ◆職場体験を受け入れる企業を開拓します。 ◆中学校で、現在ある職業について学習する機会を増やします。 ◆高校3年間を見通した組織的な進路指導を充実させます。 ◆部活動を含めた学校教育全体を通してキャリア教育を推進します。			
平成25年度 事業目標	◆習志野商工会議所・習志野市商店会連合会に職場訪問及び職場体験学習の趣旨説明、受入の協力依頼、実施予定調査を集約するとともに、実施日が重ならないよう調整しキャリア教育を推進します。(指導課・小学校・中学校) ◆次代を支える人材の育成を目指して、小・中学校のキャリア教育の連携の充実を図り、児童・生徒の勤労観・職業観を育みます。 ◆講演会、研修会などを通して、生徒に職業観勤労観の育成を推進します。(指導課・小学校・中学校) ◆現代社会の学習・職業の研究を通じて、高校3年間を見通した組織的計画的な進路指導を充実させ、生徒の職業理解を推進します。(高校) ◆講演会、研修会などのガイダンスを通して、生徒に職業観勤労観の育成を推進します。(高校)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆中学校の校内研修会で講師として、キャリア教育について講話をし、キャリア教育の理念や具体的な取り組みについて周知を図りました。(指導課・中学校) ◆小・中学校の職場体験学習が円滑に実施できるよう、協力いただく関係各機関への依頼等をおこないました。(指導課・中学校・小学校) ◆職場体験は実施しませんが、講師をお招きして、生徒のなりたい職業を考えるための職業講座を行うなどのキャリア教育を実施しました。(習志野高校)				
評価指標	◆職場体験実施校数	平成24年度数値	◆小学校16校・中学校7校・高校0校	平成25年度数値	◆小学校16校・中学校7校・高校0校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆校内研修会や学校訪問の際に、キャリア発達の視点からの指導の重要性を周知、さらなる体験学習の推進に向けての指導をしたことが、事前・事後指導を含めた職場体験学習の充実につながり、子どもの職業観・勤労観の育成を支えました。(指導課・小学校・中学校) ◆日常の部活動等をはじめとする教育活動において、生徒は目的意識を持ち他の生徒と協力しながら心身ともに鍛えている中、外部講師による職業講座などで生徒の将来像について考える場を設けております。(習志野高校)	◆キャリア教育の推進には、異校種の連携をさらに発展させる必要があります。(指導課・小学校・中学校) ◆児童・生徒向けのキャリア発達に向けた講演会や研修会の実施にさらに力を入れていく必要があります。(指導課・小学校・中学校) ◆習志野高校の特質上、実際の職場体験の実施は厳しいと思われます。(習志野高校) - 部活動や授業の支障のないキャリア教育として、各学年ごとに職業講座などの幅広いキャリア教育をこれからも推進してまいります。(習志野高校)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆習志野商工会議所・習志野市商店会連合会に職場訪問及び職場体験学習の趣旨説明、受入の協力依頼、実施予定調査を集約するとともに、実施日が重ならないよう調整しキャリア教育を推進します。(指導課・小学校・中学校) ◆次代を支える人材の育成を目指して、小・中学校のキャリア教育の連携の充実を図り、児童・生徒の勤労観・職業観を育みます。(指導課・小学校・中学校) ◆講演会、研修会などを通して、生徒に職業観勤労観の育成を推進します。(指導課・小学校・中学校) ◆現代社会の学習・職業の研究を通じて、高校3年間を見通した組織的な進路指導を充実させ、生徒の職業理解を推進します。(習志野高校)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校・習志野高校	
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校・習志野高等学校	
事業名	2 開かれた学校づくりの推進			
		平成25年度事業費決算見込み額		-
事業の概要	◆開かれた学校づくりを推進するために、学校評議員制度をすべての市立小学校・中学校・高校に導入しています。			
平成25年度 事業目標	◆市立各小中高で、学校評議委員から意見を伺い、教育目標の具現化に生かすために今後も学校評議員制度を継続し、開かれた学校づくりを推進します。(小学校・中学校) ◆秋津小学校では、コミュニティースクールとして学校運営協議会を開催し、開かれた学校づくりを推進します。(小学校・中学校) ◆学校評議員協議会をさらに充実させるとともに、校内の学校評価に係る体制をより確立させたいと考えています。(高校)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆小学校・中学校・高校で教育目標の具現化や教育課題等、学校の実情や児童・生徒の実態に応じて学校評議員から意見を伺い、学校経営や教育活動に生かすために学校評議員制度を継続して導入し、開かれた学校づくりを推進しました。 ◆秋津小学校では、コミュニティースクールとして学校運営協議会を開催し、開かれた学校づくりを推進しました。(小学校) ◆毎学期、学校評議員協議会を開催し、学校評価の結果をもとに、保護者と学校の関係、地域と学校の関係、高等学校における心の教育など協議した。(習志野高校)				
評価指標	◆学校評議員制度導入校数 ◆学校運営協議会設置校数	平成24年度数値	◆小学校15校・中学校7校・高校1校 ◆小学校1校	平成25年度数値	◆小学校15校・中学校7校・高校1校 ◆小学校1校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆学校運営協議会の運営委員と学校評議員委員からの意見等が学校運営や教育活動を見直し改善するための参考となり、地域に開かれた学校づくりの推進が図られました。(指導課・小学校・中学校) ◆学校評価では、様々なご意見を頂戴し、それをもとに改善すべき点を校内職員で共有することができた。(習志野高校)	◆ご指摘に答え、推進していくところもありますが、課題の解決が困難な部分もあります。(習志野高校)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆市立各小中高で、学校評議員から意見を伺い、教育目標の具現化に生かすために今後も学校評議員制度を継続し、開かれた学校づくりを推進します。 ◆秋津小学校では、コミュニティースクールとして学校運営協議会を開催し、開かれた学校づくりを推進します。(小学校) ◆学校評議員協議会をさらに充実させるとともに、校内の学校評価に係る体制をより確率させたいと考えています。(習志野高校)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・総合教育センター	
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校	
事業名	3 個に応じた多様な指導の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	0円	
事業の概要	◆学校訪問等で授業研究を実施した際、個に応じた指導方法・学習形態の在り方に関して研究・協議を行い、きめ細かな指導をします。 ◆少人数指導による積極的な活動により、きめ細かな指導をします。			
平成25年度 事業目標	◆各学校で、より効果的な少人数指導及びチームティーチング指導を実施し、その成果と課題を明らかにしていきます。(指導課) ◆学校訪問等で授業を実践した際に、個に応じた指導方法・学習形態の在り方、指導と評価の一体化等に関して研究・協議を継続して いきます。(指導課・総合教育センター)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆小学校・中学校とも、算数・数学、理科を中心として、指導内容の学級の実態に応じて、少人数指導、チームティーチング指導によるきめ細かな指導を実施しました。(指導課) ◆学校訪問において、個に応じた多様な指導方法や学習形態の工夫について指導し、効果的な実践及び推進を図りました。(指導課・総合教育センター)				
評価指標	◆少人数授業実施校数	平成24年度数値	◆16校	平成25年度数値	◆23校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆指導内容や児童生徒の実態に応じた、指導方法や学習形態の工夫を実践し、児童生徒の学習意欲向上と学力の向上が図られるとともに、個に応じたきめ細かな学習支援を行うことができました。 ◆学校訪問等で、少人数指導やチームティーチング指導など、個に応じた指導方法や学習形態のあり方についての指導をおこなうことができました。	◆効果的な少人数指導・習熟度別指導等を行うための教科や単元の選定や、学習形態をどのようにしたらよいかについて、今後とも更に研究の必要性があります。 ◆教員の配置の方法により、従来の少人数学習担当が配置されていない学校がある現状の中で、一斉指導での個に応じた指導を充実するための指導方法や学習形態等についての研究をより一層深めていく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆各学校で、より効果的な少人数指導及びチームティーチング指導を実施し、その成果と課題を明らかにします。(指導課) ◆学校訪問等で授業を実践した際に、個に応じた指導方法・学習形態のあり方、指導と評価の一体化等に関して研究・協議を継続します。(指導課・総合教育センター)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	幼稚園・保育所・こども園・小学校	
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	幼稚園・保育所・こども園の5歳児担任・小学校1年生担任	
事業名	4 幼稚園・保育所・こども園・小学校関連研修会の推進			
		平成25年度事業費決算見込み額		-
事業の概要	◆幼稚園・保育所・こども園・小学校が連携して、保育・授業参観、合同研修会、相互職場交流研修、園児・児童の交流学习等を開催し、相互の連携に努めます。			
平成25年度事業目標	◆幼稚園・保育所・小学校間での交流を通して、子ども親や保育観・教育観を培い、幼稚園・保育所・こども園・小学校の職員それぞれが、長い期間で子どもの発達や教育を語れるようにします。(小学校) ◆幼児教育から小学校教育への円滑な接続を目指して、子どもの発達、教育内容や指導方法について相互理解を図り、それぞれの指導に生かします。(幼稚園・保育所・こども園)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆幼稚園・保育所・小学校間での交流を通して、子ども親や保育観・教育観及び発達段階に即した指導のあり方や情報交換を行い、それぞれの指導に生かしました。(小学校) ◆全体研修会を3回実施しました。(幼稚園・保育所・こども園) ◆市内15区の幼稚園・保育所・こども園・小学校で、地区ごとに幼児、児童の交流を計画・実施しました。(今年度、完全民営化となった私立保育所2園も引き続き事業を継続しました)(幼稚園・保育所・こども園) ◆各地区ごとの研修テーマにそって、情報交換や交流活動を実施しました。(幼稚園・保育所・こども園) ◆今年度完全民営化となった私立保育園2園も事業を継続しました。(保育所)			
評価指標	◆全体研修会開催回数	平成24年度数値	◆3回	平成25年度数値	◆3回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	なし
-------------------	---	-------------------	----

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆幼稚園・保育所・小学校間での交流を通して、子ども親や保育観・教育観及び発達段階に即した指導のあり方や情報交換を行ったことにより、それぞれの指導に生かすことができました。(小学校) ◆交流活動や互いの生活や学習の様子を参観することを通して、子どもの発達の相互理解につながり、互いの指導の在り方を見直すことができました。(幼稚園・保育所・こども園) ◆幼児にとっては交流活動を通して、小学校への期待や親しみを増すことができました。また、小学生に親しみや憧れの気持ちをもって進んでかかわろうとするようになりました。(幼稚園・保育所・こども園) ◆児童にとっては、交流活動を通して積極的にかかわる気持ちや思いやりの気持ちを育むことができ、自信につながりました。(幼稚園・保育所・こども園)	◆交流活動の充実に加えて日常の保育・教育の実態把握や情報交換が更に必要です。(小学校) ◆幼児教育から小学校教育へ円滑な接続をしていくために、相互の発達を捉えながら情報交換したり、互いの指導に活かしたりできるよう協議していく必要があります。(幼稚園・保育所・こども園)
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆幼稚園・保育所・小学校間での交流を通して、子ども親や保育観・教育観を培い、幼稚園・保育所・こども園・小学校の職員それぞれが、長い期間で子どもの発達や教育を語れるようにします。(小学校) ◆幼児教育から小学校教育への円滑な接続を目指して、子どもの発達、教育内容や指導方法について相互理解を図り、それぞれの指導に生かします。(幼稚園・保育所・こども園)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校	
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校	
事業名	5 福祉教育の推進			
		平成25年度事業費決算見込み額		
事業の概要	◆社会福祉協議会と連携を図り、福祉教育やボランティア活動に取り組んでいきます。 ◆勤労精神やボランティア精神を養う体験的な活動を経験するため、中学生の地域美化活動、地域独居老人給食サービスの手伝い、地域敬老会への参加等を推進します。			
平成25年度事業目標	◆各教科・道徳・総合的な学習・特別活動などにおいて、生徒の勤労精神やボランティア意識を高める実践を全中学校で実施します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆各校における総合的な学習や特別活動の中で、地域の福祉施設との交流が今まで以上に進められ、地域の催し物に積極的に参加しました。				
評価指標	◆ボランティア活動実施校数	平成24年度数値	◆小学校16校・中学校7校	平成25年度数値	◆小学校16校・中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆福祉施設との交流やボランティア活動をおこなうことで、人と人のつながりが生まれ福祉に対する理解が深まり、子どもの心身の健全な成長と自立を支える支援につながりました。 ◆地域独居老人給食サービスの手伝い、地域敬老会等のボランティア活動に中学生が体験活動で参加することにより、勤労精神やボランティア精神を育むことができ、子どもの心身の健全な成長と自立を支える支援につながりました。 ◆六中学区では、指定研究終了後も自主的にあいさつ運動・クリーン運動等を実施し、地域と学校間に福祉の意識が広がりました。	道徳教育などを通して、福祉教育の推進を図っていきます。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆各教科・道徳・総合的な学習・特別活動などにおいて、生徒の勤労精神やボランティア意識を高める実践を小・中学校で実施します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	クリーンセンター施設課・谷津干潟自然観察センター・公園緑地課	
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	市内小学校4年生児童	
事業名	6 環境教育の推進			
		平成25年度事業費決算見込み額		230,000円
事業の概要	◆小学生の環境教育を推進するための一環として、クリーンセンター(リサイクルプラザ・清掃工場)、谷津干潟自然観察センターの施設見学を実施します。			
平成25年度事業目標	◆事前に学校単位で、職員と担当教員の打合せを行い、時間配分、見学内容の見学行程表を作成しごみの減量、3Rの推進を図る学習になることを目指す。(クリーンセンター施設課) ◆野外観察を取り入れた体験プログラムを効果的に実施する。(谷津干潟自然観察センター・公園緑地課)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆谷津干潟自然観察センター実施プログラム(谷津干潟観察自然センター・公園緑地課) 「谷津干潟ビンゴ」(所要時間およそ70分) ○プログラム目標 ・谷津干潟に生息する生きものや自然を自ら探し、観察を楽しむ。 ・レンジャーによる事前や事後のレクチャーを通して、観察の仕方や、干潟の働きなどを学ぶ。 ・ラムサール条約について知る。 ○内容 ・谷津干潟に飛来した渡り鳥やカニや貝などの生きものや自然など、谷津干潟において見られるさまざまな要素を題材にしたビンゴシートを用いて、ゲーム形式で観察を行いました。本プログラムでは、観察センターの館内、および野外(谷津干潟周辺の遊歩道)から、谷津干潟を観察しました。児童には、ビンゴシートをきっかけに、野鳥や生き物探しやその観察を楽しんでもらい、体験を通じて谷津干潟の自然や生物について学習してもらいました。 ◆小学校4年生の環境教育の一環としてクリーンセンター(リサイクルプラザ・清掃工場)の施設見学を実施しました。(クリーンセンター施設課)			
評価指標	◆谷津干潟自然観察センター ◆クリーンセンター見学児童数	平成24年度数値	◆小学校4年生1,502人 ◆4年生1,498人	平成25年度数値 ◆小学校4年生1,526人 ◆小学校4年生1,525人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容
		◆谷津干潟自然観察センター実施プログラムの引率の教員向けのアンケートより抜粋 「ビンゴシートを使用したプログラムで、児童の生きものを探す意欲が高まり、効果的だった」 「生きものを発見する喜びや、楽しさを味わうこともできた」 「レンジャー職員によるレクチャーやボランティアによる観察のアドバイスや補助があり、児童の興味が高まった。」 「双眼鏡や望遠鏡を自分で使うことができるので、意欲が高まった」 ◆教師の意見・感想(クリーンセンター施設課) ・プラザでは、実際に物を触らせてもらうなど興味をもって学習できた。 ・手選別の苦労を見ることができ、分別の必要性を感じることができた。 ・見学だけでなく、作業している人から直接話を聞けてとてもよかった。 ・ビデオを見てからの見学はわかりやすかったが、専門的な言葉も多く難しくも感じられた。 ・ペットボトル等が、年間及び1日にどれ位の量リサイクルされているかなどの資料があると良いと思う。

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆教員向け事前説明会において、実際に野外を案内して谷津干潟の雰囲気を感じやすいことを呼びかけた結果、本年は昨年よりも野外での観察を取り入れる小学校が増えました。野外での活動により、子どもたちののびのびと観察することができました。(谷津干潟観察自然センター・公園緑地課) ◆ビンゴシートを使った手法や、観察や体験を多く取り込んだことで、児童は意欲的に活動にとりくみ、効果的に谷津干潟について学習することができました。(谷津干潟観察自然センター・公園緑地課) ◆本年も数多くの観察センターボランティアが児童の観察の補助に参加しましたが、児童や教員から感謝の言葉が数多くあり、よい交流の場や、やりがいの場になりました。(谷津干潟観察自然センター・公園緑地課) ◆何人もの児童が、後日に自分の家族とともに再び来館し、自分で観察した生き物や野鳥を、いきいきと父親や母親へ案内するなどしており、谷津干潟への愛着を育むような効果もあったと思われます。(谷津干潟観察自然センター・公園緑地課) ◆ごみの処理の流れ、ごみを減らす大切さとリサイクルの必要性を学んでもらいました。(クリーンセンター施設課)	◆本年度対応させていただいた児童の中には、じっと座って話を聞くことが困難だったり、他の児童と合わせて行動することが困難な児童がおり、観察センター職員やボランティアが対応にとまどうこともありました。特別な配慮の必要な児童についてはどのような対応をとるべきか、学校や教員にも事前に聞き取り、連携する必要があると考えられます。(谷津干潟観察自然センター・公園緑地課) ◆近年、児童数の多い小学校(172名)と児童数の少ない小学校(44名)があるため、説明時間等の調整が必要です。特に児童数の多い小学校については移動時間が長くなり説明時間の不足や子供達の集中力が低下してしまいます。(クリーンセンター施設課) ◆リサイクル処理量などをわかりやすい資料として整備しておく必要を感じます。(クリーンセンター施設課)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆来館した児童に、野鳥や生きものなどの自然の観察活動などを通じて、谷津干潟について体験的に学んでもらえるようにします。(谷津干潟観察自然センター・公園緑地課) ◆観察センターでの学習をより効果的に行うため、対応内容やこちらに求められる対応についてさらに詳しく聞き取るなど、教員との連携を図ります。(谷津干潟観察自然センター・公園緑地課) ◆事前に学校単位で、職員と担当教員の打合せを行い、時間配分、見学内容の見学行程表を作成し、ごみの減量、3Rの推進を図る学習になることを目指します。(クリーンセンター施設課)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・小学校・中学校	
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校	
事業名	7 学校健康教育の推進			
		平成25年度事業費決算見込み額		
事業の概要	◆思春期の子どもの心身の健康教育、特に体力向上や健康安全教育(エイズ・自然災害・交通災害・喫煙・薬物乱用・食育等)について指導を行います。			
平成25年度事業目標	◆食育等の健康教育や安全教育については、新学習指導要領においてお重点項目にあげられていることから、引き続き学校訪問の全体会等で指導していきます。 ◆体力・運動能力については、研修・研究会を充実させ、向上を図っていきます。 ◆県平均より下回る種目に関して、県平均を上回ることを目指していきます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆各学校で実施している事業等を研修会で発表し合い、参考とするようにしました。 ◆体力・運動能力調査を実施し、結果分析を行い、各校に配布しました。 ◆学校訪問等において、健康教育推進のための指導・助言を行いました。 ◆各中学校で、消防署の協力を得た救急救命法の学習の普及を行いました。				
評価指標	◆学校運動能力証合格率	平成24年度数値	◆小学校 33.92% 中学校 35.04%	平成25年度数値	◆小学校 32.5% ◆中学校 33.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆運動能力証合格者が中学校では昨年度より増加し、小学校では減少しています。新体力テストの市平均は県より上回る結果を出しており、各校における日頃の運動への取り組みが体力の維持・向上につながっています。 ◆薬物乱用防止教育では、生徒が薬物に関する正しい知識を身につけ、子どもの心身の健全な成長と自立を支える支援につながりました。 ◆救急救命法を通して必要な知識や実技を学ぶことで、安全に関する意識と命の大切さについて考える支援につながりました。(全中学校・小学校4校で実施)	◆体力・運動能力に関して、全体的に昨年度よりも運動能力証に合格する児童・生徒数が増加し、市の体力・運動能力の結果も県平均を上回る結果を出していますが、小学校においては走力50m走・投力、中学校では握力が劣っており、各学校で改善を図る取り組みが必要です。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆食育等の健康教育や安全教育については、新学習指導要領において重点項目にあげられていることから、引き続き学校訪問の全体会等で指導していきます。 ◆体力・運動能力については、研修・研究会を充実させ、向上を図っていきます。 ◆県平均より下回る種目に関して、県平均を上回ることを目指していきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	教育総務課
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	児童、生徒
事業名	8 学校施設の整備		
		平成25年度事業費決算見込み額	928,480千円
事業の概要	◆情報化社会等に対応しつつ、また防災対策として学校施設の大規模改造を行います。		
平成25年度 事業目標	◆大久保東小学校校舎、向山小学校体育館、屋敷小学校校舎、第一中学校体育館、第三中学校校舎新館、第四中学校校舎旧館の耐震補強工事及び、前年度に引き続き東習志野小学校校舎、藤崎小学校校舎・体育館、向山小学校校舎、実花小学校体育館、第四中学校校舎新館、第五中学校体育館、第六中学校校舎の耐震補強設計を行う。 また、引き続き津田沼小学校全面改築事業のプール・外構工事、谷津小学校グラウンド整備事業を行う。		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆小学校耐震化事業 工事:大久保東小学校校舎、向山小学校体育館、屋敷小学校校舎 設計:東習志野小学校校舎、藤崎小学校校舎・体育館、向山小学校校舎、実花小学校体育館 ◆中学校耐震化事業 工事:第一中学校体育館、第三中学校校舎新館、第四中学校校舎旧館 設計:第四中学校校舎新館、第五中学校体育館、第六中学校校舎 ◆津田沼小学校全面改築事業 プール・外構工事、グラウンド整備工事、旧校舎及び体育館解体工事 ◆谷津小学校グラウンド整備事業				
評価指標	◆学校施設耐震化率	平成24年度数値	◆69.4%	平成25年度数値	◆79.6%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆児童及び生徒に対する安全で安心な施設づくりを、計画どおり実施することができました。	◆学校施設の耐震補強について最優先に取り組んでいるところであるが、構造体以外の照明器具、バスケットゴールなどの非構造部材についても耐震化に向けて取り組む必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆耐震性のない建物に対し耐震補強工事を実施し、耐震化を図ることは喫緊の課題であることから、平成26年度までに耐震化完了を最優先に取り組みます。平成26年度は東習志野小学校校舎、藤崎小学校校舎及び体育館、向山小学校校舎、実花小学校体育館、第一中学校校舎、第四中学校校舎新館、第五中学校体育館、第六中学校校舎の耐震補強工事を実施します。 ◆学校体育館にあっては災害時の避難所としての機能を有することから、非構造部材の耐震化の必要性について小学校15校(津田沼小除く)、中学校7校について調査を実施します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	教育総務課
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	市内で組織された団体(町会・まちづくり会議等)
事業名	9 余裕教室の有効活用		
		平成25年度事業費決算見込み額	-
事業の概要	◆学校の余裕教室を地域に開放する等、有効活用します。		
平成25年度 事業目標	◆学級数の動向を見ながら、学校運営に支障のない範囲で、引き続き同様の対応を図ります。		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆袖ヶ浦西小学校(袖ヶ浦西コミュニティールーム 継続) ◆袖ヶ浦東小学校(袖ヶ浦東コミュニティールーム 継続) ◆東習志野小学校(東習志野コミュニティールーム 継続) ◆秋津小学校(秋津コミュニティールーム 継続) ◆香澄小学校(社会福祉協議会香澄支部活動室 継続)				
評価指標	◆教育財産使用許可件数	平成24年度数値	◆5件	平成25年度数値	◆5件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆継続している内容であるが、このことにより市民に開かれた学校とすることができたと考えております。	◆学校施設管理者との十分な協議と理解が必要です。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆学校運営に支障のない範囲で、引き続き同様の対応を図ってまいります。
------------	------------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	総合教育センター
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	市内在住、または小・中学校に在籍していて、心理的要因により不登校となっている児童・生徒(小4～中3)
事業名	10 適応指導教室の推進		
		平成25年度事業費決算見込み額	257,000円
事業の概要	◆不登校児童・生徒の状況に応じた、個別・小集団を通しての指導・援助を行います。		
平成25年度事業目標	◆学習支援や機会を捉えたカウンセリングの充実を図り、個に応じた学校復帰を目指します。		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆学習活動(教科の学習、図書館学習、PC学習、英語活動 等) ◆体験的活動(鹿野山セカンドスクール、校外学習 等) ◆集団活動(体育活動、調理実習、清掃、係活動 等) ◆カウンセリング ◆在籍校、保護者との連携(学校訪問、保護者会、個人面談 等)				
評価指標	◆不登校児童・生徒の学校復帰率(部分復帰を含む)	平成24年度数値	◆91%	平成25年度数値	◆89%(1月末現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆通級児童・生徒の保護者からの感想(面談時) ・友達と笑顔で関われるようになった。 ・当初は中学卒業後について考えることができなかったが、適応指導教室に通うことにより将来に希望をもって進学を決めることができた。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆通級申請者9名中8名が、在籍校への部分復帰をかなえました。 ◆個別にセンターに来所している児童・生徒で、体験として適応指導教室で学習したり集団生活を送ったりすることで、在籍校に完全復帰や部分復帰をしたり、人との関わりを広げたり等の成果がありました。(4名)	◆在籍校との細やかな連携が必要です。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆通級している児童・生徒全員の在籍校復帰を目指します。
------------	-----------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	指導課・総合教育センター・学校教育課	
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	小学校・中学校	
事業名	11 教育相談活動の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		6,407,000円
事業の概要	◆中学校・高校に児童・生徒教育相談員、スクールカウンセラーを配置し、学校におけるカウンセリング機能の充実と、いじめ・不登校等の問題行動の解決を図ります。 ◆総合教育センターにおける電話相談、来所相談、グループ相談、訪問相談(学校・家庭)への対応や啓発資料の配布等、教育相談活動の充実を図ります。			
平成25年度 事業目標	◆研修会や連絡会を充実させて、引き続き各小・中学校の教育相談体制の充実を図りながら、中学校区内の小学校・中学校との連携を進めるとともに不登校児童の多い学校に児童生徒相談員を配置し、いじめ・不登校の未然防止、解消を目指す教育を推進していきます。(指導課)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆児童、生徒教育相談員連絡会の実施 (小学校1名、中学校7名、高等学校1名の教育相談員による、実践報告と各事例ごとの対応に関する協議を行うことにより、今後予想されるケースへの対応能力の向上を図りました。また、千葉県庁健康福祉部の職員を講師に招き、教育相談の実践と大学院での研究を聴講することにより、最先端の情報を共有し、ました。) ◆学期ごとの報告をもとに、各学校の実施内容を確認しました。 ◆全市統一の「いじめアンケート」を実施し、各校の集計結果をもとに情報の共有を図りました。 ◆「いじめアンケート」の結果、緊急に対応する必要がある場合は、教育相談員も対策のための組織に加わることを各校に指示しました。 ◆教職員が学校教育相談を推進していく上で必要な資質や能力の向上を目指して、研修会を年に3回実施しました。				
評価指標	◆教育相談員配置校数	平成24年度数値	◆中学校7校 ◆高等学校1校	平成25年度数値	◆小学校1名 ◆高等学校1名 ◆中学校7名

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆本年度から、小学校へも児童、生徒教育相談員を配置しました。教育相談員を配置した小学校において、長期欠席児童や保護者への手厚い支援を行ったことによって、長期欠席児童数が大幅に減りました。	◆小学校における教育相談員の追加配置 (他の小学校においても、長期欠席児童が増加している傾向があり、全校に教育相談員を配置し、きめ細かな支援を施す必要がある) ◆相談件数の増加 ◆相談室等の環境整備	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆研修会や連絡会を充実させ、引き続き各小・中学校の教育相談体制の充実を図りながら、中学校区内の小学校・中学校との連携を進めるとともに不登校児童の多い学校に児童生徒相談員を配置し、いじめ・不登校の未然防止、解消を目指す教育を推進していきます。(指導課) ◆教育相談研修の内容が、学校教育相談を推進していく上で必要な資質や能力の向上につながるよう精選し、年に3回の受講希望者が増加するように努めます。(総合教育センター)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	総合教育センター	
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	習志野市民	
事業名	12 青少年・家庭教育相談活動の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	558,000円	
事業の概要	◆平成24年4月より、教育相談・特別支援就学相談・青少年テレホン相談の窓口が、総合教育センターに一元化されました。それにより、幅広い市民の皆様を対象に、来所相談・電話相談・訪問相談等に取り組みます。			
平成25年度事業目標	◆「相談パンフレット」の配布やホームページ等に「相談の案内」を掲載し、相談活動を周知するとともに、電話・来所等による相談活動を行います。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	1月末現在(総合教育センター) ◆来所相談 新規受理件数 156件 延べ回数 2423回に対応しました。(グループ相談を含む) ◆電話相談 教育相談・特別支援教育 254件、青少年テレホン相談 765件に対応しました。 ◆訪問相談 学校訪問 12件、家庭訪問 103件に対応しました。				
評価指標	◆青少年テレホン相談件数 ◆教育相談件数 (ともに1月末現在の数値)	平成24年度数値	◆青少年テレホン相談713件 ◆教育相談 2441回	平成25年度数値	◆青少年テレホン相談765件 ◆教育相談 2423回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆検査結果のきめ細やかな分析と個別に特化された対応策がとられている。 ◆日常生活に生かされるコンサルテーションがもらえる。 ◆継続して、安定した関わりをしてもらえる。 ◆自己理解を促される。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆相談窓口が一元化されたことで職員の人員増となり、数多くの電話・来所相談等に対応することができました。	◆相談件数の増加に対し、より良い対応をしていくためには、相談員の資質向上を目指していく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆25年度活用していただいた状況を保持していくとともに、相談の質の向上を目指します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	子育て支援課	
施策内容	1 学校教育環境等の整備	事業対象者	市民	
事業名	13 家庭児童相談の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		80,000円
事業の概要	◆子育て支援相談室において、児童養育相談等の推進を図ります。			
平成25年度事業目標	◆職員のさらなる知識技術の向上を図り、児童家庭福祉(環境福祉、健全育成、養育困難、不登校等)に関する相談や児童虐待の相談、通告等の業務に対応できる体制づくりを目指します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		1. 子育て支援相談の実施 ・0歳～18歳未満の子どもの持つ保護者及び児童等からの子どもに関するあらゆる相談に対し、電話、面接、訪問により、問題解決に向けた助言や情報提供を行いました。また、児童虐待の通報・相談窓口として千葉県中央児童相談所と連携し、問題解決に向けた取り組みを行った。相談件数:4771件 実人数:493人(うち児童虐待相談件数:2403件 実人数:115人)(平成26年1月末) 2. ならしのこどもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)の運営 児童福祉法第25条の2に基づく要保護児童対策地域協議会の事務局として、代表者会議(年2回)、実務者会議(年6回)、個別支援会議(17回 H26.1月末)や研修会の開催など、虐待防止に向けた庁内及び地域におけるネットワーク構築に努めました。 3. 養育支援家庭訪問事業の実施 養育困難な妊娠中から1歳未満の子のいる家庭に対し、家庭訪問などにより育児についての技術的支援を行った(処理件数:4件 延べ22回)。また、臨床心理士による勉強会を実施し(年6回)、相談技術の向上に努めました。			
評価指標	◆相談件数	平成24年度数値	◆6345件	平成25年度数値	◆4771件(H26.1月末)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆子育て支援相談室では、支援を必要とする家庭に対し、直接的な助言や情報提供を行うとともに、千葉県中央児童相談所や庁内関係機関との連携を図り、個々の家庭に応じた支援を行いました。また、臨床心理士による勉強会を開催し、職員の相談技術の研鑽を行いました。また、こどもを守る地域ネットワーク主催による研修会を開催し、こどもに関わる関係者の児童虐待防止の意識の醸成を図りました。 ◆子育て短期支援事業の開始や家庭児童相談のシステム導入など、さらなる充実に努めました。	◆支援を必要とする家庭への対応は、個々に合わせて、きめ細やかに行っているが、常にその対応について検証を行っていく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆職員のさらなる知識技術の向上を図り、児童相談所や関係機関との連携を深め、児童家庭福祉(環境福祉、健全育成、養育困難、不登校等)に関する相談や児童虐待の相談、通告等の業務に対応できる体制づくりを目指します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	男女共同参画センター
施策内容	2 次代の親の意識づくり	事業対象者	市民・市職員
事業名	14 男女平等推進のための意識づくり	平成25年度事業費決算見込み額	972,326円
事業の概要	◆「習志野市男女共同参画基本計画」に基づき、講座の開催やパンフレットの配布等で、男女平等推進のための意識づくりを推進します。		
平成25年度事業目標	◆家庭や地域・職場等、社会のあらゆる場面において、男女平等の意識づくりが浸透することを目指し、講演会等の啓発活動を実施します。		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		【1】男女共同参画週間事業、男女共同参画基本計画策定事業 講演会・地域ミーティング ※登録団体から構成される運営委員会との協働により実施 日時:6月29日(土)及び7月7日(日) 1:30~4:00 会場:サンロード津田沼6階大会議室・新習志野公民館 参加者:74名・47名 テーマ:ワーク・ライフ・バランスをすすめるために 講師:厚生労働省政策評価に関する有識者会議委員 渥美由喜、毎日新聞本社会報道部 鈴木敦子 記者:中村かさね記者 【2】登録団体連絡会議 日時:5月21日(火)9:30~11:10 10月11日(金)10:00~11:30 会場:サンロード津田沼6階特別会議室 テーマ:活動報告、介護予防研修、センター開設10周年記念事業について等 【3】男女共同参画基本計画平成24年度評価報告書の公表(11月) 市内公共機関に冊子を配布、ホームページに掲載 【4】男女共同参画啓発講座 日時:9月3日、9月17日、10月1日、10月15日、10月29日(火曜日開催、5回講座) 10:00~12:00 会場:サンロード津田沼5階研修室 参加者:66名(延べ) テーマ:わたしへのごほうび講座~ココロを軽くするワークショップ~ 講師:NPO法人パートナーシップながれや代表 山口文代 他 【5】子育て応援セミナー ※こどもセンターと共催 日時:平成26年3月1日(土)10:00~12:00 会場:男女共同参画センター研修室 定員:25名 テーマ:子育て中のババママ必見! 気持ちの伝わるコミュニケーション術~自分も相手も大切に~ 講師:NPO法人アサーティブジャパン認定講師 寺地典子 【6】10回みんなでまちづくり ※協働まちづくり課との共催 日時:11月2日(土)、3日(日)10:00~17:00(2日目 16:00まで) 会場:サンロード津田沼5階、6階 参加者:620名 参加団体:42団体 テーマ:ふれあう つながる I LOVE 習志野 内容:登録団体企画によるワークショップ、展示等 【7】情報紙「きらきら」の発行 ※市民参画による企画・編集 特集テーマ 第27号(7月発行)「一人ひとりが日ごろから考える防災」第28号(11月発行)「ずっと働く、もう一度働く 自分らしさをいかして」第29号(2月発行)「将来は『ともに働きともに子育て』若い世代の男女共同参画意識」 各13,000部 市内幼稚園、保育所、小学校保護者に配布、公共機関等に設置 【8】広報「習志野」平成26年2月15日号 コラム「ワーク・ライフ・バランスをすすめるために」に掲載 【9】職員啓発紙「ピーナ通信」の発行 第34号(7月発行)ワーク・ライフ・バランス推進プロジェクト開催報告 【10】ステップならしの図書情報コーナーに、男女共同参画やDV、ワーク・ライフ・バランスに関連する書籍を設置			
評価指標	◆男女共同参画週間中の講演会等実施回数	平成24年度数値	◆1回	平成25年度数値	◆2回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	【1】男女共同参画週間事業・男女共同参画基本計画策定事業 講演会等アンケート ・介護は実体験がないので考えたことがなかったが危機感を持つことができた。 ・あらゆる分野で多様性を認め合う、優しい社会にするにはどうしたらよいか、一人ひとりが相手の立場になって考えられること、地域社会をどう形成していくか等思いながら聞いていた。 【2】男女共同参画啓発講座アンケート ・悩んでいるのは自分だけではないと気づき少し心が軽くなりました。 ・今の世の中には多くの情報が溢れていて自分がこの先どのように生きていったらよいか悩んでいたのでも色々な先生方の話は大変参考になりました。今まで考えていなかった地域とのつながりも大事なことだと実感しました。 【3】第10回みんなでまちづくりアンケート ・活動してる方が元気ですてきでした。小さな力が大きな力につながるようになればいいなあと思いました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆男女共同参画週間事業講演会及び第2次基本計画策定に向けた地域ミーティングは、登録団体から構成される運営委員との協働により企画・運営を行い、開催した。講師による講演、市民の事例発表や基調講演、地域ミーティングを行ったことにより男女共同参画をより身近なものと感じてもらえることができました。男女共同参画社会づくりの意識向上に効果があったものと思えます。 ◆第10回みんなでまちづくりでは、ステップならしの登録団体が協力し合い、「うまれる」という自主映画を上映しました。各団体の活動を参加者に周知するとともに、団体同士の交流も回り、男女共同参画の意識づくりに寄与しました。 ◆男女共同参画啓発講座では、全5回講座にもかかわらず、もっと開催してほしいという意欲的な意見が多く、地域や社会への女性の参画等のテーマに対し、前向きな評価を得られました。 ◆情報紙「きらきら」については、公募の編集委員との協働にて企画・編集を行い、男女共同参画社会づくりにつながるテーマの特集を組み発行することができました。 ◆ステップならしの図書情報コーナーにDV、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画に関連する書籍を設置し、利用者に閲覧・貸出を行っています。	◆男女共同参画週間事業講演会・地域ミーティングのアンケートにおいて、今後男女共同参画に関する講演会や講座のテーマに取り上げてほしいものとして、「家庭・地域」、「健康・福祉」関係を挙げる方が多くありました。今後もこの結果を活かしながら、男女共同参画社会の実現につながるような講演会、講座などの啓発事業を企画し継続していくとともに、テーマのターゲットを絞り込むことでより多くの方に来場いただけるよう努めたいです。 ◆男女共同参画に関する講演・講座に参加した多くの方から保育を付けることの必要性を伺います。今後も誰もが参加しやすい環境を整え講演・講座を開催してまいります。 ◆講演会など、男女共同参画に関するテーマでは女性の参加者と比較して、男性の参加者が少ない状況が見受けられます。男性がもっと参加しやすい周知の方法や関心を持ちやすいテーマなどを工夫し門戸を開いていく必要があります。
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆家庭や地域・職場等、社会のあらゆる場面において、男女平等の意識づくりが浸透することを目指し、講演会等の啓発活動を実施します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	健康支援課・公民館・幼稚園・こども園・小学校・中学校(指導課)
施策内容	2 次代の親の意識づくり	事業対象者	未就学児とその保護者, 3歳児を持つ親, PTA会員
事業名	15 年代に応じた「いのち・性」の教育の充実	平成25年度事業費決算見込み額	1,728,000円
事業の概要	◆自分だけではなく、他人も思いやり、互いのいのちを大切にするための支援の一環として、子ども・保護者に向けて、「いのち・性」の大切さを啓発する活動や学習の機会を図り、自分自身が愛されて育てられたということを理解し、自分自身を肯定的に受け止められるように支援します。 ◆幼稚園・こども園・学校・PTA・公民館・ヘルスステーション等の関係機関が連携し、「乳幼児健康相談事業」、「幼稚園健康教育」、「幼児家庭教育学級」、「PTA家庭教育学級」等、それぞれの年代に応じて、一貫した「いのち・性」の健康教育を行います。		
平成25年度事業目標	◆引き続き、関係機関との連携を図り、健康教育の内容の充実を図っていきます。(健康支援課) ◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、子どもの年齢に応じた性教育や「いのち」に関するプログラムを積極的に取り入れていきます。(公民館) ◆いのちを大切にするキャンペーンに取り組むこと及び道德の授業を通して、児童生徒の生きる力や自分と他者との命を大切にする心を育む指導をしていきます。(小学校・中学校) ◆人権教育にかかわる研修の充実を図り、相手の立場になって考えられるやさしい心を育む指導をしていきます。(幼稚園・こども園)		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆(健康支援課) ・公立幼稚園との協働による「幼稚園健康教育」、公民館主催の「育児講座」、「幼児家庭教育学級」、「PTA家庭教育学級」等の中で、乳幼児期の保護者に対して、子どもとの関わりや「いのち・性」についての内容を健康教育の中に取り入れ、実施しています。 ・4か月児・10か月児健康相談では、基本的信頼関係や子どもとの向き合い方について媒体を用いて伝えています。 ・1歳6か月児・3歳児健康診査の会場にも「いのち・性」に関する絵本を置き、親子で話ができるよう工夫しながら情報提供を行いました。 ◆幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級の中で、家庭における「いのちの教育」や「性教育」の大切さや方法を学びました。(公民館) ◆「命を大切にするキャンペーン」を実施し、自分と他者の命を大切にする心、いじめや暴力行為等人権侵害は許されない行為であるという意識を高めました。(指導課) ◆小学校の健康教育における、性教育を実施しました。(小学校) ◆中学校の保健学習における「第二次性徴」をはじめとする性教育を実施しました。(中学校) ◆県主催の「性教育」に関する研修を周知し、全小学校、全中学校の担当者が参加しました。(小学校・中学校) ◆(幼稚園・こども園) ・人権教育を教育計画に位置付け、園内の組織、研修体制を整備して人権教育の共通理解を図りました。 ・県主催の人権教育研修会に参加し、各施設ごとに研修会後の報告会を実施して内容の周知を図りました。 ・紙芝居、ビデオ等の視聴覚教材を活用して、園児への指導を行ったり、保護者の理解を得る機会を設けました。 ・事例研修を通して、個々の幼児に応じた適切な指導について協議しました。				
評価指標	◆性教育をしたことがある親の割合 ◆自分以外の人に優しく接している人の割合	平成24年度数値	次回の調査は平成25年を予定	平成25年度数値	◆28.2% ◆50.8%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆幼稚園健康教育では、「あかちゃんの人形に対して優しい表情で見ている子どもに対しほほえましく思えた」「命ができる様子を子どものうちから伝えることの大切さを感じる」等の感想を得ています。(健康支援課) ◆(PTA家庭教育学級「小学生に合った男女別の性教育の伝え方、命の大切さを子供にどう伝えるか」) ・思春期に向け、準備が出来たように感じた。 ・性の漠然とした不安が解消された。 ・子どもたちが生まれた時のことを思い出して、また子育てを頑張ろう、大切にしようと思った。 ・健康的なスキンシップをとって、安定した心を育ててあげたいと思った。(公民館)
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆講座・学級等では、83回述べ5,496人(平成26年1月末現在)の乳幼児とその保護者に対して、4か月児健康相談では107回1,140人(平成26年1月末現在)、10か月児健康相談では92回1,043人(平成26年1月末現在)の乳児の保護者へ教育を行い、多くの対象者へ命の大切さや性についての教育を行いました。 また、1歳6か月児・3歳児健康診査の会場に情報提供のために置いた「いのち・性」に関する絵本は、親子で見ている様子が多数みられました。(健康支援課) ◆事業に参加した保護者自身が「いのちの大切さ」や「性教育」について学ぶことにより、家庭で子どもと向き合い、話し合うきっかけづくりとなりました。(公民館) ◆各小・中学校の取り組みを通して、命の大切さにふれることにより、子どもの心身の健全な成長と自立を支援することができました。(指導課) ◆(幼稚園・こども園) ・研修会の充実による職員の意識向上を図ってきたことで、幼児一人一人の良さを大切にしたい保育指導が実践されました。 ・友達のかかわりを通して、お互いの思いや考えを伝え合いながら遊びを進めたり、相手の立場になって考えたりなど、相手を思いやる気持ちや認め合う気持ちが育ってきています。	◆乳幼児やその保護者対象の健康教育では、引き続き機会を捉えて多くの方に継続的な「いのち・性」に関する情報提供をしていく必要があります。(健康支援課) ◆この講座は大好評で、来年度も是非との声が多数ありました。冬は体調を崩す人が多いので、開催時期を考えます。(公民館) ◆横断的な会議、打ち合わせが必要であると考えます。(指導課) ◆教師が個々の幼児理解に基づいて、信頼関係を築きながら望ましい人間関係を育むための指導について、更に研修していく必要があります。(幼稚園・こども園)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B	

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆引き続き継続的に教育の機会を設けるとともに、関係機関との連携を深め、教育内容の充実を図る必要があります。(健康支援課) ◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、子どもの年齢に応じた性教育や「いのち」に関するプログラムを積極的に取り入れていきます。(公民館) ◆発達段階に合わせた性教育の実施について、周知徹底を図るとともに、県の「性教育」にかんする研修を全小学校・中学校が参加することで、最先端の情報を共有するように努めます。(指導課・小学校・中学校) ◆人権教育にかかわる研修の充実を図り、相手の立場になって考えられるやさしい心を育む指導をしていきます。(幼稚園・こども園)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	1 子どもの健やかな成長に資する教育環境の充実	担当課	青少年課	
施策内容	3 健全育成環境の推進	事業対象者	習志野市内書店	
事業名	16 青少年有害図書の指定			
		平成25年度事業費決算見込み額	43,014円	
事業の概要	◆青少年にとって有害な図書について、審議のうえ指定します。			
平成25年度事業目標	◆習志野市内の各書店は、概ね徹底がなされた。今後は有害図書審議のあり方など、工夫することが課題であるが、引き続き実施する予定です。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆7月8日に審議会を開催し、有害図書の指定をするとともに、有害な図書を販売した書店に対し、区分陳列や販売自粛等の協力依頼をしました。				
評価指標	◆指定図書数	平成24年度数値	◆9冊	平成25年度数値	◆6冊

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆有害図書対象書店等へ通知することで区分陳列により、中身が目につかないように対応がなされました。	◆有害図書審議会で月刊誌、週刊誌等は、指定された号のみが対象となるため、すぐに次号が出てしまいうでに店頭から撤去されており、審査をする必要性があるのか疑問です。 また、ここ数年の書店への通知により、有害図書の対応をしている書店が多くなり、一定の効果をあげているため、審議会の対象になる図書が非常に少なくなり、選定が非常に難しくなっております。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆習志野市の各書店は、概ね徹底されています。今後は有害図書審議会のあり方について、存続等を検討してまいります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	公民館	
施策内容	1 家庭教育への支援の充実	事業対象者	PTA会員	
事業名	17 PTA家庭教育学級の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	754,000円	
事業の概要	◆PTA会員を対象に、家庭教育の重要性、幼少年期の発達課題、学校や地域との関係等、家庭教育の諸問題や親の対応について学習します。			
平成25年度事業目標	◆引き続き各PTAにおいて、地域の子育てを考えるため、PTA家庭教育学級を実施します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆PTA会員を対象に、家庭教育の重要性、年齢に応じた発達課題、学校や地域との関連等、家庭教育の諸問題や親の対応について学習しました。			
評価指標	◆実施回数	平成24年度数値	◆141回	平成25年度数値	◆130回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆(PTA家庭教育学級「家庭教育の重要性～お子さんとしっかり向き合っていますか～」) ・子どもも学校で勉強や集団生活でストレスが多い。家庭で疲れた心を回復できるように心がけたい。 ・つい周囲と比べてしまうが、その子の良い所を見つけ、その子に合った成長と一緒に喜び高め合い、子どもと一緒に親も成長していかなければならない。 ・小さな事でも褒めていくことがとても大切である。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆各PTAでは年齢に応じた発達課題等を学び、家庭教育への理解を深めることができました。また、主体となるPTA役員同士がつながりを持つことができ、地域活動へ参加する意識を高めることができました。	特になし	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆引き続き各PTAにおいて、地域の子育てを考えるため、PTA家庭教育学級を実施します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	子育て支援課・図書館	
施策内容	1 家庭教育への支援の充実	事業対象者	市内在住の4か月児	
事業名	18 ブックスタート事業の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	1,913,750円	
事業の概要	◆乳幼児期から言葉と心を育むために、絵本との出会いの機会をつくり、絵本を介した親子のふれあいを支援します。 ◆4か月を迎えたお子さんを対象に、健康支援課が開催する4か月児健康相談終了後、民生委員児童委員の協力のもと、読み聞かせの大切さを伝え、絵本とコットンバッグをお渡します。 ◆誕生記念として特別にデザインした図書館カードを、ブックリストとともに新生児に配付し、登録を促進します。			
平成25年度事業目標	◆平成22年8月より導入している、第2子以降やすでに絵本「いないいないばあ」を持っている方を対象とした絵本の選択制について、今後、更に事業年数が経つことにより、対象者のニーズも変化があることが考えられるため、動向を見守り、更なる拡充を図ります。(子育て支援課) ◆関係課や民生委員児童委員との連携を図ることで、親子のふれあいを支援する体制の更なる拡充を目指します。(子育て支援課) ◆引き続き、誕生記念図書館カードの配布を行い、登録の推進を図ります。(図書館)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆市内11か所で実施している健康支援課による4か月健康相談において、民生委員児童委員協力のもと、絵本とコットンバッグを贈呈しました。(子育て支援課) ◆贈呈する絵本を3種類(「いないいないばあ」「くだもの」「がたんごとんがたんごとん」とし、第2子以降などに別の本を贈呈できるよう配慮しました。(子育て支援課) ◆市民課窓口において出生時に、誕生記念用にデザインした図書館カード・乳幼児向けに選定したブックリスト・図書館カード交付申込書を配布しました。閉庁時および、市外窓口への届け出者については、案内を送付しました。(図書館)				
評価指標	◆ブックスタートバック配付数	平成24年度数値	◆1279セット	平成25年度数値	◆1104セット(1月末現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	(◆子育て支援課) ・第1子の時は絵本をもらえなかったもので、今回は絵本をもらうことができうれしいとの意見がありました。 ・ほしいと思っていた本なのでうれしい。 ・絵本はまだ早いと思っていましたが、もう始めて良いですね。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆4か月健康相談時に絵本の贈呈を行うことにより、早期より絵本との出会いの機会を設け、親子のコミュニケーションを深めるきっかけづくりを支援しました。(子育て支援課) ◆絵本の選択制により、様々なニーズに対応しました。(子育て支援課) ◆平成25年度の誕生記念図書館カードの登録者数は391名(累計登録者数5490名)でした。(数値はすべて平成26年1月末現在)(図書館)	◆贈呈する3種類の絵本について、既に所有している場合等があるなど、贈呈する絵本の種類について、検討する必要があります。(子育て支援課) ◆事業周知と理解を深めるため、健康支援課や民生委員児童委員との更なる連携に努める必要があります。(子育て支援課) ◆誕生記念図書館カードの登録をしても未利用のまま長期未利用者となってしまう場合があります。今後も、図書館利用促進を更に図っていく必要があります。(図書館)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆贈呈する絵本を既に持っている場合等に配慮し、絵本の贈呈方法について検討します。(子育て支援課) ◆関係課や民生委員児童委員との連携を図り、親子のふれあいを支援する体制の充実に努めます。(子育て支援課) ◆引き続き、誕生記念図書館カードの配布を行い、図書館利用の促進を図ります。(図書館)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	公民館・社会教育課	
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	小学生	
事業名	19 子ども広場事業の実施			
事業の概要	◆公民館の空いている部屋を利用し、安全・安心な放課後の子どもの居場所を確保します。			
平成25年度事業目標	◆公民館事業として位置付け、生涯学習相談員の見守る中、子どもたちが気軽に来館し過ごせるような受け入れ態勢とする。なお、当面は全て公民館で週1回とします。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆7公民館で週1日の「子どもの部屋」を開放しました。また、土日や長期休業対応の子ども講座を実施しました。(社会教育課) ◆市民プラザ大久保においても週2日の「子どもの部屋」を実施しました。(社会教育課) ◆子どもたちが自由な発想で過ごせる環境づくりのための見守りを行いました。(公民館)				
評価指標	◆実施施設数	平成24年度数値	—	平成25年度数値	8施設

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆公民館及び市民プラザ大久保において子どもの居場所づくりを行い、事業が定着してきました。(社会教育課) ◆放課後、子どもたちが気軽に来館して過ごせるような受け入れを行いました。(公民館)	◆施設によっては、部屋の開放だけではなく、ロビーを利用している子どももいる。地域性や施設の構造上、部屋を開放してもあまり利用がないところがあります。(社会教育課) ◆館によっては、曜日や時間帯に拘束されず自由に使える共用コーナーの方が利用されていました。(公民館)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分が多い D…未実施 E…休止・廃止)		C

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆子ども達の地域性や施設の構造に併せて、部屋の確保だけではなく、ロビーや建物外での活動も子どもの居場所事業として位置づけができるよう検討します。(社会教育課) ◆引き続き、生涯学習相談員の見守り中、子どもたちが気軽に来館し過ごせるような受け入れ態勢とします。(公民館)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	青少年課	
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	市内在住児童	
事業名	20 あづまこども会館事業の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		2,069,000円
事業の概要	◆児童の健全な遊び、学習の場として、こども会館事業の充実を図ります。			
平成25年度事業目標	◆児童の健全な遊び、学習の場として、こども会館事業の充実を図る。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆当施設では、積み木、ピアノ、フラフープ、野球ゲーム、サッカーゲーム、卓球台などの遊具をたくさん用意し、こども達に健全な遊びを提供しています。 また、絵本、童話、図鑑、百科事典等各種の本をそろえ、図書の貸出しも行っています。 更に、工作教室、絵画教室、卓球教室、書道教室、将棋教室などの主催事業の開催、母の日プレゼント作り、父の日プレゼント作り、チャレンジ工作、ダーツ大会、クリスマス会などの自主事業を開催しています。 24年度利用者数 16,051名(23年度利用者数 15,708名) 25年度利用者数の見込み 12,968名			
評価指標	◆利用者数	平成24年度数値	◆幼児1,310名・小学生9,181名・中学生1,732名・一般3,828名	平成25年度数値	◆幼児578名・小学生7,203名・中学生667名・一般2,033名(H25.12月末現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆各種主催事業や自主事業の開催、また安心安全な遊び場を提供することで、児童の健全育成に寄与しています。	◆あづまこども会館の利用者をいかに増やしていくか。また、このために、こども達の興味を引く事業内容をどのように構築していくか。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成26年度事業目標	◆児童憲章の精神にのっとり、児童に健全な遊びを提供し、もって健康を増進し、情操を豊かにする施設として、あづまこども会館事業の充実を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成			
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	青少年課
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	児童・育成者
事業名	21 青少年健全育成の推進		
		平成25年度事業費決算見込み額	3,312,150円
事業の概要	◆子ども会育成会・青少年相談員等の事業を援助し、青少年の健全育成を推進します。 ◆ボーイスカウト・ガールスカウト・スポーツ少年団等青少年健全育成団体の事業を支援し、青少年の健全育成を推進します。		
平成25年度事業目標	◆各団体の事業活動内容を積極的に支援、PRL、青少年健全育成につながるサポートを図っていきます。		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆定期的な会議において、市民まつりにおけるこども広場の運営を中心に、青少年育成団体間の情報交換を実施しました。 ◆子ども会育成会連絡協議会、青少年相談員連絡協議会、習志野リーダーズクラブへの助成を実施しました。 ◆青少年育成団体の夏休み期間の富士吉田青年の家の優先利用、借り上げバス利用によるサポートを実施しました。				
評価指標	◆青少年育成団体連絡協議会開催回数	平成24年度数値	◆6回	平成25年度数値	◆7回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆青少年育成団体の活発な子どもたちへの活動がみられました。	◆育成者が高齢化しており、また、構成員も減少傾向にあります。子ども広場とは別に、育成団体が共同して事業を計画、実施するには、構成員自身の費用負担等の問題もあるため、課題です。
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
A	

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆市民まつりにおけるこども広場の運営を中心に、青少年育成団体間の情報交換を引き続き実施するとともに、育成者の技術向上、情報交換、親睦を図るため、研修会を計画します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	公民館	
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	小学生	
事業名	22 子ども講座の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		812,137円
事業の概要	◆学校が休みの土曜日・日曜日や長期休業日に、親子、異年齢の子どもとのふれあいや豊かな心を育てることを目的として実施している、子ども講座の充実を図ります。			
平成25年度事業目標	◆公民館サークルの会員や地元大学の先生を講師にするなど、地域で子どもを支えるプログラムを考えていきます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆科学実験、マジック、囲碁、お金の役割、お菓子作り等の講座を実施しました。				
評価指標	◆参加児童数	平成24年度数値	◆6,088人	平成25年度数値	◆5,320人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆(液体空気で遊ぼう) ・いろいろな実験をしたところがおもしろかった。 ・すごい！！いっぱい実験を楽しめたよ。だからありがとう。 ・昔は物々交換をしていたことがもっとよくわかった。じっさいにしてみたら、すごくむずかしかった。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆講座を通じて子どもが公民館への親しみを持つとともに、親子を対象とした講座では、家族のふれあいの機会となりました。	◆人気のある講座は電話受付開始後、すぐに定員に達してしまうため、申込み方法の検討が必要です。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆公民館サークルの会員や地元で活動している指導者を講師にするなど、地域で子どもを支えるプログラムを考えていきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	生涯スポーツ課	
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	市内各小学校地区在住、在勤者のスポーツ団体	
事業名	23 学校体育施設の開放			
		平成25年度事業費決算見込み額		8,257,000円
事業の概要	◆市内小学校の校庭・体育館を土曜日・日曜日・祝日に開放し、運動する場を提供します。			
平成25年度事業目標	◆利用団体が安全で安心して活動ができることを第一優先として、施設の管理や事業の運営を進めていきます。 また、各運営委員会と利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立てていきます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆市内小学校の校庭及び体育館を土曜日、日曜日、祝日に開放し、運動する場を提供しました。				
評価指標	◆体育施設開放校数	平成24年度数値	◆小学校16校	平成25年度数値	◆小学校16校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆休日の学校体育施設を開放して、スポーツに親しむ機会を提供したことにより、健康の維持増進や、青少年の体力向上と健全育成に役立てることができました。	◆現在、小学校体育館の耐震工事が順々に行われております。体育館の利用中止について、利用者に御理解いただくとともに、工事期間中に体育館の利用が可能な場合は、安全の確保を徹底していきます。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆利用団体が安全で安心して活動ができることを第一優先として、施設の管理や事業の運営を進めていきます。また、各運営委員会と、利用者、学校との連携を図り、地域のコミュニティづくりに役立てることを目標とします。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	生涯スポーツ課	
施策内容	2 地域における教育力の向上	事業対象者	市内小中高生	
事業名	24 児童教室の開催			
		平成25年度事業費決算見込み額	0円	
事業の概要	◆スポーツ施設等で児童を対象としたスポーツ教室を定期的に開催します。			
平成25年度事業目標	◆多くの参加者にスポーツの楽しさや、スポーツを通じての協調性や人間形成を学ぶことができるように実施します。 ◆引き続き、児童・中高生を対象とした教室を開催し、スポーツ活動に参加する機会を増やします。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆スイミングやテニス等の6種目を実施しました。この他「キッズスポーツ」と題し、6種目の内容で各2～3回教室を実施しました。				
評価指標	◆開催回数 ◆参加児童数	平成24年度数値	◆20回(予定) ◆750人前後の見込み	平成25年度数値	◆16回(予定) ◆740人前後の見込み

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆50m走のタイムが縮まったから嬉しかった。 ◆コーチと仲良くなれたのに、スクールが終わってしまうのは寂しいです。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆スポーツの機会を提供することにより、スポーツを行う動機づけができました。 ◆スポーツの楽しさを学ぶことで、今後も続けたいと思う子どもが多く見受けられました。	◆教室の内容により、参加者の人数にばらつきが見られたため、内容の見直しと教室の積極的なPR活動を実施していきます。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆技術の習得の他、協調性や人間形成を学べるような教室を実施していきます。 ◆引き続き、児童や中高生を対象とした教室を開催し、スポーツ活動に参加する機会を増やします。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	小学校・中学校・指導課	
施策内容	3 世代間交流の推進	事業対象者	小学校・中学校	
事業名	25 地域交流事業の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		
事業の概要	◆学校支援ボランティアの活用等、地域の人材や素材等の授業への活用と地域との交流を推進します。			
平成25年度 事業目標	◆年間2回の学校支援ボランティア会議で、年間計画・活動報告について協議するとともに、学校間の横の連携も図ることで、学校支援ボランティアの活動の充実を図ります。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆年間2回の学校支援ボランティア会議で年間計画・活動報告について協議するとともに意見交換をおこないました。				
評価指標	◆学校支援ボランティア参加人数	平成24年度数値	◆8,296人	平成25年度数値	◆9,606人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆地域の方々が円滑にボランティア活動ができるようになっています。また、地域との交流がより深まっています。	◆学校支援のボランティア活動がより一層活性化するために、学校間の情報交換を充実させる必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆年間2回の学校支援ボランティア会議で、年間計画・活動報告について協議するとともに、学校間の横の連携も図ることで、学校支援ボランティアの活動の充実を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	中学校・幼稚園・保育所・こども園・指導課	
施策内容	3 世代間交流の推進	事業対象者	在園児・在所児・中学生	
事業名	26 中学生と幼稚園児・保育所児・こども園児の交流の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		
事業の概要	◆中学校家庭科、総合的な学習の時間等の授業の一環として中学生と幼稚園児や保育所児、こども園児との交流を実践します。			
平成25年度事業目標	◆保育所児や幼稚園児・こども園児と中学生との異年齢交流をさらに充実していきます。(中学校) ◆交流を通して、一つ一つが相互に結びつき、幼稚園・保育所生活が充実したものになるようにしていきます。(保育所・幼稚園・こども園)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆中学2年生家庭科及び3年生の職場体験学習の一環として、保育所・幼稚園・こども園において交流を実施しました。 ◆体験学習・事前学習としてオリエンテーションを実施しました。(保育所・幼稚園・こども園) ◆各学年(2歳～6歳)に分かれて交流しました。(保育所・幼稚園・こども園) 【室内遊び:造形遊び(製作・描画など)・ままごとなど 戸外遊び:かけっこなどの競技・鬼遊び・砂遊びなど】				
評価指標	◆実施校数	平成24年度数値	◆中学校7校	平成25年度数値	◆中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆中学生にとっては、園児との交流を行うことで、思いやりの心や、幼児への興味・関心、現在及び将来の家庭生活のあり方等について学習することができました。(中学校) ◆(保育所・幼稚園・こども園) ・子ども達が、中学生と触れ合ったり一緒に遊ぶことで世代の違う中学生に親しみをもつことができました。 ・生徒から歌を歌ってもらったり演奏を聞かせてもらったり、その歌声や演奏に感動をしていました。 ・園児にとっては、他との関わり方や幼稚園・保育所生活の充実につながりました。	◆中学校、幼稚園・保育所・こども園相互の連携を取り合い、交流時期・交流内容・交流方法をより良くする方策を考えていく必要があります。(中学校) ◆短い時間ではあるが、事前の情報交換を活かし、より意欲的な交流が図れるよう内容の充実を図っていく必要があります。(保育所・幼稚園・こども園)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆保育所児や幼稚園児・こども園児と中学生との異年齢交流をさらに充実していきます。(中学校) ◆交流をとおして地域の子ども達が相互に結びつき、互いに進んでかわる気持ちを育み、生活がより充実したものとなるようにしていきます。(保育所・幼稚園・こども園)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	指導課・小学校・中学校	
施策内容	3 世代間交流の推進	事業対象者	小学校・中学校	
事業名	27 地域参加型学校行事の推進			
		平成25年度事業費決算見込み額		
事業の概要	◆学校行事に保護者・地域の高齢者等を招待し、地域との連帯意識を育み、人間性豊かな児童・生徒を育成します。			
平成25年度 事業目標	◆学校行事の平日開催と共に、保護者や地域の方が参加できるように休日開催も推進することで、今まで以上に学校教育活動への理解を深めていきます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆学校行事の平日開催のほかに、保護者や地域の方が参加できるように休日開催をしました。				
評価指標	◆実施校数	平成24年度数値	◆小学校16校・中学校7校	平成25年度数値	◆小学校16校・中学校7校

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆学校行事の平日開催のほかに、保護者や地域の方が参加できるように休日開催を推進することで、学校教育活動への理解を図り、学校への信頼が深まることにつなげ、協力・支援が得られました。	◆学校行事の休日開催を推進する方向で学校現場に指導していきます。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆学校行事の平日開催と共に、保護者や地域の方が参加できるように休日開催も推進することで、今まで以上に学校教育活動への理解を深めていきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	学校教育課・指導課・公民館・こども保育課・幼稚園・保育所・こども園	
施策内容	4 「食育」の推進	事業対象者	公・私立幼稚園・保育所・こども園在園児及び保護者、小学校・中学校等	
事業名	28 幼稚園・保育所・こども園・小学校・家庭等における「食育」の推進		平成25年度事業費決算見込み額	1,750,000円
事業の概要	◆親子を対象にした適切な食生活習慣を確立させるための講義や指導、調理実習等を開催し、家庭における「食育」を推進します。 ◆幼稚園・保育所・こども園・学校教育全体の中で、食に関する指導を実施し、健全で豊かな食生活を送るために必要な力が身につくような指導を実施します。 ◆保健連絡会等を通して、幼稚園・保育所・こども園・学校との連携を図り、発達段階に応じた食育を実施します。			
平成25年度事業目標	◆小学校においては、朝食欠食率が1%となりほぼ目標を達成できましたが、中学校においてはまだ12%の欠食率があります。平成25年度は、中学生の欠食率を減らし、望ましい食習慣の確立を目指し、親子を対象とした学校教育活動及び家庭教育学級等を通して食育の充実を図るとともに、更なる食育の充実のために食育担当の教職員を対象とした研修会を実施し、また、地域保健連絡会等の会議を通して幼稚園・保育所・学校・地域との連携を図ります。(学校教育課) ◆今後も学校訪問の際に、指導していきます。(指導課) ◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、学習プログラムの中に食育の内容を積極的に取り入れていきます。(公民館) ◆食生活アンケートを実施し、園児・児童の食生活の実態を把握し、食育計画に基づいた食育を実施していきます。(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆各学校の食に関する指導の全体計画に基づき、教科や学級活動、給食時間に食に関する指導を実施しました。保護者対象の試食会や家庭教育学級において、食育の講演会や調理講習会を実施しました。栄養教諭だけでなく養護教諭や給食指導主任等、食育を担当する教職員を対象に研修会を実施しました。(学校教育課) ◆親子を対象にした適切な食生活習慣を確立させるための講義や指導、調理実習等を開催し、家庭における「食育」を推進します。(指導課・小学校・中学校) ◆幼稚園・保育所・こども園・学校教育全体の中で、食に関する指導を実施し、健全で豊かな食生活を送るために必要な力が身につくような指導を実施します。(指導課) ◆保健連絡会等を通して、幼稚園・保育所・こども園・学校との連携を図り、発達段階に応じた食育を実施します。(指導課・小学校・中学校) ◆幼児家庭教育学級とPTA家庭教育学級の学習プログラムに、食育についての内容を取り入れました。(公民館) ◆幼稚園・保育所・こども園の教諭及び保育士等の食育担当職員を対象に「乳幼児期の食育」について研修会を実施しました。(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園) ◆にんじん掘りやみそ作りなどの体験活動を通して、食についての興味関心を高めました。親子で体験する施設もあり、家庭と連携した食育を行いました。(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園)				
評価指標	◆朝食摂取率	平成24年度数値	◆小学校5年生99%・中学校2年生88%	平成25年度数値	◆小学校5年生95%・中学校2年生88.2%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆公民館(幼児家庭教育学級「幼児期の食生活～食事のバランス・減塩・食習慣の基礎づくり・だしについて～」) ・いつもは「だしの素」を使っているのですが、塩分を減らすためにも天然だしでとってみようかと思いました。子どものおやつも時間と量を決めて少し空腹を我慢させて食事のリズムを作っていきたい。 ・我が家は塩分を多く摂り過ぎているため、気を付けていきたい。見せていただいた野菜の量を毎日摂れていないため、工夫していきたい。 ◆こども保育課・幼稚園・保育所・こども園 ・食育についての効果的な進め方について再認識され、食育計画作成の参考となった。 ・にんじん堀などの体験をとおり、農家の方と触れ合うことにより、感謝の気持ちや食への関心が高まった。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆各学校の食に関する全体計画に基づき、発達段階に応じた食育が実施され、児童生徒に望ましい食習慣や朝食の大切さについての意識を高めることができました。しかしながら、昨年度の朝食喫食率と比較すると小学校では4%減少し、中学校では88.2%と横ばいでした。(学校教育課) ◆日本の食糧事情、早寝早起きや朝食の大切さ、食事バランスガイド、放射能物質を減らす工夫などを知る機会となりました。(公民館) ◆生活習慣を築く基礎となる幼児期の食育が重要であることが再認識されました。日常の保育の中で発達段階や生活の実態に則した食育にとりくむことが重要であることが認識されました。(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園)	◆食育の推進、特に小・中学校で取り組んでいる「早寝・早起き・朝ごはん」運動は平成17年度に施行された「食育基本法」を受けて毎年実施しており、児童生徒全体への指導はすでにある程度の成果があがってきております。今後は、全体指導の継続的な取り組みとともに、児童生徒個別の指導に重点をおき、家庭との連携を図りながら進めていく必要があります。(学校教育課) ◆乳幼児期における食育については、家庭との連携が必要となる。現状では、施設からの配布物等を中心に家庭への啓発活動を実施しております。今年度は食生活のアンケートを実施し(保育所・こども園)、家庭における食生活の実態やどのような情報を求めているか等を把握しました。今後は引き続きアンケートを実施し、実態把握を行うとともに、家庭と連携した食育についてとりくんでまいります。(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆毎年、小・中学校における朝食喫食率の向上を目指し実施してきましたが、依然として朝食をほとんど食べない児童生徒の割合に変化が見られないことから、平成26年度は、児童生徒個別の指導に重点をおき食育指導を進めていきます。また、朝食の用意が簡単にできるよう保護者向けに「家庭で簡単にできる給食レシピ集」等の発行を目指していきます。(学校教育課) ◆引き続き、幼児家庭教育学級やPTA家庭教育学級において、学習プログラムの中に食育の内容を積極的に取り入れていきます。(公民館) ◆食生活アンケートを実施し、園児・児童の食生活の実態を把握し、家庭と連携した食育を実施していく。(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園) ◆にんじん掘りやみそ作りなどの食育体験を実施し、園児・児童の食への興味関心を高めていく。(こども保育課・幼稚園・保育所・こども園)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

1 次代の親の育成				
基本施策(中項目)	2 家庭や地域の教育力の向上	担当課	健康支援課	
施策内容	4 「食育」の推進	事業対象者	妊婦及び乳幼児とその保護者	
事業名	29 健康的な食習慣の確立の推進			
		平成25年度事業費決算見込み額		570,263円
事業の概要	◆「ママ・パパになるための学級」、「離乳食教室」、「乳幼児健康相談事業」、「食生活なんでも相談」等を通じて、望ましい食生活習慣の確立に向けて、妊娠中から乳幼児期まで一貫した取り組みを関係機関と連携しながら行います。			
平成25年度事業目標	◆使用している媒体が実用的なものになっているか確認しながら、引き続き各事業で保護者を含めた啓発を目指します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆「ママ・パパになるための学級」では、「食事バランスガイド」に基づき、バランスの良い食事や妊娠中特に必要な栄養についてフードモデルをとり入れることにより具体的な量や揃え方が理解できるよう内容の充実を図りました。 ◆「離乳食教室」、「乳幼児健康相談」、「食生活なんでも相談」では、対象に合わせてリーフレット等を使用し、基本的な知識や具体的な調理方法等を保護者に紹介し、家庭でも実践できるよう支援しました。 ◆5～6月の「キャロット月間」では、食育にかかわる課(農政課)と連携し、習志野市特産のにんじん「彩誉」を使用した親子調理実習を開催し、6月の「食育月間」とあわせて食に関する興味や関心、食べる意欲を高めることができるようリーフレットを作成し、情報の発信と啓発を行いました。また、9月の「食生活改善普及運動」においても広報やリーフレットにて情報の発信を行いました。				
評価指標	◆離乳食教室稼働率	平成24年度数値	◆90.2%	平成25年度数値	◆95%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「ママ・パパになるための学級」では「今までよりもっと食べていいことがわかった。」「バランスよく食べているつもりだったが野菜が足りなかった。」など、必要量が具体的に理解できたという内容の感想が多く出されています。 ◆「離乳食教室」では「味付けしなくても素材の味だけでとてもおいしい。」「是非こどもに手作りの離乳食を食べさせてあげたい。」など、素材を生かして手作りしたものの美味しさを実感したり、家庭での調理意欲を感じさせる感想が出されています。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆各事業において、講義をするだけでなく、リーフレットに写真をとり入れたりフードモデルを使用し、実物に近い状態のものを見せることにより、参加者がより具体的にイメージでき、バランスの良い食事についての正しい理解につながりました。 ◆また、調理実習や試食を通して、料理することの楽しさや素材のおいしさを実感することができ、家庭での調理の啓発につながりました。	◆少しずつ変化していく健康や食生活に対する市民の意識やニーズと、日々更新されていく健康・食生活の情報に講義内容や使用媒体が見合ったものになっているか、再度確認する必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆ママたちの生の声を聞くなど、情報収集(市場調査含め)を行い、使用している媒体や講義内容が現状に見合っているかどうか、確認しながら引き続き各事業において啓発を行います。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども政策課・こども保育課	
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	就学前の全ての乳幼児とその保護者	
事業名	30 こども園の整備			
		平成25年度事業費決算見込み額	367,400,000円	
事業の概要	◆幼稚園、保育所、こどもセンターが一体となったこども園を整備し、地域の子育ての拠点として、様々な支援を実施します。 【具体的目標】 ★こども園 22年度 26年度 1か所 ⇒ 3か所			
平成25年度 事業目標	◆(仮称)袖ヶ浦こども園の開園に向けて、施設の建築を完成させます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆袖ヶ浦こども園の開園に向けて、施設の建築を進めました。				
評価指標	◆施設数	平成24年度数値	◆2か所	平成25年度数値	◆2か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	・短時間児と長時間児が同じクラスだが、家庭環境等が異なり、子どもや保護者に負担がかかるのではないかと心配である。 ・こども園の整備後、メリット・デメリットなど、実際どうだったのか結果と分析もぜひ共有してほしい。 ・袖ヶ浦こども園が開園する際、先生の異動はあまりしないでほしい。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆平成25年度中に園舎の建設を完了させる予定で工事を進めておりましたが、地中埋設物や労務者不足の影響により、一部工事を平成26年度へ繰越すことになりました。	◆平成26年4月からの暫定施設での保育の実施。 ◆年度途中での新園舎への移転	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆袖ヶ浦こども園の新園舎を完成させます。
------------	----------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2. 子育て・子育て支援体制の整備

基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課																																						
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	就学前の全ての乳幼児とその保護者																																						
事業名	31 保育所・こども園における保育サービスの充実		平成25年度事業費決算見込み額	算出困難																																					
事業の概要	◆待機児童ゼロを目指し、保育定員を増やします。 ◆一時預かりを行う施設を、7か所に拡大します。 ◆24時までの受け入れ態勢がある施設を、拡大します。 【具体的目標】 <table><tr><td>★通常保育定員</td><td>22年度 1,585人</td><td>⇒</td><td>26年度 1,711人</td></tr><tr><td>★延長保育(19時まで)</td><td>15か所</td><td>⇒</td><td>16か所</td></tr><tr><td>★延長保育(20時まで)</td><td>1か所</td><td>⇒</td><td>3か所</td></tr><tr><td>★延長保育(24時まで)</td><td>1か所</td><td>⇒</td><td>3か所</td></tr><tr><td>★一時預かり定員</td><td>60人</td><td>⇒</td><td>105人</td></tr></table>		★通常保育定員	22年度 1,585人	⇒	26年度 1,711人	★延長保育(19時まで)	15か所	⇒	16か所	★延長保育(20時まで)	1か所	⇒	3か所	★延長保育(24時まで)	1か所	⇒	3か所	★一時預かり定員	60人	⇒	105人	【目標に対する実績の推移】 <table><tr><td></td><td>H22</td><td>H23</td><td>H24</td><td>H25</td></tr><tr><td>通常保育定員</td><td>1,585人</td><td>1,605人</td><td>1,721人</td><td>1,801人</td></tr><tr><td>一時預かり定員</td><td>60人</td><td>60人</td><td>75人</td><td>82人</td></tr></table>					H22	H23	H24	H25	通常保育定員	1,585人	1,605人	1,721人	1,801人	一時預かり定員	60人	60人	75人	82人
★通常保育定員	22年度 1,585人	⇒	26年度 1,711人																																						
★延長保育(19時まで)	15か所	⇒	16か所																																						
★延長保育(20時まで)	1か所	⇒	3か所																																						
★延長保育(24時まで)	1か所	⇒	3か所																																						
★一時預かり定員	60人	⇒	105人																																						
	H22	H23	H24	H25																																					
通常保育定員	1,585人	1,605人	1,721人	1,801人																																					
一時預かり定員	60人	60人	75人	82人																																					
平成25年度事業目標	◆「習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画 第2期計画」策定に当たっての検証します。 ◆(仮称)袖ヶ浦こども園の平成26年度開設に向け、計画に従って進めます。 ◆認可外保育施設の利用者に対する保育料の助成を継続して行います。																																								

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆袖ヶ浦こども園の開設に向け、新園舎の建設等の準備を進めました。 ◆認可外保育施設の利用者に対する保育料の助成を継続して行いました。 ◆民間認可保育所の開設をしました。			
評価指標	◆通常保育定員数 ◆一時預かり定員数 ◆一時預かり利用児童数 ◆時間外保育・延長保育利用率	平成24年度数値	◆1,721人 ◆75人 ◆7,398人(25年1月末現在) ◆89.9%	平成25年度数値	◆1,801人 ◆82人 ◆8,329人(H25.12末現在) ◆89.74%(H26.1現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆待機児童数の増加に伴い、保育所の確保を求める意見が増えています。 ◆一時保育についても、利用者が多く、定員の増、予約方法の改善を求める声が強いです。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆「習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画 第1期計画」に基づいた、こども園の整備、既存保育所の私立化を行いました。	◆計画は順調に進んでいるが、待機児童数の増加等、保育所に入所できない児童数は、計画策定時の予測より増加しており、潜在的な保育所ニーズも増加していると推測できるため、保育所不足への対策が急務と考えます。
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	
C	

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆「習志野市こども園整備と既存市立幼稚園・保育所の再編計画第2期計画」の着実な実施をします。 ◆袖ヶ浦こども園の開設・運営します。 ◆認可外保育施設の利用者に対する保育料の助成を継続して行います。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課	
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	民間保育事業者	
事業名	32 民間保育事業者の多様なサービス力の活用			
		平成25年度事業費決算見込み額		211,311千円
事業の概要	◆通常保育受け入れ枠の拡大や延長保育時間の拡大、休日保育等に民間保育事業者のノウハウによる多様なサービス力を活用します。			
平成25年度 事業目標	◆公立保育所の私立化 平成25年4月より、若松保育所、袖ヶ浦第二保育所を完全に私立化します。 ◆新規民間認可保育所の開設 平成25年5月に、奏の杜地区内に新規民間認可保育所を開園させます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆公立保育所の私立化 平成25年4月より、若松保育所、袖ヶ浦第二保育所を完全に私立化しました。 ◆新規民間認可保育所の開設 平成25年5月に、奏の杜地区内に新規民間認可保育所が開園しました。				
評価指標	◆民間認可保育所施設数	平成24年度数値	◆1か所	平成25年度数値	◆4か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆新規の民間認可保育所である、アスクかなでのもり保育園が開園したことにより、通常保育受け入れ枠が拡大しました。また、当該保育園は20時まで開園しており、延長保育の実施による保育サービスの提供がなされています。	◆新規民間認可保育所が開園し、通常保育受け入れ枠が拡大したものの、待機児童の解消までには至っていません。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆通常保育受け入れ枠拡大のために、平成27年4月以降の開園を目指す、民間認可保育所の整備を支援します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	利用会員(生後6か月～小学校6年生までの子どものいる市内在住者または勤務者)
事業名	33 ファミリー・サポート・センターの充実		
		平成25年度事業費決算見込み額	9,412,000円
事業の概要	◆ファミリー・サポート・センターの育児・家事支援に加えて、ショートステイ(児童の宿泊を伴う預かり)支援を行い、ファミリー・サポート・センター機能を充実するとともに、提供会員の確保に努めます。		
平成25年度事業目標	◆多様化する利用会員のニーズに応え、提供会員の高齢化に対応するため、広報等により制度の周知を図り、新たな提供会員の確保に努めます。 ◆子どもの人権を尊重し、親子が安心して利用できる事業運営を実施するため、研修会・交流会等により、既存の会員の制度の理解と意識向上を図ります。		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆利用会員の援助の申し込みに基づき、育児支援、家事支援、ショートステイについて、提供会員派遣のためのコーディネートを随時行いました。 ◆平成25年6月より、ファミリーサポートセンター事業の一時預かり事業として、子どもの一時預かりをこどもセンター(鷺沼)において開始しました。 ◆入会説明会を毎週水曜日(45回)、土日(5回)、地域ごと(6回)、個別訪問(随時)により実施しました。 ◆会員に対し、基礎研修会(4回)、研修会(3回)、交流会(1回)、談話室(3回)を開催しました。 ◆ファミリー・サポート・センターだより(年4回)を発行し、会員に対して送付しました。 ◆広報習志野に掲載(1回)し、事業の周知を行いました。			
評価指標	◆会員数 ◆活動件数	平成24年度数値	◆育児2,402人・家事1,412人・ショートステイ147人 ◆育児3,188件・家事340件・ショートステイ1件	平成25年度数値	◆育児2,441人、家事1,498人、ショートステイ239人、一時預かり192人(1月末現在) ◆育児1,954件、家事193件、ショートステイ2件、一時預かり14件(12月末現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆これからもファミリー・サポート・センターの活動に自信と余裕をもって頑張ります。 ◆身内以外の方に預けるのは初めてだったので心配しましたが、子どもの様子が楽しそうだったので安心しました。 ◆会員の研修では、他の方のサポートの様子を見る機会があるといいと思います。 ◆自分自身もフルタイムで働いているが、預けたい方は、もっと厳しい状況で働いていると思うとできることは手助けしたいと思います。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆子育て家庭が安心して出産や育児、仕事が行える環境づくりの支援を行いました。 ◆ファミリー・サポート・センター事業の周知及び相互援助のコーディネートを行うことにより、子育てを地域で支えあう醸成づくりに寄与しました。	◆利用会員のニーズの需要の増加、多様化に伴い、より多くの提供会員の確保に努める必要があります。 ◆相互援助が円滑に進められるよう、制度の仕組み等について会員へきめ細やかな説明を行うとともに、研修会等による会員の意識の向上に努める必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆多様化する利用会員のニーズに応え、提供会員の高齢化に対応するため、広報等により制度の周知を図り、新たな提供会員の確保に努めます。 ◆親子が安心して利用できる事業運営を実施するため、研修会・交流会等により、会員の制度の理解と意識の向上を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	青少年課	
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	児童・保護者・指導員	
事業名	34 放課後児童会の運営			
		平成25年度事業費決算見込み額	175,891,892円	
事業の概要	◆各児童会において、希望する小学校1年生から3年生までの児童を受け入れます。 ◆障害のある児童については、引き続き6年生まで受け入れます。 ◆障害のある児童がいる放課後児童会には、指導員を加配します。			
平成25年度 事業目標	◆入会を希望する児童(1～3年生及び障がいのある児童については6年生まで)を受け入れます。 ◆(仮称)藤崎第一及び第二児童会室の整備を完了します。 ◆東習志野児童会の分割を実施します。 ◆谷津児童会の環境改善整備をします。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆入会を希望する児童(1～3年生及び障害のある児童については6年生まで)を受け入れました。 ◆東習志野児童会の児童数適正化を図るため、児童会を分割しました。 ◆(仮称)藤崎第一児童会・(仮称)藤崎第二児童会室の、新設工事を実施しました。				
評価指標	◆施設数	平成24年度数値	◆19か所	平成25年度数値	◆21か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆公設公営の維持 児童福祉法の一部改正による、小学校6年生までの受入に対する、指導員の資質向上のための研修を実施
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆児童に適切な遊び及び生活の場を与えて、健全な育成を図りました。 ◆東習志野児童会を分割、東習志野第二児童会を開設し、適正な児童数としました。 ◆(仮称)藤崎第一児童会・(仮称)藤崎第二児童会室の、新設工事を実施しました。	◆児童福祉法の一部改正による、小学校6年生までの受入に対する対応を具体的に検討します。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆入会を希望する児童(1～3年生及び障害のある児童については6年生まで)を受け入れます。 ◆谷津児童会を分割します。 ◆指導員の研修を実施します。 ◆放課後児童健全育成事業の設備及び運営について条例を制定します。 ◆小学校6年生までの受入を検討するにあたり、ニーズ調査を実施します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課	
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	民間保育事業者	
事業名	35 休日保育の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		211,311千円
事業の概要	◆休日保育を継続して実施するとともに、実施施設を拡大します。 【具体的目標】 22年度 26年度 ★実施か所数 1か所 ⇒ 3か所			
平成25年度 事業目標	◆休日保育を継続して実施するとともに、実施施設数の拡大を目指します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆民間認可保育所1か所において、引き続き休日保育を実施しました。				
評価指標	◆休日保育施設数	平成24年度数値	◆1か所	平成25年度数値	◆1か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆休日保育が必要な児童に対して、保育サービスを提供することができました。	◆休日保育の実施箇所数が目標達成できませんでした。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		C

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆休日保育に対する需要を把握した上で、実施か所数の増加に向けた方策について検討します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	公立幼稚園・保育所・こども園 私立保育園
事業名	36 障がい児保育の充実		
		平成25年度事業費決算見込み額	1,100,000円
事業の概要	◆集団保育が可能な障がいのある子どもや、介護を必要とする子どもを受け入れ、健常児とともに保育します。		
平成25年度事業目標	◆個別に支援を要する児童への援助方法や保護者への対応に関する職員の資質向上を図るとともに、個別指導計画作成・実施・評価・見直しを行い、子どもの成長・発達の経過や支援方針を確実に引き継ぐ体制を整備します。		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆特別支援アドバイザーによる保育所特別支援事業事例研修(年10回)を実施しました。 ・乳幼児への指導法や支援のあり方を学ぶ ・個々の障害などの状態や発達の程度などを把握し、指導のねらいや内容を明確にし、併せて就学について助言を受ける。 ・保護者支援について学ぶ ◆学級運営支援事業(年42回) ◆ひまわり発達相談センターによる巡回相談(12月末現在89回)				
評価指標	◆障害児保育実施施設数	平成24年度数値	◆28か所	平成25年度数値	◆26か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆助言をいただいたり、実際に支援児や周囲の幼児に講師の先生が援助する姿を見せていただいたりしたので、具体的に理解しやすかった。 ◆支援児が多い中で個別の指導はもとより、幼児であればクラスでの配慮も学ぶ機会は必要である。学級運営支援事業での指導を今後も希望したい。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆支援児の援助はもとより、支援児を取り巻く周囲の幼児を含めた支援の方法を知り、指導に生かすことができた。これにより、学級経営において、望ましい友達関係や教師との信頼関係を築くことができました。 ◆対象児の行動に対して周りの子どもが遠慮することなく、他の子ども自分を出せるようになる事が大事である事、4歳くらいから社会性が伸びる時期であり、自己主張せずに言いたいことを我慢するだけではなく、受け入れる力をつけていくなどのクラス全体への指導の方向を知る事が出来ました。 ◆支援児を含めたクラス運営を、臨床心理士と指導主事とで多角的に見て指導してもらったことで幅広い観点から協議することができました。いままで気づかなかった課題にも目を向けることができ、保育の見直しをもつことができ、大変参考になりました。	◆26年度より個別支援計画を作成した児童の就学後の小学校訪問についての所管が、こども保育課からひまわり発達相談センターに移るため、施設側が作成した個別支援計画が確実に引き継げるよう関係機関との連携を更に強化します。
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆個別に支援を要する児童への援助方法や保護者への対応に関する職員の資質向上を図るとともに、個別指導計画作成・実施・評価・見直しを行い、子どもの成長・発達の経過や支援方針を確実に引き継ぐ体制を整備します。 ◆支援を要する児童を含めた学級運営と集団保育に対する支援体制を充実します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課	
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	在園児と保護者	
事業名	37 幼稚園・こども園における預かり保育の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	7,525,878円	
事業の概要	◆幼稚園・こども園で、預かり保育を継続して実施します。 【具体的目標】 22年度 26年度 ★実施か所数 15か所 ⇒ 14か所(公立幼稚園の再編に伴う減少)			
平成25年度事業目標	◆保護者のニーズを把握し、預かり保育の実施内容について充実を図ります。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆13幼稚園、2こども園で預かり保育を実施しました。 ◆家庭的な雰囲気づくりや幼稚園生活と家庭生活との連続性を配慮し、保育内容の充実に努めました。			
評価指標	◆施設数 ◆利用児童数	平成24年度数値	◆15か所 ◆24,095人	平成25年度数値 ◆15か所 ◆14,442人(H25.12末時点)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	なし
-------------------	---	-------------------	----

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆教育課程に基づく教育活動との関連を図ると共に、学級担任と預かり保育担当者との連携を密にすることで、幼児の一日の生活リズムに配慮して実施することができました。	◆地域の実態や保護者のニーズと幼児の心身の負担に配慮しながら、預かり保育の実施内容について十分検討していく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆保護者のニーズを把握し、預かり保育の実施内容について充実を図ります。
------------	-------------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課	
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	年長5歳児	
事業名	38 鹿野山宿泊保育の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	3,592,034円	
事業の概要	◆鹿野山少年自然の家で、自然体験のため1泊2日の宿泊保育を実施します。			
平成25年度事業目標	◆鹿野山の自然に五感を通して触れたり宿泊を体験したりする中で、自立心を養うとともに幼児同士の交流を深めながら、自信をもって生活できるようにします。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆13幼稚園、2こども園で5歳児を対象に実施しました。			
評価指標	◆園児の満足度割合	平成24年度数値	◆90%	平成25年度数値	◆96%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	なし
-------------------	---	-------------------	----

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆宿泊保育に向け、家庭との連携を図りながら基本的な生活習慣の定着を進めてきたことで、実際の宿泊体験の中で自分の力で生活することができました。また、そのことが幼児にとって大きな自信につながりました。 ◆自然環境の中で、五感を通して生き物や植物を身近に触れ、興味、関心を深めることができました。	◆事業が形骸化しないように、活動内容の見直しを図っていく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆五感を通して自然に触れたり、体験したり、幼児同士の交流を深めたりします。
------------	---------------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課	
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	生後56日を経過した日から小学校3年生までの病児回復期の児童	
事業名	39 病児・病後児保育の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		20,803,000円
事業の概要	◆子どもが病気の時に、家庭の事情や仕事の都合等で育児が困難な期間に医療機関に付設された市内2か所の施設で、施設間の連携を図りながら事業を実施します。 【具体的目標】 22年度 26年度 ★実施か所数 2か所 ⇒ 2か所			
平成25年度事業目標	◆保育所等に新規で入所する児童の保護者に対して、チラシやリーフレットの配布・広報活動等によって、事業の周知を図ります。 ◆今後も、障害児等の受け入れなど、検討が必要なケースについて、施設及び関係部署との綿密な連携と保護者との調整を図ります。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆新規に保育所入所となる保護者に対し、事業内容を掲載した案内リーフレットを配布し、事業の周知を行いました。 ◆病児・病後児保育施設として、赤松小児科医院、済生会習志野病院に業務委託を行い、事業を実施しました。また、随時施設との連携を図り、円滑な事業運営に努めました。			
評価指標	◆施設数 ◆利用児童数	平成24年度数値	◆2か所 ◆エンジェル374人・キッズケアルームなどで1,132人	平成25年度数値	◆2か所 ◆エンジェル424人、キッズケア876人(1月末現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆病児・病後児施設は市内で同じような地区にあり使いづらい。市南側に作ることは考えていないのか。 ◆子どもが急に病気になった時に預かってもらえて助かっています。このような施設があるおかげで、仕事を続けていくことができます
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆保護者が仕事などで家庭での育児が困難な子育て家庭を支援することで、子育てと仕事の両立支援を図りました。	◆利用者が制度を円滑に利用できるよう、施設との連携、情報共有に努める必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆保育所等に新規で入所する児童の保護者に対して、チラシやリーフレットの配布・広報活動等によって、事業の周知を図ります。 ◆制度が円滑に利用できるよう、施設との情報共有、連携に努めます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	こども保育課	
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	就学前の乳幼児	
事業名	40 保育所補修整備の推進			
		平成25年度事業費決算見込み額		18,000,000円
事業の概要	◆安心で安全な保育環境を保持するため、保育所の施設整備、改修を計画的に推進します。			
平成25年度 事業目標	◆谷津南保育所0歳児室に床暖房を設置し、安心で安全な保育環境を整備します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆予定どおり谷津南保育所0歳児室に床暖房を設置しました。				
評価指標	◆乳児保育室への床暖房設置施設数	平成24年度数値	◆8か所	平成25年度数値	◆9か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	無
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆床暖房を設置することで、冬季において安全な保育につながりました。 ◆建替え中の施設を除き、保育所の0歳児保育室に床暖房設備の設置が完了しました。	特に無し	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆菊田第二保育所の給食調理室の改修を実施します。
------------	--------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課、健康支援課等の関係各課	
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	市民	
事業名	41 養育支援家庭訪問の実施			
		平成25年度事業費決算見込み額		120,000円
事業の概要	◆育児支援が必要な家庭に対し相談員や保健師等が、子育て支援サービスや情報の提供を行うとともに、子育てに関して専門的な指導及び支援を家庭訪問により実施します。			
平成25年度事業目標	◆養育支援が必要とされた家庭に対し、より綿密な訪問で、育児方法の指導や助言等具体的な支援を行い、育児不安の軽減及び児童虐待未然防止を図ります。 ◆事業対象者に「妊婦」を加え、早期の段階から関わることにより、養育環境を整え虐待未然防止を図ります。 ◆母子保健担当課との更なる連携を図ることにより、新生児訪問等の保健活動後の情報交換や、母子保健業務の中で得た養育環境に不安のある家庭の共有を通じた対象家庭の発掘を行います。 ◆引き続き児童虐待防止の啓発や児童虐待の未然防止等を関係機関と連携して行い、各学校へ定期的な周知を図りたいと考えております。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆養育困難な状況にある妊娠中から1歳未満の子のいる家庭に対し、保健師や家庭相談員が家庭訪問などを行い、育児についての技術的支援を行いました。 ◆臨床心理士による勉強会を実施し(年6回)、職員の相談技術の向上に努めました。				
評価指標	◆育児支援家庭訪問対象世帯数 ◆訪問件数	平成24年度数値	◆5件 71回	平成25年度数値	◆4件 22回(平成26年1月末)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆養育困難な家庭に対し、妊娠中から家庭相談員や保健師が訪問などを行い、安心して出産、育児に臨める環境づくりに努めました。 ◆臨床心理士との勉強会の実施により、支援方法を検証し、今後の支援方法を確認しました。	◆支援を求めない家庭について、行政としてどのようにかかわっていくか、また、支援内容の充実について、今後検討していく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成26年度事業目標	◆養育支援が必要とされた家庭に対し、より綿密な訪問で、育児方法の指導や助言等具体的な支援を行い、育児不安の軽減及び児童虐待未然防止を図ります。 ◆母子保健担当課との更なる連携を図ることにより、新生児訪問等の保健活動後の情報交換や、母子保健業務の中で得た養育環境に不安のある家庭の共有を通じた対象家庭の発掘を行います。 ◆特定妊婦からの関わりを深め、出産後、支援がスムーズに入れる体制を構築します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	公民館	
施策内容	1 多様なニーズに応える保育サービスの充実	事業対象者	子育て中の親	
事業名	42 公民館の託児付き成人講座の実施			
		平成25年度事業費決算見込み額	126,000円	
事業の概要	◆公民館で実施する成人向け講座に託児を設けます。			
平成25年度 事業目標	◆引き続き、子育て中の母親が参加しやすいように、託児付きの成人講座を実施していきます。また、他公民館でも実施できるよう検討していきます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆気功、料理、クラフト小物作り、防災の講座を託児付きで実施しました。				
評価指標	◆実施講座数	平成24年度数値	◆4講座	平成25年度数値	◆4講座

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆育児中の母親が子育てから解放され、学習することにより心身のリフレッシュができ、共通の趣味を通して仲間づくりができました。	◆託児を実施していない公民館もあります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆引き続き、子育て中の母親が参加しやすいように、託児付きの成人講座を実施していきます。また、実施回数を増やすことができるよう検討していきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課・こども保育課	
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	未就学児とその保護者	
事業名	43 こどもセンターの充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	5,715,000円	
事業の概要	◆子どもと親が自由に遊び交流する場として、子育てに関する情報提供、小児科医等による育児相談、乳幼児を対象とした学習会、公民館等、地域に出向いた育児講座等の行事を行い、また土曜日に開館することで、父親の育児参加を促します。 【具体的目標】 22年度 26年度 ★実施か所数 2か所 ⇒ 4か所			
平成25年度事業目標	◆子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供が行えるよう、サービスを拡充していきます。 ◆ボランティア等との連携により子育てを支援していけるよう、その活用方法を検討します。（子育て支援課） ◆平成26年度新たなこどもセンターのオープンに向けて、（仮称）袖ヶ浦こども園の施設を完成させます。（こども保育課）			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆こども園こどもセンター(東習志野、杉の子)やきらっ子ルーム(やつ、おおくぼ)と連携を取りながら事業を実施しました。(子育て支援課) ◆親子がいつでも気軽に遊び交流できる場の提供や子育てに関する情報提供、保護者からの育児相談等に対応しました。(子育て支援課) ◆地域のボランティアの協力を得ながら、四季折々の遊び(年5回)、学習会(年7回)、地域世代子育て交流会(年2回)、きらっ子こどもまつり(10月19日開催)など、地域と連携したイベントを実施しました。(子育て支援課) ◆平成25年6月より、ファミリーサポートセンター事業の一時預かり事業を鷺沼こどもセンターで開始しました。(子育て支援課) ◆育児相談(小児科医月1回、9月まで)、職員(保健師、保育士)による育児相談を随時実施しました。(子育て支援課) ◆鷺沼こどもセンターより「あ・そ・ぼ」を「あ・そ・ぼの会」による編集・発行として偶数月に作成したほか、行事案内を毎月発行しました。(子育て支援課) ※鷺沼こどもセンターは、建物の屋根の梁の耐力不足により10月2日より閉鎖とし、12月2日より鷺沼連合会館2階と白鷺園園庭を使用し暫定施設として再開しました。(子育て支援課) ◆こどもセンターの整備を含む袖ヶ浦こども園の建設を進めました。(こども保育課)			
評価指標	◆施設数 ◆利用者数	平成24年度数値	◆3か所 ◆鷺沼32,172人 東習志野14,734人 杉の子16,242人	平成25年度数値	◆3か所 ◆鷺沼18,499人 ◆東習志野12,914人 ◆杉の子17,207人(1月末現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	(子育て支援課) ◆鷺沼のような広いこどもセンターをもう少し増やしてほしい。 ◆こどもセンターやきらっ子ルームを毎日のように利用しています。家で子どもと2人でいると息苦しくなることがあります。施設の先生方に話を聞いてもらって本当に助かります。 ◆JR津田沼周辺にこどもセンターがほしいです。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆こどもセンター職員(保育士、保健師)及び小児科医による育児相談を実施し、子育て中の保護者の育児不安の解消につながりました。(子育て支援課) ◆土曜日の開館により、父親や共働き家庭の利用が図られました。(子育て支援課) ◆地域子育て支援センター等連絡会議を開催し、こども園こどもセンター、きらっ子ルームの施設間での情報共有を図りました。(子育て支援課) ◆こどもセンターの整備を含む(仮称)袖ヶ浦こども園の建設を進めましたが、地中埋設物や労務者不足の影響により、一部工事を繰越すことになりました。(こども保育課)	◆こどもセンター(鷺沼)は、暫定施設使用のため、次年度は現施設に対応した事業内容の検討を行う必要があります。(子育て支援課) ◆引き続き4ヶ所目のこどもセンターの整備を進めます。(こども保育課)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供が行えるよう、創意工夫によりサービスの充実をめめます。(子育て支援課) ◆ボランティア等との連携により子育てを支援していけるよう、その活用方法を検討します。(子育て支援課) ◆平成26年度新たなこどもセンターのオープンに向けて、袖ヶ浦こども園の施設を完成させます。(こども保育課)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課	
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	未就学児(主に0、1、2、3歳児)とその保護者	
事業名	44 つどいの広場(きらっ子ルーム)の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	7,208,000円	
事業の概要	◆商店街の空き店舗やマンションの一室を活用し、主に乳幼児を持つ親と子どもが気軽に集い、打ち解けた雰囲気の中で語り合いながら交流を図り、育児相談等を行う場を提供することにより、孤立しがちな子育て家庭の負担軽減を図ります。 【具体的目標】 22年度 26年度 ★実施か所数 2か所 ⇒ 2か所			
平成25年度 事業目標	◆子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供が行えるよう、サービスを拡充していきます。 ◆地域(ボランティア等)との連携により子育てを支援していけるよう、その活用方法を検討します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆親子が気軽に来所し、遊び交流できる場の提供及び子育てに関する情報の提供に努めました。 ◆職員は来所した親子に見守りや声掛けを行い、保護者からの相談に随時対応しました。 ◆地域ボランティアを積極的に活用し、おはなし会他講習等を行いました。 (きらっ子ルームやつ)おはなし会10回、ベビーマッサージ1回、ミニコンサート5回、歯科講座1回等 (きらっ子ルームおおくぼ)おはなし会1回、ベビーマッサージ7回			
評価指標	◆施設数 ◆利用者数	平成24年度数値	◆2か所 ◆やつ 12,523人・おおくぼ 12,716人	平成25年度数値	◆2か所 やつ11,656人、おおくぼ 10,429人(1月末現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆無料で好きな時間に利用できる場所があるのがとても助かっています。 ◆藤崎からきらっ子ルームなどが遠くて不便。10分～15分程度の距離にほしい。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆きらっ子ルームやつは、土日に開館していることにより、父親や共働き家庭の利用がありました。 ◆保育士による見守りや声掛け、保護者からの相談に対応し、育児不安の解消につながりました。 ◆地域子育て支援センター連絡会議として、こどもセンター(鷺沼、東習志野、杉の子)、きらっ子ルーム(やつ、おおくぼ)の施設間で情報の共有を行いました。	◆地域ボランティアとの連携により、講習やイベントなどを充実していく必要があります。 ◆子育てに関する情報の充実に努めるほか、利用者の視点に立った利用しやすい施設運営を行う必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆子育て家庭のニーズに応えた育児支援や情報提供が行えるよう、サービスの充実に努めます。 ◆地域(ボランティア等)との連携により子育てを支援していけるよう、その活用方法を検討します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	保育所・こども園・こども保育課	
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	就学前児童及び保護者	
事業名	45 保育所・こども園における地域開放活動の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		—
事業の概要	◆子ども同士のふれあい、保護者同士の交流、育児情報の提供の場として、保育所・こども園を地域に開放します。			
平成25年度 事業目標	◆地域における乳幼児の子育て支援に努め、相談に応じるとともに、情報提供・親子来所来園・保護者同士の交流の機会を提供し、子育て家庭に対する不安感の軽減や支援の充実を図ります。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆各施設、月1～3回程度所庭・園庭を開放します。			
評価指標	◆実施施設数 ◆参加人数	平成24年度数値	◆13施設 ◆1,324人	平成25年度数値 ◆13施設 ◆1,791人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	なし
-------------------	---	-------------------	----

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆安心してあそべる場の提供ができました。 ◆来所・来園した親子が在所児・在園児の遊ぶ様子を見たり一緒に遊んだりすることで、子どもの発達や援助の仕方など子育ての参考とすることができました。 ◆栄養・健康に関する情報提供を行い子育ての参考になることに努めました。	◆栄養・健康に関する情報提供の充実及び遊びや援助の仕方など子育て支援情報提供の充実を図る必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆地域における乳幼児の子育て支援に努め、相談に応じるとともに、情報提供・親子来所来園・保護者同士の交流の機会を提供し、子育て家庭に対する不安感の軽減や支援の充実を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	幼稚園・こども園・こども保育課	
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	未就園児とその保護者	
事業名	46 幼稚園・こども園における子育てふれあい広場の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		851,584円
事業の概要	◆親子、親同士、子ども同士、園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放します。			
平成25年度 事業目標	◆子育てに関する情報の発信や親子・子ども同士・親同士・在園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放することにより、子育て支援の充実を図ります。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆親子、子ども同士、親同士、園児との交流や遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域の未就園児とその保護者に開放しました。				
評価指標	◆実施施設数 ◆参加人数	平成24年度数値	◆15か所	平成25年度数値	◆15か所

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	なし
-------------------	---	-------------------	----

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆未就園児とその保護者が様々な人との交流を通して、遊びの楽しさや人とのかかわる楽しさを感じることができた。また、保護者が在園児の姿を通して、我が子の成長に期待や見通しをもつ機会となった。 ◆ふれあい広場の中で子育てに関する情報の発信や共有をしたり、相談に応じたりすることで、地域の子育て支援としての役割や機能の充実を図ることができた。	◆各施設同士で情報交換することで、内容の充実をさらに図る。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆子育てに関する情報の発信や親子・子ども同士・親同士・在園児との交流、遊びの紹介、子育て相談等の場として、幼稚園・こども園を地域に開放することにより、子育て支援の充実を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課・公民館	
施策内容	2 地域における子育て支援の拠点づくり	事業対象者	市民(乳幼児を持つ親等)	
事業名	47 育児サークルへの支援			
		平成25年度事業費決算見込み額	0円	
事業の概要	◆親同士の情報交換と育児の仲間づくりを進めるため、場所の提供や育児サークルの育成・交流等の支援を行います。			
平成25年度 事業目標	◆こどもセンターでの活動が主体となっている育児サークル「あそぼの会」に対して、引き続き、「あ・そ・ぼ」の発行などに対する支援を行います。(子育て支援課) ◆親同士子ども同士の仲間づくりを支援していくため、親同士の交流を支援し、こどもセンター、きらっ子ルームにおいて、子育て情報の掲示板として、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行います。(子育て支援課) ◆育児サークル化の支援とともに、活動しやすい環境づくりに努めます。(公民館)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆育児サークル「あ・そ・ぼの会」の主な活動である「こどもセンターたより」について、こどもセンターの支援のもと編集・発行を行いました。(年5回発行)(子育て支援課) ◆こどもセンター(鷺沼)、きらっ子ルームの掲示板において、子育て情報として、育児サークル発信によるチラシ等の掲示を行い、情報提供に努めました。(子育て支援課) ◆育児講座の終了後に、サークル化に向けて適宜アドバイスを行いました。(公民館)				
評価指標	◆育児講座終了後のサークル化数	平成24年度数値	◆7学級中2サークル	平成25年度数値	◆6学級中4サークル

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆あそぼの会のメンバーからは、「活動を通じて親同士のつながりができた、子育てに関する知識も得られ、安心して子育てができるようになった。」との意見がありました。(子育て支援課)
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆「あ・そ・ぼの会」の支援により、参加メンバーは、こどもセンターたよりの編集、発行作業を通じ、こどもセンターを拠点とする親同士の仲間づくりや交流を深めるとともに、子どもとの遊び方、その他子育てに関する情報を得、子育て期の充実につながっています。(子育て支援課) ◆講座終了後にサークル化することにより、講座中に育まれた仲間づくりを継続することができました。また、育児の悩みを共通理解することで、育児の孤立化を予防しています。(公民館)	◆今後も、こどもセンターやきらっ子ルームにおいて、育児サークル等の情報提供を行うとともに、仲間づくりや情報交換の場の提供と支援に努める必要があります。(子育て支援課) ◆講座終了のたびに新しいサークルが増えるため、部屋が確保できない状況です。そのため、既存のサークルと合併させることも検討する必要があります。(公民館)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆こどもセンターでの活動が主体となっている育児サークル「あそぼの会」に対して、引き続き、「あ・そ・ぼ」の発行などに対する支援を行います。(子育て支援課) ◆親同士子ども同士の仲間づくりを支援していくため、親同士の交流を支援し、こどもセンター、きらっ子ルームにおいて、子育て情報の掲示板として、育児サークルや遊びの紹介等の情報提供を行います。(子育て支援課) ◆育児サークル化の支援とともに、活動しやすい環境づくりに努めます。(公民館)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課・健康支援課	
施策内容	3 子育てに関する情報提供の充実	事業対象者	妊婦とその夫(パートナー) 乳幼児を持つ保護者	
事業名	48 子育て情報の提供			
		平成25年度事業費決算見込み額	2,434,000円	
事業の概要	◆「ならしの子育てハンドブック」、「すこやか習志野っ子ファイル」、「すこやか子育てガイド」、「子育て情報マップ」等を作成し、妊娠中から子育て期に合わせて、必要な子育て情報を提供します。			
平成25年度 事業目標	◆引き続き、「ならしの子育てハンドブック」を配布するとともに、最新の子育て支援情報について、市のホームページや携帯サイト・広報等で周知を図ります。(子育て支援課) ◆提供する情報の充実と正確さを図るために、定期的に内容を見直していきます。(健康支援課)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆本市の子育て支援に関連する情報や制度について掲載した「ならしの子育てハンドブック」を作成し、子育て支援窓口にてお子さんが生まれた方や乳幼児のいる転入者の方に配布を行いました。また、その他各種制度のチラシ・パンフレット等子育て支援窓口やこどもセンター、きらっ子ルーム他、市内公共施設に設置し、市民の方々へ情報提供を行いました。併せて市ホームページにおいても、子育て支援に関する情報の充実に努め、特にタイムリーな情報発信を行いました。(子育て支援課) ◆母子健康手帳交付時に「すこやか子育てガイド」を配布し、新生児訪問時には「すこやか子育てガイド」を活用して保健活動を行いました。さらに母子保健推進員家庭訪問時に「すこやか習志野っ子ファイル」、「子育て情報マップ」の内容を説明しながら配布しました。(健康支援課) ◆「すこやか子育てガイド」、「すこやか習志野っ子ファイル」とともに、継続して活用できるよう、内容の充実を図りました。また、「ママ・パパになるための学級」や「4か月児健康相談」においても「すこやか子育てガイド」を活用し、情報提供しました。(健康支援課)				
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率	平成24年度数値	◆95.1%	平成25年度数値	◆95.8%(1月末見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「ならしの子育てハンドブック」は、子育てに関する情報がまとまっていて活用しています。(子育て支援課) ◆すこやか子育てガイドでは、「市のサービスの流れが記載してありイメージがつきやすかった」、また子育て情報マップでは、産後のママから「遊び場がたくさん載っていて分かりやすい」などの感想を得ています。(健康支援課)
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆「ならしの子育てハンドブック」やその他チラシ・パンフレットの配布により、市民への子育てに関する情報提供を行うことができました。(子育て支援課) ◆「すこやか習志野っ子ファイル」、「すこやか子育てガイド」、「子育て情報マップ」により妊娠中から子育て期の対象者に合わせた必要な情報を提供できました。また、様々な事業の中でも情報提供する媒体としてくり返し活用しました。(健康支援課)	◆「ならしの子育てハンドブック」は隔年で作成しているため、次のパンフレット作成までに制度改正等による修正事項が多くあり、その作業を手作業で行っています。パンフレットは毎年度作成に切り替えるなどの検討や紙面での情報提供そのものについての検討も必要と思われます。(子育て支援課) ◆引き続き、新しい情報をタイムリーに反映させていきます。(健康支援課)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆引き続き、「ならしの子育てハンドブック」を配布するとともに、最新の子育て支援情報について、市のホームページや携帯サイト・広報等で周知を図ります。(子育て支援課) ◆子育てに関するウェブサイト導入について検討をします。(子育て支援課) ◆提供する情報の充実と正確さを図るために、定期的に内容を見直していきます。(健康支援課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	公民館	
施策内容	3 子育てに関する情報提供の充実	事業対象者	乳幼児を持つ親	
事業名	49 育児講座の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	330,000円	
事業の概要	◆公民館で乳幼児を持つ親を対象に、乳幼児の健康や遊び、心理、心と体の発達等、子育てに関する講座を実施します。			
平成25年度 事業目標	◆引き続き育児講座を実施し、学習を通して子育てに悩む親の支援と仲間づくりの促進を図ります。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆乳幼児を持つ親を対象に、対象年齢にあった遊びや健康、発達段階について学びました。			
評価指標	◆実施学級数 ◆実施回数	平成24年度数値	◆7学級 ◆43回	平成25年度数値 ◆6学級 ◆36回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	(育児講座「乳幼児の生活と健康」) ・病気や怪我など心配なことが相談出来てよかった。 ・熱のこと、聞けて良かったです。夜間や救急の時に慌てないよう、しっかり資料を読んでおきたい。 ・1年間まったく病気をしなかったのも、今後、突然体調を崩したとき慌ててしまいそうですが、色々お話を聞いて、まず親の私が落ち着いて対応しようと思いました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆子育てに関する正しい知識を身に着けるとともに、同じ悩みを共有することにより育児の孤立化を防ぎ、仲間づくりができました。	特になし	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成26年度事業目標	◆引き続き育児講座を実施し、学習を通して子育てに悩む親の支援と仲間づくりの促進を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	公民館	
施策内容	3 子育てに関する情報提供の充実	事業対象者	3歳児を持つ親	
事業名	50 幼児家庭教育学級の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	966,000円	
事業の概要	◆公民館で3歳児の親を対象に、様々な角度から子育てに関する講座を実施します。			
平成25年度事業目標	◆プログラムの充実を図るとともに、講座終了後に参加者が継続的な交流が持てるように支援していきます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆3歳児に応じた健康や遊び、心と体の発達等、子育てに関する講座を実施しました。			
評価指標	◆実施学級数 ◆実施回数	平成24年度数値	◆7学級 ◆83回	平成25年度数値	◆7学級 ◆83回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	(幼児家庭教育学級) ・講座に参加したことで、子どもは楽しそうに公民館に通ってくれ、私も勉強になりました。育児は人それぞれとはいふものの、進めた方がいい事、した方がいい事は積極的に取り入れようと思っています。講座のメンバーに恵まれ、楽しく参加できました。 ・講座に参加して、それぞれの専門の方からいろいろな話を聞くことができ、大変参考になりました。子どもは講座が終わった後、公園で遊ぶのが楽しくて、親子共にいい時間を過ごすことができました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆子育てに関する正しい知識を身につけるとともに、同じ悩みを共有することにより育児の孤立化を防ぎ、仲間づくりができました。	◆講座終了後、母親の就労や子どもの幼稚園入園により、継続的な交流が持てない場合があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆プログラムの充実を図るとともに、講座終了後に参加者が継続的な交流が持てるように支援していきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課	
施策内容	4 地域の人材の知識や経験を生かす活動の推進	事業対象者	子育て経験者・高齢者	
事業名	51 子育て経験者や高齢者のための子育て講座の実施			
		平成25年度事業費決算見込み額		0円
事業の概要	◆子育てについて豊富な経験を有するものの、子育てに関する情報が乏しい高齢者等に、最近の子育て事情等について講座を実施します。			
平成25年度事業目標	◆子育てを地域で支えていく意識を根付かせていくため、地域の高齢者や子育て経験者に対して子育て講座を実施します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆こどもセンター(鷺沼)とファミリー・サポート・センターの共催により、こどもセンター利用者とファミリーサポートセンター提供会員を対象に講座を実施しました。 日時:平成25年9月20日(金) テーマ:「親子の関わり方～言葉の伝え方」 参加者:26人 講師:ひまわり発達相談センター 清水郁乃氏				
評価指標	◆実施回数	平成24年度数値	◆1回	平成25年度数値	◆1回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆二人一組の実技をしながらの説明が分かりやすかったです。 ◆事前に質問をあげていた内容にアドバイスをいただけたのでとても勉強になりました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆ファミリーサポートセンターの提供会員は、自身の子育てを終了している方も数多くいるので、今回の講座で親子の関わり方、子どもとのコミュニケーションの取り方について改めて学習し、地域で子育てを支える役割として理解を深めることができました。	◆子育てを地域で支えていく意識や子育てしやすい環境づくりへの理解を深めるため、より多くの子育て経験者や高齢者が講座等を受講できる機会を提供する必要があります。実施については、公民館等との共催なども検討していく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆子育てを地域で支えていく意識を根付かせていくため、地域の高齢者や子育て経験者に対して子育て講座を実施します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課	
施策内容	4 地域の人材の知識や経験を生かす活動の推進	事業対象者	市民	
事業名	52 地域の人材の活用			
		平成25年度事業費決算見込み額	0円	
事業の概要	◆こどもセンターで開催する学習会等において、地域の人々の子育てに関する知識・技術を有効活用します。			
平成25年度事業目標	◆地域力の活性化を目指して、子育てに関する知識を豊富に有している地域の方々によるボランティアを活用します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆こどもセンター(鷺沼)やきらっ子ルームにおいて、地域のボランティアの方々に協力いただき、おはなし会や講座などを実施しました。 (ボランティア人数) こどもセンター(鷺沼) たなばたコンサート(1回、24人)、おはなし会(9回、3人)、誕生のつどい(1回、4名)、おもちゃ病院(5回、17人)、親子のための楽々健康体操(6回、2人)、学生による親子ミニコンサート(1回、2名)、あそぼの会(21回、8人)、きらっ子ルームやつ おはなし会(10回、5人)、ミニコンサート(2回、6人)、ベビーマッサージ(1回、1人)、人形劇(1回、6人)、ミニ講座(1回、1人)、ゴスペル(1回、10人) きらっ子ルームおおくぼ おはなし会(1回、1人)、ベビーマッサージ(7回、1人)、おもちゃ拭き(10回、1人)				
評価指標	◆ボランティア活用人数	平成24年度数値	◆82人(1月末現在)	平成25年度数値	◆92人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆ミニコンサートは、とても素晴らしく元気をもらえた。子育ての励みになりました。 ◆歯科のお話は、丁寧にわかりやすくお話しいただいてとてもよかった。 ◆手づくりの人形劇は見ていてとても楽しかった。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆ボランティアの方々の協力により、こどもセンターやきらっ子ルームの事業の充実につながりました。	◆今後も地域で活躍する方々の豊富な知識や経験を有効活用できるよう、こどもセンターやきらっ子ルーム等において、ボランティアの活用を継続していく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆地域力の活性化を目指して、子育てに関する知識を豊富に有している地域の方々によるボランティアの活用に努めます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課	
施策内容	4 地域の人材の知識や経験を生かす活動の推進	事業対象者	子育て支援団体	
事業名	53 ならしの子育て支援ネットワークの充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	0円	
事業の概要	◆子育て支援に様々な形で関わっている団体等が、情報交換や問題点・課題を共有する場を設け、お互いの立場を理解し合いながら対策を講じることにより、地域における子育て支援をさらに推進していきます。			
平成25年度事業目標	◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等が情報交換や課題を共有する場を設定します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆毎年10月に再開している「きらっ子こどもまつり」について、子育て支援団体を含む実行委員会を組織し、事業を実施しました。きらっ子こどもまつり実行委員会では、ならしの子ども劇場がこどもセンター閉鎖により会場確保ができないため不参加となりましたが、ぽっぽの会が参加し、こどもまつり実施についての意見交換を行うことができました。 ◆子育て支援を考える会との意見交換会を実施しました。 ◆ならしの子ども劇場主催の講座に出席し、子どもの遊びの環境づくりについて情報を共有しました。				
評価指標	◆会議開催回数	平成24年度数値	◆1回	平成25年度数値	◆2回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆団体が主催する事業に参加していただき、行政の方には理解を深めてほしいです。 ◆きらっ子こどもまつりには来年も協力したいと思います。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆昨年度のような意見交換会としては実施することができなかったが、子育て支援団体との情報共有、連携に努めることができた。	◆今後も関係団体との連携に努め、情報共有、意見交換に努める必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等が情報交換や課題を共有する場を設定します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課	
施策内容	5 子育て家庭の経済的負担の軽減	事業対象者	0歳から15歳までの児童を養育している父母等	
事業名	54 児童手当の支給		平成25年度事業費決算見込み額	2,622,185,000円
事業の概要	◆15歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童の養育者(父母等)に手当を支給します。 ◆平成24年4月1日より、児童手当に制度改正されました。			
平成25年度事業目標	◆広報、ホームページ等により制度の周知に努め、手当の未申請の防止を図ります。 ◆現況届の提出を周知し、未提出による差止の防止に努めます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆広報、ホームページへの掲載、リーフレットの配布等により制度の周知に努め、手当の未申請の防止を図りました。 ◆現況届未提出者に対しては、個別に現況届の提出の周知を行い、未提出による差止の防止に努めました。				
評価指標	◆支給児童数	平成24年度数値	◆21,164人	平成25年度数値	21,444人 (平成26年1月末時点)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆広報、ホームページへの掲載、リーフレットの配布等により制度の周知を行い、また、現況届未提出者に対しては個別に周知を行ったことにより、多くの市民が児童手当を申請、受給することとなり、子育て家庭の経済的負担の軽減が図られました。	◆ホームページの更新回数が少なかったため、制度の周知に努めるにあたり、更新内容、回数等について検討する必要があります。 ◆現況届未提出者に対して周知を行うことにより現況届の提出があったが、依然として未提出による差止となる場合があるため、周知方法等について検討し、今後も未提出による差止の防止に努めていく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆継続的に広報に掲載し、またホームページを更新することで、制度の周知に努めます。 ◆現況届未提出者に対しての周知方法等について検討し、未提出による差止の防止に努めます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	1 地域における子育て支援の充実	担当課	子育て支援課	
施策内容	5 子育て家庭の経済的負担の軽減	事業対象者	市内在住の0歳～中学校3年生の子ども	
事業名	55 子どもの医療費等の助成			
		平成25年度事業費決算見込み額		346,169,563円
事業の概要	◆0歳～小学校3年生の入院・通院、小学校4年生～中学校3年生の入院にかかる医療費について、保険診療自己負担分を一部助成します。			
平成25年度事業目標	◆引き続き本事業を継続するとともに、広報やホームページ等で定期的に本事業を周知させることで、子ども医療費助成受給券の交付率の向上や、受給券の誤使用の防止に努めます。 ◆更なる助成対象の拡大については、県や他市町村の動向等に注目しつつ検討していきます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆子どもの保健向上を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減するため、子どもが医療機関等にかかった際の医療費の一部を助成いたしました。				
評価指標	◆子ども医療費助成受給券交付率	平成24年度数値	◆91.8%	平成25年度数値	◆93.17%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆子ども医療費助成受給券の交付率が前年度に比べ上昇し、子どもの保健向上及び保護者の経済的負担が軽減され、本市の子育て支援の充実が図られました。	◆小学校4年生～中学校3年生までの入院で使用する子ども医療費助成受給券は、受給券のうち特に未交付の対象者が多い点。 ◆入院で使用する受給券について、保護者・医療機関双方への周知が不足し、受給券の誤使用(通院で使用する等)があった点。 ◆独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付の対象医療費への誤使用も、昨年と同程度発生している点。 ◆近隣市町村において通院に係る助成対象年齢を拡大する動向があり、本市においても検討していく必要がある点。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆引き続き本事業を継続するとともに、広報やホームページ等で定期的に本事業を周知させることで、子ども医療費助成受給券の交付率の向上や、受給券の誤使用の防止に努めます。 ◆更なる助成対象の拡大については、県や他市町村の動向等に注目しつつ検討し、子どもの保健向上及び保護者の経済的負担の軽減を目指していきます。 ◆平成26年12月診療分から、通院の助成対象年齢を小学校3年生から小学校6年生へ拡大することに伴う、制度の円滑な移行に努めます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	2 仕事と子育ての両立の推進	担当課	男女共同参画センター・商工振興課・子育て支援課・こども政策課	
施策内容	1 企業における子育て支援対策の促進	事業対象者	市民	
事業名	56 子育てに関する制度の活用推進			
		平成25年度事業費決算見込み額	2,356,666円	
事業の概要	◆職業生活と家庭生活の両立に関する制度等について、パンフレットの配布等により情報提供を行います。 ◆育児休業制度、配偶者の出産休暇制度や子の看護休暇制度についてパンフレット等で啓発するとともに、求人情報サイト「アクティブならし」にも掲載し、情報提供を行います。 ◆市内企業における仕事と子育てが両立できる職場環境づくりを、商工会議所と連携して啓発し、「子育て支援先端企業」の誕生を目指します。			
平成25年度事業目標	◆男女がともに仕事と家庭の両立ができるよう引き続き周知していく。(男女共同参画センター) ◆「子育て・子育てを地域(みんな)で支えるまち」づくりを推進する為、千葉県が平成24年7月から実施されている「企業参画型子育て支援事業」への協賛事業者募集に関する周知を関係機関との連携により事業者に行うとともに、市内事業所の協賛事業所へのさらなる応募につなげていきます。(商工振興課、こども政策課) ◆子育てに関する様々な制度についての情報を窓口を設置し、市民の方々への情報提供を行います。(子育て支援課)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に 実施した 事業内容	◆本市の子育て支援に関連する情報や制度について掲載した「ならしの子育てハンドブック」を作成し、子育て支援窓口にてお子さんが生まれた方や乳幼児のいる転入者の方に配布を行いました。また、その他各種制度のチラシ・パンフレット等を子育て支援窓口やこどもセンター、きらっ子ルーム他、市内公共施設に設置し、市民の方々へ情報提供を行いました。併せて市ホームページにおいても、子育て支援に関する情報の充実にも努め、特にタイムリーな情報発信を行いました。(子育て支援課) ◆「子育て支援先端企業認証制度」に関する周知を、習志野商工会議所との連携により商工会議所のホームページで本事業の概要の掲載を依頼し、周知しました。また、勤労会館、「アクティブならし」を活用し、各種制度等の周知を行いました。(商工振興課) ◆(男女共同参画センター) 【1】男女共同参画啓発講座 日時:9月3日、9月17日、10月1日、10月15日、10月29日(火曜日開催、5回講座)10:00～12:00 会場:サンロード津田沼5階研修室 参加者:66名(延べ) テーマ:わたしへのごほうび講座～ココロを軽くするワークショップ～ 講師:NPO法人パートナーシップながれやま代表 山口文代 他 【2】子育て応援セミナー ※こどもセンターと共催 日時:平成26年3月1日(土)10:00～12:00 会場:男女共同参画センター研修室 定員:25名 テーマ:子育て中のババママ必見! 気持ちが変わるコミュニケーション術～自分も相手も大切に～ 講師:NPO法人アサーティブジャパン認定講師 寺地典子 【3】情報紙「きらきら」の発行 ※市民参画による企画・編集 特集テーマ 第27号(7月発行)「一人ひとりが日ごろから考える防災」第28号(11月発行)「ずっと働く、もう一度働く自分らしさをいかして」第29号(2月発行)「将来は『ともに働きともに子育て』若い世代の男女共同参画意識」各13,000部 市内幼稚園、保育所、小学校保護者に配布、公共機関等に設置 【4】ワーク・ライフ・バランス市内推進プロジェクト開催 【5】ステップならしの図書情報コーナーに、男女共同参画やDV、ワーク・ライフ・バランスに関連する書籍を設置				
評価指標	◆「子育て支援先端企業」認証企業数 ◆男性の家庭参画を促す講座等の実施	平成24年度数値	◆2 ◆1回	平成25年度数値	◆2 ◆1回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「ならしの子育てハンドブック」は、子育てに関する情報がまとまっており、活用しています。(子育て支援課) ◆男女共同参画啓発講座から(男女共同参画センター) ・悩んでいるのはじぶんだけではないと気づき少し心が軽くなりました。 ・今の世の中には多くの情報が溢れていて自分がこの先どのように生きていったらよいか悩んでいたもので色々な先生方の話は大変参考になりました。今まで考えていなかった地域とのつながりも大切なことだと実感しました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】	
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】
◆「ならしの子育てハンドブック」やその他チラシ・パンフレットの配布により、市民への子育てに関する情報提供を行うことができました。(子育て支援課) ◆習志野市商店会連合会や習志野商工会議所等の庁外関係機関との連携を図ることで、「子育てに関する制度の活用」の推進につながりました。(商工振興課) ◆男女共同参画啓発講座では、全5回講座にもかかわらず、もっと開催してほしいという意欲的な意見が多く、地域や社会への女性の参画等のテーマに対し、前向きな評価を得られました。(男女共同参画センター) ◆情報紙「きらきら」については、公募の編集委員との協働にて企画・編集を行い、男女共同参画社会づくりにつながるテーマの特集を組み発行することができました。(男女共同参画センター) ◆ワーク・ライフ・バランス市内推進プロジェクトを開催し各担当部署が抱える問題、今後の課題等を意見交換することにより情報の共有化を図れました。(男女共同参画センター)	◆「ならしの子育てハンドブック」は各年で作成しているため、次のパンフレット作成までに制度改正等による修正事項が多くあり、その作業を手作業で行っています。パンフレットは毎年度作成に切り替えるなどの検討や紙面での情報提供そのものについての検討も必要と思われます。(子育て支援課) ◆男女共同参画啓発講座等において地域とのつながりを重視する意見が多く見受けられます。子育て中に孤立する状態をなくするため、家庭だけでなく社会がともに子どもを育てていくという意識を当たり前に思えるよう、仕事と子育ての両立に向けた講座等を定期的に開催していく必要があります。(男女共同参画センター)
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆子育てに関する様々な制度についての情報を窓口を設置し、市民の方々への情報提供を行います。(子育て支援課) ◆「子育て・子育てを地域(みんな)で支えるまち」づくりを推進する為、千葉県が「子育てサポート日本一」を目指し平成24年7月から実施されている「企業参画型子育て支援事業」への協賛事業者募集に関する周知を関係機関との連携により事業者に行うとともに、市内事業所の協賛事業所へのさらなる応募につなげていきます。(商工振興課) ◆男女がともに仕事と家庭の両立ができるよう引き続き周知してまいります。(男女共同参画センター)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	2 仕事と子育ての両立の推進	担当課	男女共同参画センター・商工振興課	
施策内容	1 企業における子育て支援対策の促進	事業対象者	市内事業者・勤労者・市民	
事業名	57 企業における男女平等の啓発			
		平成25年度事業費決算見込み額	0円	
事業の概要	◆国・県・関係機関等が発行するパンフレット等を事業主に配布し、企業における男女平等に関する情報の提供を行います。			
平成25年度事業目標	◆男女が仕事と家庭の両立を図ることができるように、事業者として配慮することの重要性についてさらに認識してもらうことを目指し、情報の提供を行います。(男女共同参画センター) ◆企業・勤労者に対する男女平等の啓発を推進する為、男女共同参画センターとの連携によりパンフレット等を配布し、情報の提供を行います。(商工振興課) ◆子育てに関する制度を広く事業者へ周知するために、「アクティブならしの」の積極的な活用をする。(商工振興課) ◆子育てに関する制度の周知において、事業者に対し直接的な働きかけを行うために、商工会議所との連携を継続し、体制を強化する。(商工振興課)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度の周知として、①市内商工会議所の会員に配布している所報「商工習志野」に同封し、商工会議所を通じ市内事業所2100か所に対して同表彰制度募集チラシを配布、②チラシの庁舎内設置と市の運営する無料求人情報サイト「アクティブならしの」による掲載を実施しました。(商工振興課・男女共同参画センター) ◆ワーク・ライフ・バランス推進事業 千葉県両立支援アドバイザー派遣の案内について所報「商工習志野」7月号のお知らせ・募集欄に記事を掲載しました。(男女共同参画センター) ◆再就職を考えている子育て中のお母さんを対象に「求職者と企業との交流会」を実施しました。(商工振興課) 【求職者と企業との交流会の概要】 開催日時:平成25年11月20日(水)13時から16時 開催場所:サンロード津田沼6階大会議室 参加企業:5社 参加者:10名 内容:①参加企業の紹介 ②仕事を知らう! 企業を囲んで交流タイム ③疑問を解消! 気になる企業に質問タイム ・厚生労働省が定めた「第28回男女雇用機会均等月間」について市ホームページおよび市の運営する無料求人情報サイト「アクティブならしの」に掲載し、ポスターを市庁舎に掲示して周知を図りました。(商工振興課)				
評価指標	◆事業所に対する千葉県男女共同参画推進事業所表彰制度の周知回数	平成24年度数値	◆1回	平成25年度数値	◆1回

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆習志野市商店会連合会や習志野商工会議所等の庁外関係機関との連携を図ることと、「子育てに関する制度の活用」の推進につながりました。(商工振興課) ◆所報「商工習志野」に千葉県男女共同参画推進事業所表彰のチラシを折り込みしたり、ワーク・ライフ・バランス推進事業の両立支援アドバイザー派遣の案内記事を掲載することにより、直接事業所に対し男女共同参画社会の必要性・重要性を啓発することができました。(男女共同参画センター)	◆男女共同参画啓発講座等において地域とのつながりを重視する意見が多く見受けられます。子育て中に孤立する状態をなくすため、家庭だけでなく社会がともに子どもを育てていくという意識を当たり前にするよう、仕事と子育ての両立に向けた講座等を定期的に開催していく必要があります。(男女共同参画センター)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成26年度事業目標	◆男女が仕事と家庭の両立を図ることができるように、事業者として配慮することの重要性についてさらに認識してもらうことを目指し、情報の提供を行います。(男女共同参画センター) ◆再就職を考えている子育て中のお母さんを対象に「再就職支援セミナー」を実施します。(商工振興課) ◆企業・勤労者に対する男女平等の啓発を推進する為、男女共同参画センターとの連携によりパンフレット等を配布し、情報の提供を行います。(商工振興課) ◆子育てに関する制度を広く事業者へ周知するために、「アクティブならしの」の積極的な活用をします。(商工振興課) ◆子育てに関する制度の周知において、事業者に対し直接的な働きかけを行うために、商工会議所との連携を継続し、体制を強化します。(商工振興課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	2 仕事と子育ての両立の推進	担当課	健康支援課	
施策内容	2 男性の子育て参加の促進	事業対象者	妊婦とその夫(パートナー)	
事業名	58 男女共同参画の子育て意識啓発			
		平成25年度事業費決算見込み額	205,700円	
事業の概要	◆「ママ・パパになるための学級」、「明日の親のための学級」で、夫婦の役割を考えるきっかけとなる内容をプログラムに盛り込み、啓発します。 ◆妊婦、出産、育児のための情報を盛り込んだパンフレットの配布等、父親も育児を担えるような支援を行います。			
平成25年度事業目標	◆引き続きより多くの夫婦が「ママ・パパになるための学級」に参加し、夫婦の役割を考え、育児は夫婦共同という認識が持てるよう努めます。(健康支援課) ◆平成25年度は「明日の親のための学級」の実施予定はありません。(公民館)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆妊娠届出者・転入時に面接した妊婦に対し、「ママ・パパになるための学級」の案内を配布しました。 ◆「ママ・パパになるための学級」の2課に夫(パートナー)の参加を促し、妊婦シミュレーターを着用して妊婦体験を行いました。また、育児は夫婦共同である、という意識が持てるよう講義とグループワークを行いました。 (年間12コース、うち2課が土曜日のコースを8回/年、平日のコースを4回/年実施)			
評価指標	◆妊娠届出者・転入時面接した妊婦への配布率 ◆ママ・パパになるための学級の妊婦・夫受講率	平成24年度数値	◆100% ◆妊婦51.5%・夫40.9%	平成25年度数値	◆100%(見込み) ◆妊婦54.7%・夫44.0%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆ママ・パパになるための学級に参加したママからは「パパが参加して非常に勉強になった。パパも参加した事でイクメンになった。」等の感想を頂きました。また夫(パートナー)の育児・家事参加の多い項目は「おむつ替え」「お風呂」が多い結果でした。夫(パートナー)からの感想は「子育てを楽しんで妻をしっかりフォローしてゆきたい。仕事と家庭のバランスをとってゆきたい。毎日の会話を大切にしていきたい。」という感想を頂きました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆土曜日2課の参加者が多いことから、職員数を増加して安全に教室運営ができるよう対応しました。 ◆4課に参加した先輩ママのアンケートより、夫(パートナー)の育児・家事参加は「よくやっている」と回答した人が65.1%、「時々やってくれる」を合わせると95.5%となっています。	◆夫婦で参加しやすい日程を今後も考慮していく必要があります。2課の土曜日開催を多く望む声もありますが、平日しかお休みを取れない方もいるので、26年度も現状の回数で実施予定です。 ◆受講者数が増える傾向にあり、安全に教室が運営できるよう、更なる会場レイアウトの工夫・講義内容の工夫が必要となっています。 ◆引き続き夫(パートナー)がどのような子育て支援をしているか、評価していく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆より多くの夫婦が「ママ・パパになるための学級」に参加し、夫婦の役割を考え、育児は夫婦共同という認識が持てるよう努めます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策 (中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課・こども保育課・健康支援課・指導課・学校教育課・青少年課・青少年センター・幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校	
施策内容	1 虐待防止対策の充実	事業対象者	市民	
事業名	59 虐待の予防、早期発見と対策、防止	平成25年度事業費決算見込み額	2,722,500円	
事業の概要	◆ならしのこどもを守る地域ネットワーク(代表者会議、実務者会議、個別支援会議)、研修等を開催し、児童虐待防止に努めます。 ◆養育支援家庭訪問事業や子育て支援相談室での相談・支援を通じ、児童の虐待防止対策に努めます。 ◆健康相談や健康診査、訪問指導等の機会に児童虐待の予防及び早期発見に努め、関係機関と連携しながら継続的な支援を行います。 ◆民生委員・児童委員、母子保健推進員による予防・防止活動も実施します。			
平成25年度 事業目標	◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等が情報交換や課題を共有する場として代表者会議、実務者会議、個別支援会議を開催し、さらなる内容の充実と連携強化を目指します。また引き続き母子保健との連携に努め、養育支援家庭訪問事業の実施により、妊娠出産期を含めた早期からの虐待防止に努めます。(子育て支援課) ◆妊娠期からのハイリスク者の把握と個別支援、および「こんにちは赤ちゃん事業」、健康相談・健康診査を利用しない者の把握を行い、子育て支援課(養育支援家庭訪問事業)と連携して虐待の未然防止に努めます。(健康支援課) ◆引き続き児童虐待防止の啓発や児童虐待の未然防止等を関係機関と連携して行い、各学校へ定期的な周知を図りたいと考えております。(指導課) ◆児童生徒の健康相談や健康診断時等の機会に、児童虐待の予防早期発見に努め、関係機関と連携しながら継続的な実施をします。(学校教育課) ◆放課後児童指導員研修において、児童虐待に関する研修を実施する(青少年課) ◆学校警察連絡協議会等で虐待についての情報の共有を図り、対応についても関連機関と連携を取りながら積極的に取り組みます。(青少年センター) 教育相談講座への参加や研修会に参加し、非行問題や補導相談などに対応できる職員の資質の向上を図ります。(青少年センター)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆(子育て支援課) 1. 子育て支援相談の実施 ・0歳～18歳未満の子どもを持つ保護者及び児童等からの子どもに関するあらゆる相談に対し、電話、面接、訪問により、問題解決に向けた助言や情報提供を行いました。また、児童虐待の通報・相談窓口として千葉県中央児童相談所と連携し、問題解決に向けた取り組みを行いました。相談件数:4771件 実人数:493人(うち児童虐待相談件数:2403件 実人数:115人) 2. ならしのこどもを守る地域ネットワーク(要保護児童対策地域協議会)の運営 児童福祉法第25条の2に基づき要保護児童対策地域協議会の事務局として、代表者会議(年2回)、実務者会議(年6回)、個別支援会議(17回 H26.1月末)や研修会の開催など、虐待防止に向けた庁内及び地域におけるネットワーク構築に努めました。 3. 養育支援家庭訪問事業の実施 養育困難な妊娠中から1歳未満の子のいる家庭に対し、家庭訪問などにより育児についての技術的支援を行った(処理件数:4件 延べ22回)。また、臨床心理士による勉強会を実施し(年6回)、相談技術の向上に努めました。 ◆(指導課・小学校・中学校) 千葉県庁健康福祉部の職員を講師に招聘し、教育相談の手法や最先端の情報を教育相談員、生徒指導主任、長期欠席児童生徒対策主任とともに共有しました。また、千葉県の児童福祉の実際と千葉県児童自立支援施設の実態について、説明を受けました。 ◆(学校教育課) 児童生徒の健康相談や健康診断時等の機会に、児童虐待の予防発見に努め、関係機関と連携をしながら継続的に実施をしました。 ◆(青少年課) 放課後児童指導員研修において、児童虐待に関する研修を1回実施しました。 ◆(青少年センター) 学校警察連絡協議会において、警察と市内小学校・中学校・高等学校が情報交換を年3回行いました。 ◆(健康支援課) ・母子健康手帳の交付時をスタートに、訪問指導・健康相談・健康診査等の機会に、不適切な養育環境につながるリスクのある対象者を把握し、必要に応じて、地区担当保健師がこども部等の関係機関との連携を図りながら、個別に支援を実施しました。 ・「こんにちは赤ちゃん事業」として、生後4か月までの乳児がいる家庭を訪問し、支援が必要な家庭を把握し、支援につなげました。				
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率 ◆代表者会議・個別支援会議開催回数 ◆虐待相談件数	平成24年度数値	◆95.1% ◆代表者会議2回、個別支援会議31回 ◆3,817件	平成25年度数値	◆95.8%(26年1月末) ◆代表者会議2回、個別支援会議17回(26年1月末) ◆2,403件(26年1月末)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容
		◆児童生徒の健康相談や健康診断時等において、虐待に関する情報はありません。(学校教育課) ◆新生児訪問においては、「初めての子育てで不安なことが多かったが、相談できてよかった。」等の意見があります。生後2か月時の母子保健推進員の訪問では、「実家(県外)に里帰りして出産し、帰宅後、自分だけで日中子どもを見る生活を始め、ちょっとした不安が出てきていたところに母子保健推進員の訪問があり相談できて安心した。」等の言葉が聞かれています。(健康支援課)

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆母子保健、保育所、幼稚園、小中学校など、子どもを見守る関係機関と連携し、虐待防止、早期発見に努めました。また、千葉県中央児童相談所と綿密に連携し、同行訪問や、情報共有、適切な対応に努めました。(子育て支援課) ◆県の健康福祉部と連携が取れました。(指導課・小学校・中学校) ◆放課後児童指導員研修において、児童虐待に関する研修を実施することにより、児童虐待の早期発見と防止に努めました。(青少年課) ◆学校警察連絡協議会において、情報交換を行い、市内小学校・中学校・高等学校で共通理解が図られ、関係機関及び各学校と連携が取れました。(青少年センター) ◆母子健康手帳交付時に看護職が妊娠中から乳幼児期までの流れについて説明し、地区保健師を紹介し、いつでも相談できる体制があることを周知しています。初産となる妊婦についてはママ、パパになるための学級の参加を勧めています。「こんにちは赤ちゃん事業」は全戸訪問を目指し、なんらかの理由で訪問できなかった家庭については状況を把握して必要な対応をしています。その他、健康相談・健康診査の未受診者に対しても積極的に勧奨し、必要時個別に支援しています。継続支援が必要な人へは必要時間関係機関と連携して個別支援を実施しています。(健康支援課)	◆自らがSOSを発信しない家庭に対し、こどもに関わる関係機関は常にアンテナを高くし、家庭を見守る必要があります。また、暴力のない、子どもが安心して過ごせる社会に向け、啓発活動を見守る必要があります。(子育て支援課) ◆関係機関、担当課などのケース会議や事例研究が必要であると考えます。(指導課・小学校・中学校) ◆児童虐待に関する研修を実施することにより、虐待の防止に努めます。(青少年課) ◆住民登録のみで居住の実態がないケースの把握は困難な場合もあり、今後関係機関と連携しながら早期把握に努める必要があります。また、新たなマンション、宅地等の建設で転入者、出生数の増加も見込まれています。(健康支援課)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的ににご記入ください。

平成26年度 事業目標	◆地域における子育て支援の推進を目指し、子育て支援に関わっている団体等が情報交換や課題を共有する場として代表者会議、実務者会議、個別支援会議を開催し、さらなる内容の充実と連携強化を目指します。また引き続き母子保健との連携に努め、養育支援家庭訪問事業の実施により、妊娠出産期を含めた早期からの虐待防止に努めます。(子育て支援課) ◆教育相談の充実を目指すため、研修による関係者の資質向上を目指します。(指導課・小学校・中学校) ◆児童生徒の健康相談や健康診断時等の機会に児童虐待の予防・早期発見に努め関係機関と連携しながら継続的な実施をします。(学校教育課) ◆放課後児童指導員研修において、児童虐待に関する研修を実施します。(青少年課) ◆学校警察連絡協議会等で虐待についての情報の共有を図り、対応についても関連機関と連携を取りながら積極的に取り組みます。(青少年センター) ◆研修会に参加し、補導相談などに対応できる職員の資質の向上を図ります。(青少年センター) ◆妊娠期からのハイリスク者の把握と継続した個別支援、「こんにちは赤ちゃん事業」の実施、健康相談・健康診査未受診者の把握等を徹底し、関係機関と連携して虐待の未然防止に努めます。(健康支援課)
----------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	ひとり親家庭の父母等
事業名	60 児童扶養手当の支給		
		平成25年度事業費決算見込み額	360,969,570円
事業の概要	◆「児童扶養手当法」に基づき、父親と生計を同じくしていない18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を養育している母親又は養育者に、手当を支給します。また、平成22年8月より、母親と生計を同じくしていない18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を養育している父親に、手当を支給します。		
平成25年度事業目標	◆新規申請の面談、認定請求書や現況届の提出の際に、就労をしていない場合や収入が少ない場合については、生計維持の方法の確認をおこない、必要に応じ、関係機関の紹介や支援制度の案内をおこないます。また、継続的な関わりが必要である場合は、ひとり親家庭自立支援相談員と協力して、継続的な就労支援をおこないます。就業または求職活動をしていないことによる一部支給停止者を3名以内に抑えることを目標として、ひとり親家庭自立支援員と協力しながら、手当の支給に併せて就労指導をおこないます。		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆支給資格認定申請書の受理及び処理、現況届の受理及び処理、資格喪失届の受理及び処理、転入・転出届の受理及び処理、5年等経過による一部支給停止適用除外事由届の受理及び処理、手当の支払い、返還金債権の管理等を行いました。また、現況届提出時に就労していなかった受給者や収入が少なかった受給者を対象に就労相談会を実施しました。				
評価指標	◆一部支給停止者数	平成24年度数値	◆1人	平成25年度数値	◆0人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆新規申請時や現況届の提出時に就労をしていない場合や収入が少ない場合について、生計維持の方法の確認を行いながら、マザーズハローワーク等の関係機関の紹介やひとり親家庭自立支援教育訓練給付金やひとり親家庭高等技能訓練促進費等の支援制度の案内をしました。また、関係機関の紹介や支援制度の案内をスムーズに行えるよう、情報収集に努め、密な連携を図りました。 ◆5年等経過による一部支給停止適用除外事由届の提出時に就労していない受給者については、ひとり親家庭自立支援員と協力して就労指導を行い、マザーズハローワーク等の関係機関につなぎ、求職活動を行ったことを確認しました。	◆現体制ではマザーズハローワーク等の関係機関につないだ受給者がどれくらい就業できたか確認が取れない。関係機関との情報共有方法など、連携の体制を見直す必要がある。また、「子どもの貧困対策の推進に関する法律」施行に伴い、ひとり親家庭の学習支援についても検討する必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆新規申請時及び現況届の提出時に、就労をしていない場合や収入が少ない場合については、生計維持の方法の確認をおこない、必要に応じ、関係機関の紹介や支援制度の案内をおこないます。また、継続的な関わりが必要である場合は、ひとり親家庭自立支援相談員と協力して、継続的な就労支援をおこないます。 ◆就業または求職活動をしていないことによる一部支給停止者を3名以内に抑えることを目標として、ひとり親家庭自立支援員と協力しながら、手当の支給に併せて就労指導をおこないます。 ◆また、ひとり親家庭の児童への学習支援について、近隣市の情報を集め、実施に向け検討します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課	
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	ひとり親家庭の父母等及びその児童	
事業名	61 ひとり親家庭等医療費等の助成			
		平成25年度事業費決算見込み額	13,883,904円	
事業の概要	◆「習志野市ひとり親家庭等の医療費等の助成に関する条例」に基づき、18歳に達する日以後の最初の3月31日までの児童を養育するひとり親家庭の方等が、医療保険により受診した場合の医療費の一部を助成します。			
平成25年度 事業目標	◆引き続き、広報・ホームページ・しおり等への掲載、児童扶養手当等の申請時に制度の説明、児童扶養手当現況届の提出のお知らせに際し、制度の案内を同封する他に、窓口においても児童扶養手当現況届の提出時や各種届出等の機会を活用し、積極的に制度について案内を行うことで、さらなる制度の周知を図り、助成申請件数や助成数の向上を図ります。また、今後も認定申請・助成申請等の機会を利用し、困っていることがあれば相談につなげたいです。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆保護者の経済的負担を軽減するため、保護者及び児童が医療機関等にかかった際の医療費の一部を助成いたしました。				
評価指標	◆助成者数(延べ人数)	平成24年度数値	◆862人	平成25年度数値	◆869人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆ひとり親家庭の父母等への制度の周知を図り、また認定申請・助成申請等の機会を利用し、就労等困っていることを相談につなげるなど、ひとり親家庭等の福祉の増進に寄与しました。	◆児童扶養手当受給者に比べ、年金等受給者は利用できる制度の制約もあるが、ひとり親家庭等を対象とした諸制度について、ひとり親家庭等医療費等助成制度のみの利用が多いので、今後も認定申請や資格更新・助成申請の機会を利用し、医療費助成以外の制度やマザーズハローワーク等の就労支援・相談等につなげる必要があります。また児童扶養手当の受給者の中にもひとり親家庭等医療費等助成制度を知らない受給者もいるため、現在児童扶養手当を受給中の方へも、積極的な制度の案内が必要です。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆引き続き、広報・ホームページ・しおり等への掲載、児童扶養手当等の申請時に制度の説明、児童扶養手当現況届の提出のお知らせに際し、制度の案内を同封する他に、窓口においても児童扶養手当現況届の提出時や各種届出等の機会を活用し、積極的に制度について案内を行うことで、さらなる制度の周知を図り、助成申請件数や助成数の向上を図ります。また、今後も認定申請・助成申請等の機会を利用し、困っていることがあれば相談につなげていきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課	
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	母子家庭の母及び寡婦	
事業名	62 母子寡婦福祉資金の貸付			
		平成25年度事業費決算見込み額		0円
事業の概要	◆「母子及び寡婦福祉法」に基づき、母子家庭、寡婦を対象に事業資金等の福祉資金を貸付します。			
平成25年度 事業目標	◆千葉県でおこなっている母子寡婦福祉資金を母子家庭の自立と結びつく貸付となるように、相談を受付し、申請を受理する際に引き続き就労支援や返済計画の確認をおこなうとともに、貸付開始後も千葉県と連携したサポートを図っていきます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆母子家庭の母及び寡婦より、母子寡婦福祉資金の貸付の相談を受付し、申請を受理しました。			
評価指標	◆貸付相談件数 ◆貸付件数	平成24年度数値	◆115件 ◆16件	平成25年度数値 ◆80件 ◆13件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆貸付の相談の受付時や申請受理する際に、千葉県と連携を図りながら、母子家庭の自立に結びつくよう就労支援や返済計画の確認を行いました。 また、児童扶養手当やひとり親家庭等医療費等助成などの申請時にしおり等により案内し、周知を図りました。 また、母子寡婦福祉資金の貸付が難しい場合には、他の制度を案内するなど、一人ひとりの状況に合わせたサポートを行いました。	◆母子寡婦福祉資金の申請から支給までは2～3か月程度要するため、相談があっても資金が必要な時期に間に合わず、貸付ができないケースがあるため、早めに相談に来てもらえるよう、案内の方法を見直す必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆千葉県でこなっている母子寡婦福祉資金を母子家庭の自立と結びつく貸付となるように、相談を受付し、申請を受理する際に引き続き就労支援や返済計画の確認をおこなうとともに、貸付開始後も千葉県と連携したサポートを図っていきます。 また、他制度利用者へ窓口等で案内をし、周知を図っています。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課	
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	ひとり親家庭の父母等	
事業名	63 ひとり親家庭自立支援員による相談体制の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	0円	
事業の概要	◆母子家庭や父子家庭等のひとり親家庭を対象に、生活一般、就業、児童の養育等についての相談に応じ、自立に向けて必要な支援を行います。			
平成25年度事業目標	◆ひとり親家庭の生活の安定とその向上及び福祉の増進のために、ひとり親家庭の生活一般、就業、児童の養育等についての相談に応じ、自立に向けた指導・助言・支援を行います。継続した支援につないでいくために、関連する支援制度の情報収集により一層努め、関係機関と連携した対応を図ります。相談後、経過を確認するケースのあり方を検討し、必要に応じて継続的な支援を行います。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆母子及び寡婦福祉法、生活一般についての相談指導、職業能力向上及び求職活動等の就業についての相談指導、児童の養育等、その他家庭児童福祉の向上を図るための必要な相談指導、その他ひとり親家庭及び寡婦の自立に必要な支援を行いました。			
評価指標	◆相談件数 ◆就労相談件数	平成24年度数値	◆914件 ◆106件	平成25年度数値 ◆823件 ◆105件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆面談、電話等にて、ひとり親家庭の父母等の生活や児童の養育に関する相談に応じ、助言及び必要な支援を行いました。就労支援等に関する支援制度、離婚等に関する手続きや支援制度等の情報収集に努めるとともに、マザーズハローワーク等関係機関と連携を図り、ひとり親家庭の自立に向けた相談を行いました。また、相談受付後に係内の情報共有や継続支援のためのケース検討を行いました。	◆継続支援が必要なケースは、経済的困窮、就労、障害や病気、DV等複数の要因を抱えているケースが多いため、家庭児童相談室や保健師、担当ケースワーカー等との連携を図り対応していくことが求められます。また、本人からの相談以外に状況を把握することができないケースへの対応について、継続して支援できる体制づくりが必要です。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆ひとり親家庭の生活の安定とその向上及び福祉の増進のために、ひとり親家庭の生活一般、就業、児童の養育等についての相談に応じ、自立に向けた指導・助言及び支援を行います。関連する支援制度の情報収集や関係機関との連携に努め、継続した支援を行います。また、個々のケースの検討を行い、より良い継続支援を目指します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	子育て支援課	
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	ひとり親家庭の父母	
事業名	64 ひとり親家庭自立支援給付金の支給			
		平成25年度事業費決算見込み額	6,145,000円	
事業の概要	◆ひとり親の経済的な自立を支援するため、就労に必要な知識や技能の習得等に係る教育訓練講座や高等技能訓練等の経費(受講料)を助成します。			
平成25年度 事業目標	◆高等技能訓練促進費について、平成25年度から恒久的に全期間(上限2年)支給対象となり、ひとり親家庭の父母がより資格取得しやすくなったため、現況届等を利用して制度を周知します。 ◆現況届提出時には、学業と子育ての両立の状況を確認し、資格取得等を安心して行えるように支援します。自立支援教育訓練給付金の通信講座受講者については、定期的に進捗状況を確認します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆児童扶養手当現況届等を利用し、就労に向けた資格取得についての相談に応じました。また、自立支援教育訓練給付金及び高等技能訓練促進費の制度を案内し、必要に応じてマザーズハローワークやハローワークの紹介、千葉県主催の託児付職業訓練講座の案内などを行いました。 ◆高等技能訓練促進費等支給事業において、2年以上のカリキュラムを修業し、対象資格の取得が見込まれる申請者に対し、「訓練促進費」を支給、また修了した申請者に対しては「一時金」を支給しました。また、現況届や請求書、成績証明書などの提出時に面接を行い、修業状況や生活面等確認を行いました。				
評価指標	◆申請件数	平成24年度数値	◆6件	平成25年度数値	◆6件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆資格取得を目指すひとり親家庭の生活の負担軽減及び自立支援が図られました。 平成25年度(見込) ・教育訓練給付金0件 ・高等技能訓練促進費6件	◆就業していない児童扶養手当受給者に対し、マザーズハローワーク等への案内と併せて資格取得についても案内していく必要があります。相談があっても、実際申請につながらない場合もあるため、継続した対応を検討する必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆現況届提出時などに学業と子育ての両立の状況を確認し、資格取得を安心して行うことができるよう支援します。また、現在就業していない児童扶養手当受給者に対し、就労支援を行うとともに、資格取得等に関する案内を行います。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	学校教育課	
施策内容	2 ひとり親家庭への支援	事業対象者	児童・生徒	
事業名	65 就学援助費の支給			
		平成25年度事業費決算見込み額	62,286,631円	
事業の概要	◆経済的理由によって就学することが困難な児童及び生徒に対し、就学援助費を支給します。			
平成25年度 事業目標	◆認定された者について100パーセント支給します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆児童生徒の保護者から提出された申請を受け、当該手当支給認定に必要な書類を確認し、認定された者に学用品費・給食費等の給付を行いました。 【実績】支給延人数 準要保護 798人、要保護 82人(H25.2.1現在)				
評価指標	◆該当児童・生徒への実施率	平成24年度数値	◆100%	平成25年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆認定された者については定められた補助内容が100パーセント支給されています。		
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆認定された者について100パーセント支給します。
------------	---------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画（後期計画）実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	ひまわり発達相談センター、指導課、小学校、中学校、子育て支援課、こども保育課、幼稚園、保育所、こども園、他関係各課	
施策内容	3 健やかな発育・発達を支える支援体制の充実	事業対象者	個別に支援を要する子どもとその保護者	
事業名	66 個別の状況に応じた継続的な発達支援の充実	平成25年度事業費決算見込み額	5,871,000円	
事業の概要	◆成長・発達に不安又は課題がある児童の健やかな成長に資するため、総合的な相談に応じるとともに、適切な指導及び支援を行います。 ◆障害の有無にかかわらず、発達に心配がある子どもに対しては、保護者の意向を踏まえ、個別支援計画を作成し、個別の状況に応じた指導・訓練の実施、評価、計画の見直しを行って、子どもの成長、発達を支えるしくみをつくります。また、子どもの成長・発達の経過や支援方針等を、確実に引継ぐ体制を整備します。 ◆注意欠陥多動性障害(ADHD)・学習障害(LD)・アスペルガー症候群等の発達障がいのある児童の早期発見、支援の強化を図ります。 ◆発達支援に関する研修を充実、強化し、子どもの支援にかかわる職員の資質向上を図ります。			
平成25年度事業目標	◆発達に関する不安や悩みを受けとめ、気軽に相談できる体制の整備 就学期の個々の相談において、保護者同意を基に学校訪問及び担任をはじめ関係者との協議を行い、相談・指導体制を強化します。支援の方向性について、保護者に十分に納得していただける具体的な内容にするために、支援方針会議での協議を充実させるとともに理解しやすい説明の方法についても検討します。 ◆継続的な支援システムの構築 集団生活における支援の充実のために、巡回相談で幼稚園等からの依頼に応じるとともに個別支援計画を作成したお子さんについての支援にも積極的に参画します。また、「乳幼児個別支援計画」を学校教育における「個別の教育支援計画」につなぐ継続的な支援のシステムの整備を行い、相互理解・連携を深めていきます。 ◆発達支援に携わる職員の資質向上及び調査研究の促進 幼稚園等の実態とニーズを把握し、集団保育で活用できる研修のあり方について検証し内容の充実を図ります。 ◆家庭児童相談において、関係機関と連携し、個々の子どもにあった適切な情報提供や支援を行います。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に 実施した事業 内容	◆ひまわり発達相談センター ・就学期の相談では、個々のニーズに応じて検査等を実施して状態を把握した後、保護者の同意を基に学校を訪問して担任をはじめ関係者とともに、子どもへの対応方法等について協議を行いました。また、総合教育センター、教育委員会との定期的な連携会議を行いました。 ・相談来所者の状況に応じた支援の方向性を検討するため、初回面接担当者による会議並びに支援方針を決定する会議を実施して、多様な専門職の視点を反映させるしくみを作りました。また、個々の相談者に対する支援の方向性については、文書で保護者に説明を行いました。 ・総合教育センター・教育委員会と共同で、「乳幼児個別支援計画」「個別の教育支援計画」に関する市の理念及びその推進に関するパンフレットを作成し、市内保育所・幼稚園・こども園及び小中学校に配布して周知を図りました。 ・「ひまわり発達相談センター」における巡回相談事業実施要綱」を制定して、今後の施策推進体制をより強固なものにし、昨年度に引き続き巡回相談において、乳幼児個別支援計画を作成したお子さんの状況把握とその支援方法等に関する協議を行いました。 ・発達支援に携わる職員の資質向上及び調査研究の促進のため、発達支援に関する研修を企画、開催しました。保育所の時間外保育士を対象に、発達支援に関する研修を当該保育所で実施しました。 ◆就学前に個別支援計画の引き継ぎを実施した児童について、幼稚園・保育所等の就学前施設の担任と入学後の学校生活の様子について話し合う機会を持ち、学校での支援方法について参考になりました。（指導課、小学校） ◆発達相談支援センターや総合教育センターをはじめとする関係機関と連携し、家庭のニーズに応じた支援を行いました。（子育て支援課） ◆こども保育課・幼稚園・保育所・こども園 ・個別に支援を要する児童の保護者とともに個別支援計画を作成し、その子に応じた支援を行いました。 ・ひまわり発達相談センターの専門職員による巡回相談で、子どもの困り感や発達、具体的な支援の仕方の助言を受け、個別支援計画立案・支援・指導・評価に活用しました。 ・施設内で支援の振り返りを行い、より具体的な支援について共通理解を図りました。 ・個別支援計画を作成した児童（1年生）の小学校訪問を関係機関と共に実施し、計画の振り返りと連携体制の充実を図りました。 ・ひまわり発達相談センターや小学校と連携を図り、個別支援計画をもとに具体的に引継ぎを行いました。				
	評価指標	◆個別支援計画作成件数	平成24年度数値	◆116件（1月末現在）	平成25年度数値

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆ひまわり発達相談センター 利用者満足度調査の結果、当センターが提供するサービス内容に対する満足度が最も高かったのは「相談者の話をよく聞き、しっかりと受け止める姿勢があること」、「整理整頓、清掃が行き届いており、清潔で気持ちのよい空間であること」でした。一方、最も低かったのは「当センターに通う親同士のコミュニケーションと学習の機会があること、次いで「子どもの発達を支援したり、地域社会の理解を高める市民活動や事業、制度、社会システム等に関する情報提供があること」でした（就学前児童の調査結果より）。その他、「土、日に利用したい」「就学後も指導してもらいたい」等の貴重なご意見も多数いただきました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆ひまわり発達相談支援センター ・就学期の子どもからの相談後、小学校を訪問し担任との協議（検査結果及び対応等）を実施したことに、学校においても理解が得られ、保護者の不安解消に繋がりました。また、決定した支援の方向性を保護者に明文化して説明することにより、指導について共通理解を図ることができました。 ・総合教育センター、教育委員会との連携会議において就学期の相談支援体制や両個別支援計画の作成及び運用状況の確認等を行うとともに、今後の課題について検討しました。 ・個別支援計画を通した個々に応じた支援及び関係機関との連携を図るきめ細かい体制が整いました。また、共同で作成したパンフレットを配布し（22,000部）周知したことで、個別支援計画の作成を希望される方が少しずつ増えてきました。 ・発達支援基礎研修（全5回）では、「ソーシャルインクルージョン」をテーマに実施し、公開講座では一般市民と共に学ぶことができました。発達支援理論研修（全4回）では、幼稚園・保育所等の職員を対象に少人数によるグループワークを行い、現場での実践に活かしています。また、時間外保育士を対象とした研修の実施により、保育所での発達支援の強化に繋がっています。 ◆個別支援計画の引き継いだことにより、入学直後の保護者との関係づくりに生かすことができました。また、就学前からの引き継ぎと就学後の話し合いにより、子どものプラス面が見え、子どもの可能性の発見、理解につながりました。（指導課） ◆子どもの発達に関する悩みについて、家庭児童相談において、面接、訪問などにより対応を行いました。また、関係機関と連携し、支援が必要な子どもについて、保護者に対して発達相談支援センターや総合教育センターの利用についての情報提供を行ったほか、安心して利用につながる支援を行いました。（子育て支援課） ◆こども保育課・幼稚園・保育所・こども園 ・ひまわり発達相談センターや小学校など関係機関と連携を図り、個別支援が必要な乳幼児の情報の共有を図ることができました。さらに、個別支援計画を長期的な視点で計画策定する意識をもって、立案するようになりました。施設側の職員と小学校側の担任が直接引き継ぎを行い、支援のあり方の情報交換をすることができました。	◆ひまわり発達相談センター ・就学期の子どもからの相談を通して、小学校訪問及び協議を希望される方が増加傾向にありますので、学校、総合教育センター、教育委員会との連携を深め、現場でのよりよい支援につなげる体制の検討が必要です。 ・就学期の相談に応じるに当たり、学校現場や教育事情等についての現状を把握、理解し、現場での支援体制の強化を支援するために情報の交換及び共有に努める必要があります。 ・支援の方向性をより分かりやすく保護者に伝えるための手段について今後も検討します。 ・巡回相談では、各園や保護者等からの依頼に基づくお子さんの観察・協議が中心となるため、乳幼児個別支援計画を作成しているお子さんの状況把握とその協議の進め方については検討します。 ・「ソーシャルインクルージョン」の理念に対する関心は、まだ低い状況がありますので、引き続き周知及び啓発のための研修等が必要です。幼稚園・保育所等の中核的な立場である職員を対象に発達支援理論研修を実施していましたが、受講対象者が少なくなってきたため、対象者の検討が必要です。 ◆担当課が多岐にわたるので、綿密な計画と打合せが必要であると考えます。（指導課） ◆保護者の不安に寄り添い、きめ細やかな対応に努めます。また、個々の子どもにあった支援機関につなげていけるように、関係機関との連携を一層深めます。発達障がいについての理解を研修等により深めます。（子育て支援課） ◆小学校へ引き継ぐ際の方法・内容を検討し、施設側が作成した個別支援計画を小学校に確実に引き継げるよう関係機関との連携を強化する必要があります。（こども保育課・幼稚園・保育所・こども園）	
平成25年度の事業達成度（A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止）		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	（ひまわり発達相談センター） ◆就学期の子どもに対する相談支援の充実及び障害児相談支援事業の実施をします。 ◆保育所、幼稚園等への巡回相談の充実を図り、保育所等における保護者へのアプローチを行います。 ◆乳幼児個別支援計画並びに個別の教育支援計画に基づく継続的な支援体制の充実を図り、個別支援計画の質的向上を目指します。 ◆保護者の学習機会や仲間づくりの促進を図ります。 ◆ひまわり発達相談センターの運営システムの基盤確立し、関係各課との連携を深め、個々の状況に応じた継続的な支援を目指します。 ◆今後も就学前の引き継ぎと就学後の話し合いを実施し、一人一人のニーズに応じた丁寧な指導・支援ができるようにしていきたいと考えております。（指導課・小学校・中学校） ◆家庭児童相談において、引き続き関係機関と連携し、個々の子どもにあった適切な情報提供や支援を行います。（子育て支援課） ◆個別支援計画の充実を図り、小学校へ引き継ぐ際の方法・内容を検討し、確実に引き継ぐ体制を強化します。（こども保育課・幼稚園・保育所・こども園）
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備

基本施策 (中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課・ひまわり発達相談センター
施策内容	3 健やかな発達・発達を支える支援体制の充実	事業対象者	本市に住所を有する成長又は発達に不安や課題がある18歳未満の児童とその保護者
事業名	67 発達支援サポートネットワークの充実	平成25年度事業費決算見込み額	233,600円
事業の概要	◆本市の発達支援施策を推進するため、幼稚園、保育所、こども園、学校、福祉関係施設等、関係各課による「発達支援サポートネットワーク会議」で議論を深め、新たに設置された市民との協働による「習志野市市民協働こども発達支援推進協議会」において、市民との協働による施策の立案やシステム整備を図ります。		
平成25年度 事業目標	◆ソーシャルインクルージョンの理念に基づく市の発達支援施策を推進するため、習志野市市民協働こども発達支援推進協議会を設置します。また、本協議会に発達支援サポートネットワーク会議及びひまわり発達相談センターの評価部会を設置します。(ひまわり発達相談センター) ・発達支援サポートネットワーク会議が策定した政策体系の素案について議論を深めます。 ◆発達支援サポートネットワーク会議において、習志野市市民協働こども発達支援推進協議会と連携を保ち、ソーシャルインクルージョンを推進するための具体的な目標を明確にして、発達支援施策に関する政策体系(ロジックモデル)を策定します。(ひまわり発達相談センター) ◆習志野市発達支援施策庁内連絡会において関係部署との連絡調整を行います。(障がい福祉課)		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆(ひまわり発達相談センター) ・習志野市市民協働こども発達支援推進協議会の要綱の制定を行い設置し、会議は計3回開催しました。また、発達支援施策の体系化(ロジックモデルの策定)について、ワークショップ形式による協議を実施しました。 ・ひまわり発達相談センターの評価は、2月17日に行う予定です。 ・発達支援サポートネットワーク会議の設置要領を改正し、障がい福祉課からひまわり発達相談センターに所管を移しました。6回開催しており、次回は3月20日に開催予定です。また、会議ではロジックモデルについての学習(講義)及びワークショップによるロジックモデルの策定を行いました。 ◆(障がい福祉課) ・習志野市発達支援施策検討会議設置要領の改正を行い、名称が習志野市発達支援施策庁内連絡会になりました。庁内連絡会は、発達支援施策の推進に関し、関係部署との連絡調整を図ることを目的として、本年度2回実施しました。				
評価指標		平成24年度数値	-	平成25年度数値	-

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆(ひまわり発達相談センター) ・習志野市市民協働こども発達支援推進協議会の設置により、市民と協働で政策体系を議論する発達支援施策の立案体制を整備しました。 ・習志野市市民協働こども発達支援推進協議会(市民委員7名)と発達支援サポートネットワーク会議委員が発達支援施策に関するロジックモデル策定のワークショップにおいて、めざすべき共生社会の実現に向け、共に議論し合い様々なアイデアを出し合いました。 ◆(障がい福祉課) ・庁内連絡会の開催により、発達支援施策の推進に関し、関係部署との連絡調整を図ることが出来ました。庁内連絡会では、発達支援サポートネットワーク会議(ワークショップ)の協議内容について関係部局の理解を得ることができました。	◆(ひまわり発達相談センター) ・市民の立場を重視した施策の立案には、その意見を十分にうかがい協議する必要があります。また、施策立案の議論には、庁内の合意形成が重要であるため相当数の会議が必要です。ただし、現実開催できる回数は限られるため、難しい際には会議後に書面にてご意見をうかがったり、事前の調整に努める必要があります。 ◆(障がい福祉課) - 報告内容が非常に多い為、委員の発言時間が限られてしまいました。庁内の連絡調整を図る役割を担っており、委員の出席が重要なため、会議開催に当たり調整が必要です。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度 事業目標	◆ロジックモデルの完成と推進により、発達支援施策及び本センター事業の推進を図ります。(ひまわり発達相談センター) ◆庁内連絡会の開催により、発達支援施策の推進に関し、関係部署との連絡調整を密にして、共通理解を図ります。(障がい福祉課)
----------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2 子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	あじさい療育支援センター	
施策内容	4 障害児施策の充実	事業対象者	主に知的障がい児、肢体不自由児とその保護者	
事業名	68 障害児施設での療育の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	40,272,000円	
事業の概要	◆知的障がい児、肢体不自由児等に対する生活動作訓練・運動機能訓練及び保護者への生活指導や療育方法の指導を行います。 又、計画相談・相談支援を行います。			
平成25年度 事業目標	◆「児童発達支援センター」として必須となる、「相談支援事業」を実施し、円滑な運営を行うと共に、平成27年4月の「保育所等訪問支援」実施について検討を行います。 ◆個別支援計画及び、個別指導計画に基づいて療育を実施し、評価、改善を図りながら指導の充実を図ります。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆PDCAサイクルに基づいた療育内容の見直し及び改善を図ると共に、公開療育を実施し関係機関への周知を行い、関係者からの意見や感想等を伺い、今後の療育展開の参考としました。 又、職員の知識・技術等スキル向上のため、研修の充実を行いました。 ◆相談支援事業を実施し、保護者の要望に応じた円滑なサービス利用ができるように対応しました。 新規に相談支援専門員の資格取得研修に参加しました。 ◆「児童発達支援センター」について、障がい福祉課及びひまわり発達相談センターと検討を行いました。				
評価指標	個別指導計画作成件数	平成24年度数値	◆53件	平成25年度数値	◆52件

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	相談支援事業が始まり、相談支援専門員とモニタリングを行うことで、センターでの生活がより詳細に把握できるようになりました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆公開療育を行い、各関係機関の方に当センター(児童発達支援)の現状を理解いただき、又療育方法について意見等を伺い、職員間で療育内容の見直し・改善を図り、今後のセンター運営に反映することができました。 ◆相談支援事業を実施し、新規利用の方については、円滑なサービス提供を行うことができました。	◆公開療育を実施し、当センターの現状を幅広い各関係機関の方に理解いただくために、医療型児童発達支援についても周知を図る必要があります。 ◆計画相談利用人数の増加及び多様な保護者ニーズに対応する為に、相談支援専門員の確保とスキル向上を図る必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆公開療育を実施すると共に、療育内容の見直し・改善を行い、療育の充実を図り、利用者へのサービスの向上に努めます。 ◆当センター利用時の早急な対応と、きめ細かな相談支援を実施します。 ◆児童発達支援センターの体制整備を行います。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備			
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課
施策内容	4 障がい児施策の充実	事業対象者	18歳未満の身体に障がいのある児童
事業名	69 補装具費の支給		
事業の概要	◆日常生活をサポートするために、補聴器、装具、車椅子等の補装具費を支給します。		
平成25年度事業目標	◆身体に障がいを抱える子どもの日常生活をサポートする本事業の目的に沿って、事業内容の周知に努め、継続して実施します。		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆日常生活をサポートするために、補聴器、装具、車椅子等の補装具費を支給しました。				
評価指標	◆給付率	平成24年度数値	◆100%	平成25年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆身体に障がいを抱える子どもの日常生活のサポートを行い、経済的負担の軽減が図られました。	◆引き続き事業内容の周知に努め、身体に障がいを抱える子どもの日常生活をサポートしていく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆身体に障がいを抱える子どもの日常生活をサポートする本事業の目的に沿って、事業内容の周知に努め、継続して実施します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課	
施策内容	4 障がい児施策の充実	事業対象者	18歳未満の障がい児	
事業名	70 障害福祉サービスの利用促進			
		平成25年度事業費決算見込み額		250,937,699円
事業の概要	◆地域生活を支援するため、家庭において障がい児を一時的に介護できない時に、ヘルパーの派遣、施設等での一時的預かり、デイサービス等、サービス環境の整備を促進します。			
平成25年度事業目標	◆多様化する利用者の要請に対して、行政機関として可能な限り応えられるよう、適切な支援、サービスの内容及び支給量の決定、提供に努めます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆児童福祉法及び障害者総合支援法に基づく福祉サービスについて、利用申請を受け、実態調査を行い、利用者の必要とする適切なサービスの種類及び支給量を決定し、サービスを提供しました。 ◆より充実したサービス提供を行うために、個々の生活状況の把握に努め、基盤整備を進めました。			
評価指標	◆日中一時支援事業利用回数(地活事業実利用人数) ◆児童デイサービス事業利用日数(法定事業(児童福祉法・総合支援法)実利用人数)	平成24年度数値	◆4,874回 ◆7,028日	平成25年度数値	◆5,493回(94人) ◆9,279日(児童福祉:151人、総合支援:19人)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆対象者の状態を把握し、必要なサービスにかかる支給決定及びサービス事業者との調整を図りながら、障がい児及びその過程の支援を行いました。	◆障がい福祉サービス等にかかる支給決定のみならず、就学先の選択に関する相談をはじめ、虐待や養育上の問題を抱えた事例への対応等、障がい児特有の相談が増加しています。障害児相談支援事業所による障害児計画相談支援をより一層推進するとともに、連携を深め、多様化する事例に適時、適切な対応をする必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆多様化する使用者の要請に対して、行政機関として可能な限り応えられるよう、適切な支援、サービスの内容及び支給量の決定、提供に努めます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課	
施策内容	4 障がい児施策の充実	事業対象者	精神または身体の障害等級表に該当する程度の障がいがある20歳未満の児童を過程で監護・養育している者	
事業名	71 特別児童扶養手当の支給			
		平成25年度事業費決算見込み額		
事業の概要	◆「特別児童扶養手当等の支給に関する法律」に基づき、精神又は身体に障がいのある20歳未満の児童を監護・養育している方に、手当を支給します。			
平成25年度事業目標	◆手帳交付時及び広報等を通して、本手当の周知を図ります。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆特別児童扶養手当等の支給に関する法律に基づき、精神または身体に障がいのある20歳未満の自動を監護、養育している方からの申請等に基づき、遅滞なく県への進達及び利用者への通知事務を行いました。				
評価指標	◆申請受理・進達率	平成24年度数値	◆100%	平成25年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆障がいのある児童を家庭で監護、養育しているものの経済的負担を軽減することができました。	◆引き続き、本事業の対象者を適正に把握し、円滑な処理を実施します。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆手帳交付時及び広報等を通して、本手当の周知を図ります。
------------	------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課	
施策内容	4 障がい児施策の充実	事業対象者	政令で定める程度の重度の障害があるため、日常生活において常時の介護を必要とする状態にある在宅の20歳未満の者	
事業名	72 障害児福祉手当の支給			
		平成25年度事業費決算見込み額	10,443,040円	
事業の概要	◆常時介護を必要とする在宅の重度障害児に対し、手当を支給します。			
平成25年度事業目標	◆手帳交付時や広報等を通して、本手当の周知を図ります。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆規定に基づき、調査や審査を行い手当を支給しました。また、窓口や広報により本手当の案内や周知を行いました。				
評価指標	◆給付率	平成24年度数値	◆100%	平成25年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆受給資格認定した者に対し100%の支給を行いました。 (12月末現在の支給者数61名、支給停止者除く) 重度の障がいがある児童に対し、手当を支給することで経済的負担を軽減することができました。	◆本手当の対象児を適正に把握し、円滑な支給開始を図ります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆手帳交付時や広報等を通して、本手当の周知を図ります。
------------	-----------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課	
施策内容	4 障がい児施策の充実	事業対象者	18歳未満の重度心身障害児童	
事業名	73 重度心身障害児医療費の助成			
		平成25年度事業費決算見込み額	203,564千円	
事業の概要	◆重度心身障害児を対象に、医療費の一部を助成します。			
平成25年度事業目標	◆提出された申請書類を遅滞なく審査・決定を行い、保険診療の自己負担分を助成することで、経済的負担を軽減します。 ◆県の助成事業であることから、現物給付化に向け動向等に注視しながら、継続して検討します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆医療費助成申請を受け、すみやかに審査・決定を行いました。また、障害者手帳交付時や相談業務において、制度の一層の周知をはかり利用を促進しました。				
評価指標	◆給付率	平成24年度数値	◆100%	平成25年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆重度の障がい児の医療費助成を行うことで、経済的負担の軽減を図ることができました。	◆平成27年4月からの現物給付化に向けて県が調整を開始しました。また、現物給付化に向けた準備が必要です。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆提出された申請書類を遅滞なく審査・決定を行い、保険診療の自己負担額を助成することで、経済的負担を軽減します。 ◆平成27年4月からの現物給付化に向けて県が調整を開始したので、現物給付化に向けた準備を行います。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	障がい福祉課	
施策内容	4 障がい児施策の充実	事業対象者	身体、療育、精神保健福祉手帳のいずれか一定基準を満たした手帳を所持し、本人が非課税(18歳未満は保護者が非課税)	
事業名	74 タクシー利用券の交付		平成25年度事業費決算見込み額	25,232,000円
事業の概要	◆障がい児のタクシー利用費用の一部を助成します。			
平成25年度事業目標	◆所得制限の範囲や対象者の見直しを引き続き検討しながら、事業を継続して実施していきます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	障がい児のタクシー利用費用の一部を助成し、移動の支援と経済的な負担の軽減を図りました。				
評価指標	◆給付率	平成24年度数値	◆100%	平成25年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆障がい児の移動支援、経済的負担の軽減を図ることができました。	◆制度の周知を引き続き、図って参ります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆所得制限の範囲や対象者の見直しを引き続き検討しながら、事業を継続して実施していきます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

2.子育て・子育て支援体制の整備				
基本施策(中項目)	3 個別に支援を必要とする子どもへの支援体制の充実	担当課	学校教育課	
施策内容	4 障害児施策の充実	事業対象者	児童・生徒	
事業名	75 特別支援教育就学奨励費の補助			
		平成25年度事業費決算見込み額	4,504,033円	
事業の概要	◆特別支援教育を受ける児童及び生徒を養育する世帯を対象に就学奨励費を補助することで、経済的負担の軽減を図ります。			
平成25年度 事業目標	◆認定された者について100パーセント支給します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆児童生徒の保護者から提出された申請を受け、当該援助費支給認定に必要な書類を確認し、進達事務を行いました。 【実績】支給延人数 130人(H25.2.1現在)				
評価指標	◆該当児童・生徒への実施率	平成24年度数値	◆100%	平成25年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆進達を行い、支給決定された者については100パーセント当該手当が支給されています。		
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆認定された者について100パーセント支給します。
------------	---------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦及び乳幼児とその保護者
事業名	76 健やかな子を産み育てる体制の充実		
		平成25年度事業費決算見込み額	7,405,000円
事業の概要	◆母子健康手帳の交付から始まる、妊娠・出産・育児を通じた一貫性のある健診・相談・教育の実施体制を充実し、思春期保健を含めた親と子の健康づくりを進めます。 ◆母子保健活動の拠点としてのヘルスステーションの充実を図ります。		
平成25年度事業目標	◆引き続き、母子健康手帳交付時、転入時より妊娠・出産・育児を通じた一貫性のある健康診査・健康相談・健康教育・家庭訪問等の体制が充実するよう努めます。また、「こんにちは赤ちゃん事業」として全戸訪問による把握を推進し、個別の相談を継続していきます。		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆母子健康手帳の交付時や転入時より妊娠・出産・育児を通じた一貫性のある健康診査、健康相談、健康教育、家庭訪問等の体制が充実するように努めました。 ◆生後4か月までの全戸訪問を目指した「こんにちは赤ちゃん事業」(助産師による産婦・新生児訪問、母子保健推進員による家庭訪問)にて、乳児期の子育てに関する情報提供を行い、不安の軽減に努めました。				
評価指標	◆こんにちは赤ちゃん事業家庭訪問実施率	平成24年度数値	◆95.1%	平成25年度数値	◆95.8%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆新生児訪問では「体重が増えているのか、母乳が出ているのか心配だったので、助産師に来てもらい大丈夫と言われたので安心した。」という感想が得られています。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆こんにちは赤ちゃん事業は、実施率95.8%(見込み)、4か月児健康相談では、107回1,140名(来所率94.3%)(平成26年1月末現在)、10か月児健康相談では、92回1,043名(来所率88.8%)(平成26年1月末現在)、1歳6か月児健康診査では20回1,184名(来所率98.5%)(平成26年1月末現在)、3歳児健康診査では20回1,137名(来所率87.5%)(平成26年1月末現在)の来所があり、安心して子育てできるための支援につながりました。	◆引き続き未把握のケースの確認を行っていきます。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成26年度事業目標	◆引き続き、母子健康手帳交付時、転入時より妊娠・出産・育児を通じた一貫性のある健康診査・健康相談・健康教育・家庭訪問等の体制が充実するよう努めます。また、平成26年度は「こんにちは赤ちゃん事業」として、すこやか子育てガイドや市民課での配布用紙に詳細を記載したり、市民課でのテレビモニターにも掲載して、全戸訪問による把握を推進していきます。そして、個別の相談も継続して行います。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課・他関係各課	
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦及び乳幼児とその保護者	
事業名	77 心身の健康についてハイリスク者の把握と支援の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		161,685,000円
事業の概要	◆病気や障害の可能性を早期に把握し、適正な医療や療育の体制につなげていきます。 ◆家庭の養育力に着目した母子保健活動を展開する中から、子どもの心身の健全な発育・発達を阻害する因子に対して、早期対応を図ります。			
平成25年度事業目標	◆家庭の養育力の向上と安心して子育てができることを目指して、妊娠期からの各事業を一貫して実施し、支援が必要な方の早期発見・支援を行います。 ◆未熟児養育医療等にかかわる給付・相談等(平成25年4月 県より権限移譲)を実施し、対象者を早期に発見し、円滑に適切な支援へつなげていきます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	母子健康手帳交付時の看護職による面接 未熟児養育医療の給付対象者への面接・支援 新生児訪問指導 4か月児・10か月児健康相談 1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査 幼児相談・発達相談 電話相談・所内相談・訪問指導等の事業により、対象者の把握・支援を行いました。				
評価指標	◆支援が必要な妊婦への訪問等での対応割合	平成24年度数値	◆90.7%	平成25年度数値	◆89.3%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「こどもの成長発達を確認できてよかった。」「助言を受けて相談機関に通おうと思った。」との意見がある一方で、「仕事をしており、参加するのに日程調整が難しい。」との意見がありました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆個別の支援が必要な方には、妊娠期から継続した支援を行うことで、家庭の養育力を高める支援、安心して子育てができる支援につながりました。	◆健康相談・健康診査等の未受診者に早期にアプローチし、支援につなげる活動を充実させる必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆家庭の養育力の向上と安心して子育てができることを目指して、妊娠期からの各事業を一貫して実施し、個別支援が必要な方を早期に把握し、支援を充実させます。 ◆未熟児養育医療の給付事業を通して面接、相談により円滑な地域での支援につなげていきます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課	
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦	
事業名	78 母子健康手帳の交付			
		平成25年度事業費決算見込み額		225,904円
事業の概要	◆妊娠・出産・育児に関する情報を提供し、個々の状況に沿った相談・指導を行い、妊娠初期からの継続した支援を行います。			
平成25年度 事業目標	◆引き続き妊娠届出者に看護職が面接し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供していきます。個別支援が必要な妊婦には、地区担当保健師が訪問指導・所内相談・電話相談等で継続して支援していきます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆看護職の面接により母子健康手帳を交付し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供しています。不安や問題を抱える人に対しては、妊娠中より訪問指導・所内相談・電話相談等を実施しました。				
評価指標	◆妊娠届出者・転入時面接した妊婦への面接割合	平成24年度数値	◆100%	平成25年度数値	◆100%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆母子健康手帳交付時に「今後相談できる担当者を紹介してもらい安心した。」「初めて知るサービスがあった、利用してみたいと思う。」という感想が得られています。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆「健やか親子21」指標である「妊娠11週以下での妊娠届出率」は国の第2回中間評価72.1%、当市は93.1%(平成26年1月末現在)であり、ほとんどの方が早期に交付されています。 ◆また、すべての妊娠届出者に個別面接し、母子健康手帳を交付し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供することができました。個別支援が必要な妊婦には、地区担当保健師が訪問指導・所内相談・電話相談などで対応しました。	◆母子健康手帳交付時の情報提供では、妊婦健康診査の受診に関するものも含んでいるため、妊娠確認後、速やかに妊娠の届出を済ませていただけるよう、さらに周知徹底が必要です。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆引き続き妊娠届出者に看護職が面接し、妊娠・出産・育児に関する情報を提供していきます。個別支援が必要な妊婦には、地区担当保健師が訪問指導・所内相談・電話相談等で継続して支援していきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課	
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	継続して支援が必要な妊婦	
事業名	79 継続して支援が必要な妊婦への支援の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	63,000円	
事業の概要	◆妊娠・出産・育児に関する情報を提供し、個々の状況に沿った相談・指導を行い、妊娠初期からの継続した支援を行います。			
平成25年度事業目標	◆引き続き、積極的に継続支援の必要な妊婦に、妊娠中より支援していきます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆妊娠届出時に不安や問題を抱える妊婦には、妊娠中より地区担当保健師が、訪問指導・所内相談・電話相談等で継続した支援をしました。				
評価指標	◆支援が必要な妊婦への訪問等での対応割合	平成24年度数値	◆90.7%	平成25年度数値	◆89.3%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「妊娠中から保健師さんが相談にのってくれて心強かった。」「妊娠中から担当の人の顔が見られることで産後も安心して相談できた。」との感想を得ています。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆妊娠中から地区担当保健師が支援を開始し、訪問指導・所内相談・電話相談等で支援を行いました。現在、就労している妊婦は5割近くおり、なかなか連絡がつかない方もいるが、妊娠期から対象者を把握をしていたことで、出生後早期から精神的・身体的に不安定な母親への支援をスムーズに行うことが出来ました。 ◆また、よりきめ細やかに支援ができるよう、妊娠中に継続的に支援する対象者の見直しと妊娠届出書のアンケート欄の見直しを行いました。	◆複雑な家族背景や精神的疾患を持った妊婦も増加しているため、妊娠期からの支援がより重要になると考えます。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆引き続き、積極的に継続支援の必要な妊婦に、妊娠中より支援していきます。
------------	--------------------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課	
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦とその夫(パートナー)	
事業名	80 ママ・パパになるための学級の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額	205,700円	
事業の概要	◆安心して妊娠・出産・育児に臨めるように、知識・技術を提供する場を設けるとともに、身近な地域での仲間づくりを推進します。			
平成25年度 事業目標	◆引き続き安心して妊娠・出産・育児に臨めるよう、知識・技術を提供する場を設けるとともに、身近な地域での仲間づくりを推進します。 ◆妊婦同士の交流を図り、妊娠中から子育て期に向けての仲間づくりの場となるよう努めます。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆妊娠中3回、産後1回の4課1コースで年間12回実施しました。(2課が土曜日コースを年8回・平日のコースを年4回) 妊娠・出産・育児に関する知識・技術の提供や仲間づくりを行なった他、2課では夫(パートナー)の参加を促し「妊娠シミュレーター」を着用して夫(パートナー)が妊婦体験を行ない、育児は夫婦共同という意識がもてるように講義とグループワークを実施しました。 また、夫(パートナー)が多く参加する2課で、産後のママの体と心の変化・産後うつについて・「揺さぶられ症候群」のDVDを交えながらあかちゃんが泣いた時の対応についての内容の充実を図りました。4課では、産後初めての交流の場になることも多く、産婦同士の仲間づくりを進め、更にこれから出産を控える妊婦さんに出産・育児について具体的にイメージが湧きやすいようアドバイスしてもらいました。			
評価指標	◆妊婦・夫受講率	平成24年度数値	◆妊婦51.5%・夫40.9%	平成25年度数値	◆妊婦54.7%・夫44.0% (見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆妊婦さんからは「ビデオなど実際の子育ての様子を見られて参考になった。ネットの情報よりも分かりやすい。母乳の事について詳しく知る事ができとても参考になった。ママ友と知り合える良い機会でした。あかちゃんが泣き止まない時強く揺さぶらないで違うやり方をよく考えて泣き止んでもらう事を知りました。一度経験していてもとても勉強になった。なんとなくイメージはあったけど、具体的な話が聞けてよかった。土曜日の開催を増やすべき。」 ◆夫(パートナー)からは「妊娠シミュレーターで妊婦の体験ができたので今後は今まで以上に妻をいたわりたい。身近なパパ同士で意見交換ができて良かった。可能な限り家事など妻のサポートをしていきたい。」 同窓会を兼ねて産後に実施している4課に出席した先輩ママからは「同じ悩みを持つ方と意見交換ができて良かった。パパが参加して非常に勉強になった。パパも参加した事でイクメンになった。妊娠中に産後の心構えができたのが良かった。」との感想を頂いています。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆2課が土曜日開催のコースは受講者数が増える傾向があり、25年度は土曜日開催の日は職員数を増やすなど、安全に配慮した教室運営を心がけました。勤労妊婦が増加する傾向の為、2課のみの参加も受け入れています。2課に出席してから「やはり1・3課も出席したい」と希望される方もいました。受講者アンケートは前向きな感想が多く、育児についてイメージ化し、仲間と共に産後スムーズに育児ができるよう設定している内容は好評を得ています。4課でも月齢の近い子どもを持つ親同士で悩みを共有し、後輩妊婦へ体験談を話す事で自分の育児に自信を深める機会・仲間づくりの機会となっています。	◆受講者数が増える傾向にあり、安全に教室が運営できるよう、更なる会場レイアウトの工夫・講義内容の工夫が必要となっています。また、不安の多い産後1か月を具体的にイメージできるよう、4課に出席した先輩ママから、出産だけではなく、産後1か月の生活を伝えて頂く必要があります。 ◆コース(妊娠中3回)を通して参加いただくことで、知識・技術の情報提供・仲間づくりが進むと考えていますので、勤労妊婦が増加する中、2課だけを希望する方も増えていますが、できるだけコースで参加して頂けるような案内も引き続き必要です。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆安心して妊娠・出産・育児に臨めるよう、知識・技術を提供する場を確保するとともに、身近な地域での仲間づくりを推進します。 ◆妊婦同士の交流・産後の同窓会を兼ねた交流を通して、妊娠期から子育て期の仲間づくりの場となるよう努めます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課	
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	未就学児とその保護者	
事業名	81 乳幼児に対する健康相談の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		7,405,000円
事業の概要	◆助産師による産婦・新生児訪問、地区住民でもある制度ボランティアの母子保健推進員による全出生児の家庭訪問、全員を対象とした乳幼児の健康相談等を通して、子育てに関する不安感の軽減や情報提供を行います。また、健康な生活を目指した食事・睡眠・遊び・むし歯予防等生活習慣について、保健師・栄養士・歯科衛生士が情報提供を行い、個々の状況に応じた相談にも応じます。 ◆乳幼児の発育・発達に関する心配については、専門医師による発達相談や、心理職による相談の機会を設け、親の不安を丁寧な受け止めながら、早期に適切な指導や療育につなげることによって、子どもにとっての最大限の成長・発達を促す支援をしていきます。 ◆電話や来所・訪問等で妊婦・保護者からの相談窓口として、ヘルスステーションの機能を強化していきます。			
平成25年度事業目標	◆健やかな子どもの成長・発達及び保護者の子育てに関する不安の軽減を目指して、各事業を推進します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆生後4か月までの全戸訪問を目指したこにちは赤ちゃん事業(助産師・保健師による産婦・新生児訪問、母子保健推進員による家庭訪問)、4か月児・10か月児健康相談のほか、乳幼児の発育・発達に関する心配については、医師による発達相談や心理職による幼児相談により、保護者の不安の軽減や適切な指導の機会に努めました。また、電話相談、所内相談や訪問指導による相談事業を実施しました。			
評価指標	◆こにちは赤ちゃん事業実施率	平成24年度数値	◆95.1%	平成25年度数値	◆95.8%(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆妊娠期からの相談場所があることに対して、「心強い」との意見が聞かれました。こにちは赤ちゃん事業では、「初めての育児で心細かったけれど、訪問してもらい、いろいろ話を聞いてもらえて、うれしかった。」との声が聞かれています。 ◆医師や心理相談員による健康相談(発達相談・心理相談)の利用者からは「具体的なこどもへの対応方法を聞くことができ、とても参考になった。」などの意見が聞かれました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆4か月児健康相談は107回1,140人(平成26年1月末現在)、10か月児健康相談は92回1,043人(平成26年1月末現在)の来所がありました。 ◆4か月児・10か月児健康相談事業における相談内容は、発育・発達に関することが1,338件、生活習慣に関することが1,582件、育児の状況に関することが622件、その他に関すること(きょうだいについて等)が352件でした。(いずれも平成26年1月末現在、延べ件数) ◆妊娠期から続く切れ目ない支援により、個々のニーズに応じた育児における不安や心配ごとの解消につながりました。	◆今後も引き続き対象者のニーズをとらえた健康相談事業を推進していく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆引き続き、健やかな子どもの成長・発達及び保護者の子育てに関する不安の軽減を目指して、各事業を推進します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課	
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	未就学児とその保護者	
事業名	82 健康教育の推進			
		平成25年度事業費決算見込み額	27,000円	
事業の概要	◆生涯の健康の基盤をつくる大切な時期の、子どもの生活と健康をテーマにとして、食事・排泄・睡眠・遊び等とその生活リズムの重要性を伝え、いのちと性の教育の第一歩として、乳幼児期の保護者への教育にも力を入れていきます。 ◆男女ともにかかわる妊娠・出産から子育てについての意識啓発や、体験学習の機会を拡充し、男女共同参画の視点で母性・父性の役割について学ぶ機会を設けます。 ◆乳児の相談や公民館・幼稚園における健康教育等の機会に、保護者に対して「いのちと性」の正しい理解を目的とした学習を、一貫した流れの中で行えるよう取り組んでいきます。			
平成25年度事業目標	◆関係機関と連携し、市民への周知につとめ、健康教育の機会の確保をめざします。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆「幼稚園健康教育」、「離乳食教室」、公民館主催の「育児講座」、「幼児家庭教育学級」、「PTA家庭教育学級」等の中で、乳幼児期の保護者に対して、子どもの生活と健康をテーマに食事・排泄・睡眠・遊びや生活リズムの重要性、「いのち・性」についての健康教育を講座の中で組み込み、実施しました。 ◆妊娠期から「ママ・パパになるための学級」において、子育てについて・母性父性の役割についての意識啓発や体験学習を行いました。 ◆4か月児・10か月児健康相談では、子どもの生活・健康面だけでなく、基本的信頼関係や子どもとの向き合い方について伝えました。				
評価指標	◆離乳食教室稼働率 ◆むし歯のない3歳児の割合 ◆性教育をしたことがある親の割合 ◆自分以外の人に優しく接している人の割合	平成24年度数値	◆90.2% ◆82% ◆次回25年度末調査予定 ◆次回25年度末調査予定	平成25年度数値	◆95%(見込み) ◆84.2%(1月末) ◆28.2% ◆50.8%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆「あなたはとても大切な存在であること、いのちの大切さなど、日常の会話の中で親子で話したい。」「日々、子どものできないことに目がいきがちでつい怒ってしまうことも。お話を聞いて、もっと子どもをほめてあげたいと思った。」などの感想が聞かれています。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆講座・学級等では、83回述べ5,496人(平成26年1月末現在)の乳幼児とその保護者に対して、4か月児健康相談では107回1,140人(平成26年1月末現在)、10か月児健康相談では92回1,043人(平成26年1月末現在)の乳児の保護者へ教育を行い、多くの対象者へ命の大切さや性についての教育を行いました。	◆今後は、まちづくり出前講座等、市民からの講義依頼を増やし、より多くの子育て中の方に支援をするために、母子保健活動事業全体の中で、PRを行い教育の機会を確保していく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成26年度事業目標	◆関係機関と連携し、市民への周知につとめ、さらなる健康教育の機会の確保をめざします。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保					
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課		
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	妊婦一般健康診査:妊婦 乳児一般健康診査:乳児 1歳6か月児健康診査:1歳6か月～2歳未満児 3歳児健康診査:3歳6か月～4歳未満児		
事業名	83 健康診査の充実		平成25年度事業費決算見込み額	154,280,000円	
事業の概要	◆安全で安心な妊娠・出産と、子どもの発育・発達を確認し、健やかな成長を促すため、医療機関で行う一般健康診査の費用、妊婦歯科健康診査の費用を助成します。 ◆幼児期においては集団健康診査を行い、保護者とともに子どもの心身の発育・発達を確認し、ことばや行動等、保護者の心配事に対して、医師、歯科医師、心理職、言語聴覚士、保健師、栄養士、歯科衛生士等が対応します。				
平成25年度事業目標	◆妊娠期・乳児期においては、安全で安心な妊娠出産と健やかな子どもの発育・発達を促すために医療機関で行う健康診査の費用を助成します。 ◆幼児期においては、引き続き集団健診を実施し、保護者とともに子どもの成長発達の確認を行います。また、育児支援にも力を入れ、保護者の育児不安の軽減に努めます。				

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆妊婦一般健康診査(個別健診)は14回助成しました。 ◆妊婦歯科健康診査は妊娠中に1回実施しました。 ◆乳児一般健康診査(個別健診)は3～6か月児、9～11か月児の2回助成しました。 ◆1歳6か月児・3歳児健康診査(集団健診)は、よりよく子どもの発達を確認できるように個別面接を行い、子どもの成長発達の確認や子育ての情報を提供した他、保護者が子どもの健康や健やかな成長に関心が持てるように支援、保護者の育児不安、ストレスへの支援も実施しました。また、3歳児健康診査では、保護者の歯科健診も併せて実施しました。(希望者)			
評価指標	◆妊婦歯科健康診査受診率 ◆1歳6か月児健康診査受診率 ◆3歳児健康診査受診率	平成24年度数値	◆22.5% ◆91.8% ◆89.6%	平成25年度数値	◆15.3%(1月末現在) ◆98.5%(1月末現在) ◆87.5%(1月末現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆妊婦乳児一般健康診査については「制度が充実しているんですね」という言葉が聞かれています。 1歳6か月児・3歳児健診では「健診を受けて子どもが順調に成長していることが確認でき、いい機会になった」「子どもへの対応方法や食事についてなど、子育ての相談ができて安心した」などの感想が得られました。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆妊婦健診の公費助成があることで、妊婦の健診の定期的な受診による妊婦及び胎児の健康管理と、金銭的な負担の軽減につながっています。 ◆1歳6か月児健康診査・3歳児健康診査では、子ども一人一人の成長段階にあわせた指導を行いました。また、状況に応じて個別相談を行うことで、保護者の不安の軽減につながりました。	◆妊婦健診の適切な受診のため、早期の母子健康手帳交付(妊娠11週以下の割合:平成26年1月末現在93.1%)の維持、向上をめざすことが必要です。 ◆日時の指定がある集団健診は、就労している家庭には都合がつかない場合があります。来所が難しい場合には、その家庭の状況に応じて、家庭訪問・所内相談等個別対応を行い、発育発達についての確認と、保護者の育児不安の軽減を図る必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成26年度事業目標	◆妊娠期・乳児期においては、安全で安心な妊娠出産と健やかな子どもの発育・発達を促すために医療機関で行う健康診査の費用を助成するとともに受診を勧奨していきます。 ◆幼児期においては、引き続き集団健診を実施し、保護者とともに子どもの成長発達の確認を行います。また、育児支援にも力を入れ、保護者の育児不安の軽減に努めます。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課	
施策内容	1 親と子どもの健康支援の充実	事業対象者	予防接種対象者(乳幼児・学童・中高生)の保護者	
事業名	84 予防接種			
		平成25年度事業費決算見込み額	349,042,298円	
事業の概要	◆感染力が強く、かかると重篤になりやすい疾患について、「予防接種法」に基づく定期予防接種を行います。			
平成25年度 事業目標	◆新たに定期予防接種化される子宮頸がん等ワクチン接種を含め、市民にわかりやすく説明書等を改善し、引き続き、各関係機関と連携し接種勧奨を行います。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆「予防接種法」に基づく定期予防接種の実施と接種勧奨を実施しました。 ◆「予防接種法の一部改正」「予防接種実施規則等の一部改正」による変更について、4か月児健康相談・10か月児健康相談・1歳6か月児健診・3歳児健診等で母子健康手帳を確認し、該当者へご案内しました。また、該当者へはがきで通知しました。 ◆風しんの流行により、先天性風しん症候群の発症を防ぐために、緊急で大人の風しん等予防接種について臨時予防接種を実施し、接種費用の半額を助成しました。			
評価指標	◆接種率	平成24年度数値	◆MR1期99.5%、MR2期98.1%	平成25年度数値	◆MR1期99.3% ◆MR2期98.1% (見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆日本脳炎2期の手続きの仕方がわからないというご意見がありました。 ◆不活化ポリオワクチンの追加接種についての問い合わせが多くありました。 ◆大人の風しん予防接種に関する問い合わせが多くありました。 ◆年度途中からヒトパピローマウイルスワクチン(子宮頸がん予防)の積極的勧奨が差し控えとなり、周知をしたところですが、市民の方々はどうしていいかわからず、お問い合わせが多数寄せられました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆ヒブ感染症の追加接種の間隔が7～13か月と限定されたことで、対象者が不利益を被ることがないように、可能な方法で周知したことにより、積極的な勧奨ができました。 ◆習志野市が臨時で実施した大人の風しん等ワクチン接種により、妊婦さんが風しんに感染することを予防することで、赤ちゃんが先天性風しん症候群に罹患するリスクを抑えることができました。 ◆BCGの対象年齢が生後6か月に至るまでから生後12か月に至るまでに拡大されたことにより接種率の比較が難しいことから評価指標から削除し、国が目標を95%以上と定めているMRIについての接種率を評価指標としました。	◆対象者へいかに早く正確な情報を提供するか、今後検討していきます。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆今後新たに定期予防接種化される予防接種も出てくることから、対象者には平等に情報が提供できるよう、できる限り個別通知の方法で周知していきます。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課、学校教育課	
施策内容	2 思春期保健対策の充実	事業対象者	子育てに関わる各関係機関	
事業名	85 中学校区地域保健連絡会の推進			
		平成25年度事業費決算見込み額		8,000円
事業の概要	◆中学校区ごとに実施している地域保健連絡会において、幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・高校・公民館等の関係職員が連携を強化し、保護者や習志野健康福祉センター等、外部関係機関との連絡調整を行いながら、子どもの発育・発達に応じた健康づくりに取り組む体制づくりを進めていきます。			
平成25年度事業目標	◆地域に生活する各年代の健康づくりに各関係機関が連携して取り組むために、定期的に地域保健連絡会を実施します。(健康支援課) ◆中学校区ごとに実施している地域保健連絡会において、幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校・高等学校・公民館などの関係職員の連携をより強化し、保護者や習志野健康福祉センター等、外部関係機関との連携調整を行いながら、こどもの発育・発達に応じた健康づくりに取り組む体制を進めていきます。(学校教育課)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆市内7つの中学校区ごとに定期的な中学校区地域保健連絡会を実施しました。実務にかかわる保育所・幼稚園・こども園・小学校・中学校・高校・公民館等の関係機関、健康福祉センター等の外部関係機関とともに各地域の問題点を共有しながら、子どもの健康づくりに取り組みました。(健康支援課) ◆各中学校区地域保健連絡会に出席し、課題及び取組状況について把握し、必要に応じて支援を行いました。(学校教育課)				
評価指標	◆中学校区地域保健連絡会開催回数	平成24年度数値	◆21回	平成25年度数値	◆17回(1月末現在)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆定期的に地域保健連絡会を実施することで、関係機関とスムーズな連携ができ、健康づくりに取り組む体制を継続することができています。また、それが日常の個々のケースへの対応や支援にも生かされています。 ◆中学校区地域保健連絡会において、情報交換が盛んに行われており、日々の業務において、連携・協力体制につながっています。(学校教育課)	◆各地域の実情に合わせた課題の解決に向けて、各中学校区での取り組みはさまざまです。市全体として思春期保健対策の充実を図るため、さらに取り組みを進めていく必要があります。(健康支援課)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆子どもの発育・発達に応じた健康づくりに各関係機関が連携して取り組むために、定期的な地域保健連絡会を実施し、内容を充実させていきます。(健康支援課) ◆幼稚園・保育園・こども園・小中高等学校・公民館等の関係者の連携を強化しながら、学校保健業務の充実が図られるよう取り組んでいきます。(学校教育課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	1 親と子どもの保健医療体制の充実	担当課	健康支援課
施策内容	3 小児救急医療体制の充実	事業対象者	15歳未満の小児
事業名	86 小児救急医療体制の整備、充実		
		平成25年度事業費決算見込み額	116,988,000円
事業の概要	◆小児が休日夜間の急病時に、確実に受け入れられる診療体制の充実を図ります。 ◆夜間や休日における一次・二次診療は、習志野市医師会等の関係機関の協力を得るとともに、近隣市の医療機関と連携しながら対応しております。今後も引き続き関係機関の協力を得ながら体制整備を図っていきます。		
平成25年度事業目標	◆引き続き、日頃からかかりつけ医を持つこと、また、一次救急・二次救急・三次救急といった医療体制や日中の早めの受診、夜間に急病になった場合の「子ども急病電話相談」の利用の促進について、市ホームページ、救急医療ガイド等により周知し、限りある医療資源を有効に活用することで、救急医療体制の充実を図ります。		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆夜間に急に子どもが具合が悪くなった時、急いで受診した方が良い場合と、家庭で対応し翌日かかりつけ医へ受診した方が良い場合があります。これに対応できるように、千葉県・千葉県小児科医会及び千葉県医師会が共同で作成した、症状ごとの程度に応じたチェックリストと対処方法が記載された「チェックリストによる子ども急病ガイドブック」を生後2か月～3か月児をもつ家庭に配布しました。 ◆千葉県が実施している、夜間に子どもが急に具合が悪くなったとき、医療機関にすぐに受診させたほうがよい相談できる「こども急病電話相談」の広報シール(千葉県作成)を生後2か月～3か月児をもつ家庭及び母子健康手帳室において転入者に配布し、適正な医療受診の啓発に努めました。				
評価指標	急病診療所における小児患者数 二次救急医療機関における夜間受診者数	平成24年度数値	◆1,500人 ◆7,295人	平成25年度数値	◆1,700人(見込み) ◆7,000人(見込み)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆転入者からは救急医療ガイドに記載されている救急医療体制について、「医療体制がわかりやすい」という意見や、一方で「急な発熱の場合、急病診療所がはじまるまで待たないといけないのか」、「夜間小児科を受け入れてくれる病院が欲しい」という意見がありました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆市ホームページ及び救急医療ガイド、子育てガイドブックにて一次救急・二次救急・三次救急といった医療体制や日中の早めの受診について周知をする以外に、県が実施及び作成している「チェックリストによる子ども急病ガイドブック」及び「こども急病電話相談」シールを配布し、2か月～3か月の子どもをもつ家庭に周知したことにより、小児をもつ家庭の不安の緩和につながりました。	◆一次救急・二次救急・三次救急といった小児救急体制の整備状況の周知や、日中の早めの受診協力、県が実施している「子ども急病電話相談」の利用の促進により、限りある医療資源を有効に活用できるよう、適正な医療受診についての啓発を引き続き実施していく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成26年度事業目標	◆引き続き、日頃からかかりつけ医を持つこと、また、一次救急・二次救急・三次救急といった医療体制や日中の早めの受診、夜間に急病になった場合の「子ども急病電話相談」の利用の促進について、市ホームページ、救急医療ガイド等により周知し、限りある医療資源を有効に活用することで、救急医療体制の充実を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課	
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	市民	
事業名	87 安全で安心なまちづくり基本計画等に基づく施策の実施			
		平成25年度事業費決算見込み額	1,900,000円	
事業の概要	◆「基本計画」及び「実施計画」に基づき、防犯啓発活動、庁内関係機関及び地域等との連携・ネットワークの整備、防犯パトロールの強化、子どもたちの通学時等における安全確保、地域防犯活動への支援等の施策に積極的に取り組みます。			
平成25年度事業目標	◆警察、市民と連携し、防犯パトロールや街頭啓発活動等を充実させること。また防犯対策強化を図り犯罪抑止に努めます。 ◆警察との連携を密にし、増加傾向にある犯罪についての防犯対策について協議し、まちづくり出前講座等において、広く市民に防犯意識の高揚を図ります。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆防犯パトロール支援 ◆防犯講演会等の開催(まちづくり出前講座を含む) ◆街頭啓発キャンペーン等(自転車防犯診断2回・防犯チラシ配布3回) ◆犯罪情報の提供(ホームページ・携帯メール) ◆(予定)迷惑電話チェッカーの配布				
評価指標	◆犯罪発生件数	平成24年度数値	◆2,468件(平成24年末)	平成25年度数値	◆2,391件(平成25年末暫定値)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆犯罪被害を未然に防ぐため、自主防犯活動団体が実施する夜間パトロールに警察署員、市職員も同行し、活動の活性化と意欲向上を図りました。 また、防犯意識の高揚を狙った街頭啓発活動や振り込め詐欺の被害防止について、まちづくり出前講座を実施しました。 ◆近年増加傾向にある、ひったくり犯罪について平成24年度に設置した防犯カメラによりひったくり防止重点地区である藤崎、花咲の件数は減少し、犯罪発生総件数は、前年と比べ減少という結果を得ることができました。	◆振り込め詐欺被害について、前年と比べ件数は減少しているものの被害額は前年を上回る結果となりました。 今後も、犯罪発生件数の減少と共に振り込め詐欺について対策を検討する必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆警察、市民等と連携し、防犯パトロールや街頭啓発活動等充実させること。また防犯対策強化を図り犯罪抑止に努めます。 ◆警察との連携を密にし、増加傾向にある犯罪についての防犯対策について協議し、まちづくり出前講座等を活用し、市民の防犯意識の高揚を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	企画政策課・道路交通課・各施設所管課	
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	高齢者、障がい者等、各鉄道事業者	
事業名	88 駅、公共施設、道路等のバリアフリー化			
		平成25年度事業費決算見込み額		29,143,000円
事業の概要	◆駅や公共施設における手すりやエレベーターの設置等の整備・改善について関係機関の協力を得ながら促進します。 ◆歩道の段差改善等のバリアフリー化を図ります。			
平成25年度 事業目標	◆以下の3つの駅の内方線付き点状ブロックの整備について、事業費の3分の1を補助します。(企画政策課) ①JR津田沼駅:JR東日本による、総武線上下・下り、総武緩行線の各ホームにおける内方線付き点状ブロックを整備 ②新津田沼駅:新京成電鉄株による、1、2番線ホームにおける内方線付き点状ブロックを整備 ③京成大久保駅:京成電鉄株による、1、2番線ホームにおける内方線付き点状ブロックを整備 ◆JR津田沼駅自由通路における歩行面のバリアフリー化に向けた詳細設計を実施します。(道路交通課)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆(企画政策課) 以下の3つの駅の内方線付き点状ブロックの整備について、事業費の3分の1を補助する予定です。 ※平成26年3月末の交付を予定しています。 ①JR津田沼駅:JR東日本による、総武線上下・下り、総武緩行線の各ホームにおける内方線付き点状ブロックを整備 ②新津田沼駅:新京成電鉄株による、1、2番線ホームにおける内方線付き点状ブロックを整備 ③京成大久保駅:京成電鉄株による、1、2番線ホームにおける内方線付き点状ブロックを整備 ◆(道路交通課)JR津田沼駅自由通路における歩行面のバリアフリー化に向けた詳細設計を実施しました。				
評価指標	—	平成24年度数値	—	平成25年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆鉄道事業者から、内方線付き点状ブロックの未整備の駅においては、今後、段階的に整備を進め、その際には、引き続き国や市と連携を図りながら整備を進めていきたいとの意向が示されました。(企画政策課)
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆詳細設計で決定した内容で平成26年度にバリアフリー化の工事を実施します。(道路交通課) ◆(企画政策課) 国、本市、鉄道事業者(JR東日本・京成電鉄株・新京成電鉄株)との連携により、内方線付き点状ブロックの整備が完了する予定です。 ※平成26年3月末までに、整備完了予定 ①JR津田沼駅:総武線上下・下り、総武緩行線の各ホーム ②新津田沼駅:1、2番線ホーム ③京成大久保駅:1、2番線ホーム		
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A	

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆JR津田沼駅自由通路および、都市計画道路3・4・5号線歩道部のバリアフリー化工事を実施します。(道路交通課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	学校教育課・指導課・こども保育課	
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	市立各小・中・高等学校、在園児と保護者	
事業名	89 学校安全の充実		平成25年度事業費決算見込み額	-
事業の概要	◆①総合的な学校安全計画作成・整備、②学年や年齢に合わせた交通安全教室の充実・指導の徹底、③安全点検の充実・事後処理の徹底、④学校安全関係者の質的向上、⑤学校・行政・地域が連携した通園・通学路の点検・改善整備を図ります。			
平成25年度事業目標	◆教育委員会として「学校における地震対応マニュアル」を発行することにより、ライフラインが切断されたとしても、市立小中学校の避難行動においては、統一行動をとることができるようにしていきます。(学校教育課) ◆安全な通学路にしていけるために、意見交換の場として、通学路安全対策協議会を設けていきます。(学校教育課) ◆文書等を通じて、主に交通安全教育の徹底を図り、関係機関との連携も密にしていきます。(学校教育課) ◆学校警察連絡会、生徒指導主任会議及び生徒指導担当教員会議を通して、市内の状況を共有化し、関係機関と連携を図りながら、交通安全指導の共通理解を図り、未然防止に努める。(青少年センター・指導課・学校教育課) ◆地域や園児・保護者の実態を踏まえて、多様な場面を想定した「危機管理マニュアル」や訓練計画の作成に努めていきます。(こども保育課)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆(学校教育課) ・平成25年6月、習志野市立小・中学校における地震発生時の行動計画について共通理解を図るため、習志野市教育委員会版「学校における地震防災マニュアル」を作成し、各学校に配布しました。 ・通学路安全対策協議会を年3回実施(合同点検1回実施)し、学校・道路管理者・警察が連携しながら、通学路の改善に努めました。 ・安全主任等研修会において、外部講師を招き、非構造部材の安全点検のポイントについて学ぶ機会を設けました。 ・各学校において、警察・交通安全協会の協力を得ながら、交通安全教室を実施しました。 ◆(指導課) ・年3回、学校と警察との連絡協議会を実施し、連携も密にするとともに、交通安全教育の徹底を図りました。 ・年4回の生徒指導主任会議(小・中学校)や毎月開催した生徒指導担当教員会議(中学校)を通して、市内の交通事故の実態を報告し、交通安全指導の徹底を図るようしました。 ◆(こども保育課) ・各施設ごとに、安全計画や危機管理マニュアルに基づいて計画的に訓練を実施しました。 ・子ども達が安心安全な生活が送れるように、確実に定期点検を実施し、適切な事後処理に努めました。また、研修等を通して、職員の安全に対する危機管理意識の向上に努めました。			
評価指標	◆小学校・中学校での安全計画作成割合 ◆小学校・中学校での交通安全教室実施率	平成24年度数値	◆100% ◆100%	平成25年度数値 ◆100% ◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆(学校教育課) ・教育委員会から出された「学校における防災マニュアル」を参考し、各学校において、自校の防災計画を見直すことができました。 ・24年度、25年度と2年続けて実施した通学路合同点検により、通学路における危険箇所を把握し、その改善のために関係機関と連携を図ることができました。 ・各学校で行っている安全点検のポイントを示唆していただき、安全点検の重要性を理解することができました。 ・関係機関の協力により、交通事故を未然に防ぐための歩行の仕方や自転車の乗り方を学ぶ交通安全教室を実施することができました。 ◆情報の共有化し、共通理解を図ることにより、子どもの心身の健全な成長と自立を支えることができました。(指導課) ◆(こども保育課) ・訓練を積み重ねる中で、職員の指示に従って園児が落ち着いて行動できるようになってきた。 ・想定状況を具体的に示し、職員が訓練を実施することで、適切な対応や危機管理意識の向上につながった。	◆(学校教育課) ・各学校の防災マニュアルの作成にあたっては、児童生徒の実態・地域の特性を考慮しながら、活用できるマニュアルの作成が必要であると考えます。 ・通学路の改善に向けて、通学路安全対策協議会の中で、合同点検のポイントを共通理解し、さらに安全な通学路になるよう関係機関と連携し、努めていきます。 ・自転車の乗り方については、加害者にもなりうることから、児童生徒の発達段階にあった交通マナーを学ぶ交通安全教室を実施していきます。 ◆より具体的な自転車の交通安全教室を実施していく必要があります。(指導課) ◆園児・保護者の実態や地域の実情を踏まえて、多様な場面を想定した「危機管理マニュアル」や訓練計画等の作成に努め、発達や年齢に応じて計画的に指導していくことが重要であります。(こども保育課)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成26年度事業目標	◆各学校の実態に即した、学校防災マニュアルの作成をし、活用していきます。(学校教育課・小学校・中学校) ◆児童生徒の発達段階にあった、交通マナーを学ぶ交通安全教室を実施します。(学校教育課・小学校・中学校) ◆文書等を通じて、主に交通安全教育の徹底を図り、関係機関との連携も密にしていきます。(指導課) ◆学校警察連絡会、生徒指導主任会議及び生徒指導担当教員会議を通して、市内の状況を共有化し、関係機関と連携を図りながら、交通安全指導の共通理解を図り、未然防止に努めます。(指導課) ◆地域や園児・保護者の実態を踏まえて、多様な場面を想定した「危機管理マニュアル」や訓練計画の作成に努めていきます。(こども保育課) ◆交通安全協会等と連携を図り、交通ルール等の交通安全に対する意識向上に努めます。(こども保育課)
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	子育て支援課	
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	乳幼児とその保護者	
事業名	90 子育て応援ステーション事業の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		30,000円
事業の概要	◆乳幼児を連れて、安心して外出できる環境を整えるため、授乳やおむつ交換ができる場を整備していくとともに、地域力を活用した子育て家庭への支援施策を検討します。			
平成25年度事業目標	◆授乳やおむつ交換の場を提供してくれる事業者を少しずつ増やしていくことで、子育て中の家族が安心して外出することのできる環境の更なる整備を図ります。 ◆地域力を活用した子育て家庭への支援施策を検討し、制度の更なる拡充を図ります。 ◆千葉県が平成24年7月から実施している「子育て応援！チーパス事業」と連携しながら周知を図ります。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆協力店舗には店先等の目立つステッカーを掲示していただき、利用者が気軽に立ち寄ることができる環境を整備しました。 ◆平成24年3月に協力店舗が13店舗となったため、ホームページ掲載によりその周知に努めました。 ◆千葉県が実施しているチーバス事業に関するアンケート調査への協力及び協賛店舗募集について、商工会議所広報紙への掲載を行いました。				
評価指標	◆協力店舗数	平成24年度数値	◆13店舗	平成25年度数値	◆13店舗

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆子育て応援ステーションの協力店が増えることは、習志野市が子育てにやさしいまちであるという印象につながるので、増やしてほしい。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆子育て応援ステーション協力店の周知を行うことで、乳幼児連れの家族が安心して外出できる環境が整備されました。	◆授乳やおむつ交換の場を提供していただける子育て応援ステーションの協力店舗をさらに増やしていく必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的に記入ください。

平成26年度事業目標	◆授乳やおむつ交換の場を提供してくれる事業者を少しずつ増やしていくことで、子育て中の家族が安心して外出することのできる環境の更なる整備を図ります。 ◆地域力を活用した子育て家庭への支援施策を検討し、制度の更なる拡充を図ります。 ◆千葉県が平成24年7月から実施している「子育て応援！チーバス事業」と連携しながら周知を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	公園緑地課	
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	遊具	
事業名	91 公園施設の整備			
		平成25年度事業費決算見込み額	10,000,000円	
事業の概要	◆公園施設は、子どもの視点に立った整備に配慮します。			
平成25年度 事業目標	◆安全で安心な公園の提供を目指し、引き続き専門業者による遊具安全点検を実施するとともに、危険箇所を見つけ次第、修繕します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆遊具安全点検を実施するとともに、危険箇所を見つけ次第修繕しました。			
評価指標	◆点検結果に応じた危険な遊具の修繕・撤去数	平成24年度数値	◆修繕55基、更新7基、撤去4基	平成25年度数値	◆修繕40基、更新3基、撤去3基

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆遊具安全点検を実施するとともに、危険箇所を見つけ次第、修繕し、安全で安心な公園の提供ができた。		
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	A	

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆安全で安心な公園の提供を目指し、引き続き専門業者による遊具安全点検を実施するとともに、危険箇所を見つけ次第、修繕します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	公園緑地課	
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	町会、子供会、老人会、ボランティア団体	
事業名	92 地域住民参加型の公園維持管理			
		平成25年度事業費決算見込み額	9,860,000円	
事業の概要	◆一部の公園で、地域住民の協力を得ながら掃除、軽微な遊具点検等の維持管理を推進していきます。			
平成25年度 事業目標	◆地域に密着した公園をめざし、地域住民の協力による草刈・清掃・軽微な公園施設の点検を推進します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆地域における公園の清掃・除草・草刈・施設の点検などを依頼する。			
評価指標	◆街区公園に対する市民管理団体の割合	平成24年度数値	◆44.6%	平成25年度数値	◆43.8%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆地域住民に公園を管理してもらうことで、地域における公園の重要性を認識してもらうとともに、効率的な維持管理が可能となります。	◆少子高齢化が進み、人数が減っているため、満足のいく維持管理が出来ない団体があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)	B	

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆地域に密着した公園を目指していくために、少子高齢化が進む中、地域住民の更なる協力による清掃等の維持管理を推進します。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	警防課	
施策内容	1 親と子どもにやさしい外出環境の整備	事業対象者	習志野市 在住・在勤・在学者	
事業名	93 応急手当普及啓発活動の推進			
		平成25年度事業費決算見込み額	4,989,000円	
事業の概要	◆救急救命率の向上を図るため、市民への普通救命講習会を実施します。			
平成25年度 事業目標	◆普通救命講習受講者数4,000人以上を維持することを目標にするとともに、小学校から大学、社会人と、生涯教育として一貫した普通救命講習を実施します。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆消防本部で毎月9・19・29日に開催しております定期講習では、小児・乳児の救命処置を講習内容とした普通救命講習Ⅲを組み込んだほか、公民館や幼稚園・保育所などに出向し、家庭教育学級等で先生方やお父さんお母さんに受講していただきました。 ◆短時間の心肺蘇生法などの救命講習を公民館や幼稚園・保育所等へ出向し実施しました。 ◆市内全ての小学校高学年を対象に、救命入門コースを実施しました。 ◆市内の中学校(8校)、高校(3校)、大学(1校)の生徒・学生対象に、普通救命講習を実施しました。			
評価指標	◆乳幼児の救急講習受講者数	平成24年度数値	◆690人	平成25年度数値	◆840人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆子どもができてから突然の事態に焦ることも多いので本当に役にたった。 ◆画面に合わせてやるから少し大変だったけど、終わった後に達成感があった。 ◆中学生のときに1回習ったが、何度も受ける必要があると思う。 ◆保育付の講習だったので小さい子どもを持つ親にはよかったし、そこで友達をつくれそうでよかった。 ◆人形を自分の子どもだと思って真剣に取り組むことができた。 ◆実際に直面したときあわてなくてすむし、皆さんも受けるべきだと思った。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆平成25年度の普通救命講習は、4,700人の受講が見込まれ2年連続で目標を達成できると考えています。 ・普通救命講習Ⅲ(21回開催、293人受講) ・小児乳幼児に対する短時間の救急講習(19回開催、547人受講) ・小学校高学年を対象にした救命入門コース(16校、1,497人受講見込み) ・中学校(8校、1,700人受講見込み) ・高校(3校、1,027人受講) ・大学(1校、184人受講)	◆継続的に受講者を確保するためには、広報等を行うとともに、受講者のニーズに応じたスケジュール構成など環境づくりを積極的に取り組む必要があります。 ◆継続的に目標を達成するためには、応急手当普及員の養成及び講習で使用する資器材を計画的に整備する必要があります。 ◆講習の指導については、統一した指導法や指導内容とすることが必要です。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆普通救命講習受講者数4,000人以上を維持することを目標にするとともに、子どもの命を守るよう、小児・乳児に対する心肺蘇生法の実施を積極的に行います。また、小学校から大学、社会人と生涯教育として一貫した普通救命講習を実施します。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課	
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	市民、市、関係機関	
事業名	94 地域防災計画の見直しと各種防災対策の拡充及び強化			
		平成25年度事業費決算見込み額		11,217,000円
事業の概要	◆災害から子どもたちの命と身を守るため、「地域防災計画」及び「行動計画」の見直しを行い、防災訓練や防災教育の実施、幼稚園や保育所・こども園・小学校・中学校等の安全性の向上、応急保育や応急教育の実施、避難体制や防災拠点・施設等の整備、災害時要援護者支援等、各種防災対策の拡充及び強化を図り、災害に強い、安全で安心なまちづくりを推進します。			
平成25年度 事業目標	◆修正スケジュールに沿って進めます。 平成25年度:職員向けの各種マニュアル・地域防災計画本編の作成			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆地域防災計画(総則編、風水害編、大規模事故編、資料編)の策定 ・各種マニュアルの策定(各部対応マニュアル、避難所運営マニュアル、地区対策支部運営マニュアル、災害時における要配慮者マニュアル、災害対策本部運営マニュアル、帰宅困難者支援マニュアル)				
評価指標	—	平成24年度数値	—	平成25年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	◆パブリックコメントにて、高潮対策、避難所運営、要配慮者対策について意見をいただいた他、関係機関や、庁内からも多くの意見があり、これらを取り入れました。
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆計画やマニュアルの素案をもとに訓練を実施し、内容を検証するとともに、課題や意見を反映させる手法で策定した。このことでより実効性のある計画となりました。	◆計画やマニュアルの内容を地域により浸透させ、地域が自ら計画を実行できるよう、啓発する必要があります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆計画をもとに地域への防災教育や訓練を推進します。
------------	---------------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課	
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	自主防災組織	
事業名	95 自主防災組織の拡充及び強化			
		平成25年度事業費決算見込み額	9,331,000円	
事業の概要	◆地域における防災活動の中心となる、自主防災組織の拡充と強化を図ります。			
平成25年度事業目標	◆これまでの方法を継続しながらも、実際に自主防災組織の空白地帯を中心に自主防災組織の重要性を呼びかける等、自主防災組織の結成のきっかけを与えられるような取り組みを行います。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆新設の自主防災組織に対し、活動を支援するため、設立初年度に限り20万円を上限とした防災資機材を交付しました。 ◆自主防災組織の育成及び活動の支援を行うため、助成金を交付しました。 ◆自主防災組織のリーダーを育成するため、習志野市自主防災組織リーダー研修会を開催しました。				
評価指標	◆自主防災組織数	平成24年度数値	◆183組織	平成25年度数値	◆192組織

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆平成25年度は自主防災組織の新規設立の目標を当初3組織としていましたが、結果的に大幅に上回る新規設立となりました。	◆活動状況や意識に、組織ごとの温度差があり、この差をいかにして無くしていくか。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	6組織以上の新規設立を目標とします。
------------	--------------------

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課	
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	市内市立小学校(5・6年生) 市内市立中学校(1・2年生)	
事業名	96 青少年防犯ボランティア「キラット・ジュニア防犯隊」の育成		平成25年度事業費決算見込み額	900,000円
事業の概要	◆自主・自立の防犯対策や青少年の健全育成を目的に、小学生と中学生で組織される青少年防犯ボランティア「キラット・ジュニア防犯隊」の育成を図ります。			
平成25年度事業目標	◆防犯の重要性を活動をととして意識づけができるよう、更なる活動内容の工夫等を行い強化を図ります。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆自転車防犯診断(7月・10月 市営駐輪場5ヶ所において) ◆市民まつり(8月 市民まつり来場者に対しチラシ配布や犯罪被害防止についての呼びかけ等) ◆街頭啓発キャンペーン(まちづくり月間事業 10月 市内7駅において) ◆防犯講演会における防犯寸劇(まちづくり月間事業 10月 振り込め詐欺について) ◆歳末街頭防犯キャンペーン(12月 JR津田沼駅) ◆防犯マップ作製(11月 秋津・茜浜地区) ◆(予定)全体ミーティング(3月 1年間を振り返って)				
評価指標	◆キラット・ジュニア防犯隊隊員数	平成24年度数値	◆ 152人	平成25年度数値	◆ 128人

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	【防犯マップ作製活動後の感想】 ・普段楽しく遊ぶ公園にも危険な場所が隠れていたので注意したい ・危険な場所を市民にも知らせ、犯罪を防ぎたい ・活動を通じて友達ができただ など
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆防犯活動に参加することにより防犯意識が向上し、防犯対策の必要性を認識すると共に自主・自立の防犯対策を身に付けることができました。また、学区の違う子どもたちが集まることで仲間意識を養い、地域住民と活動を実施することで地域の活性化につながりました。	◆限られた時間での活動となるため、活動内容を工夫、検討すると共に充実した活動となる様、引き続き実施していきます。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆活動をととして、防犯についての重要性を考える機会を提供し、直接市民へ啓発の呼びかけをするなど体験型の活動により自主・自立の防犯対策を更に強化を図ります。
------------	---

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	青少年センター	
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	市民	
事業名	97 子ども110番の家の拡充			
		平成25年度事業費決算見込み額		245,875円
事業の概要	◆児童生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力とするため、「子ども110番の家」の拡充を図ります。			
平成25年度 事業目標	◆地域や関係諸機関と連携を図り、継続的に点検調査活動に取り組み、「子ども110番の家」の機能の充実に努めます。 ◆子どもの安全を地域ぐるみで守るため、「子ども110番の家」を1,400軒に拡大し、児童・生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力としていきます。 ◆各小・中学校及び関係団体への「子ども110番の家」の設置協力依頼を積極的に行います。			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆児童生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力とするため、「子ども110番の家」の拡充を図りました。 ◆「子ども110番の家」協力者にアンケート調査を行いました。				
評価指標	◆「子ども110番の家」加入軒数	平成24年度数値	◆1,084軒	平成25年度数値	◆1,031軒

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	有	事業対象者からの意見・感想等の内容	・子ども達の安全のため、今後も継続します。 ・不審者からの避難は、1件もありませんでした。 ・水を飲ませてくださいますやトイレを貸してください等、不審者からの避難以外の活用がありました。 ・在宅者が高齢になり、対応ができなくなったため、退会を考えています。
-------------------	---	-------------------	---

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆児童生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力となりました。	◆今まで協力して頂いている方々が、高齢化で協力できなくなったと、辞退される方が増えてきています。 ◆日中の不在宅が多くなり、協力者の件数が増えない状況です。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆地域や関係諸機関と連携を図り、継続的に点検調査活動に取り組み、「子ども110番の家」の機能の充実に努めます。 ◆子どもの安全を地域ぐるみで守るため、「子ども110番の家」を拡充し、児童・生徒の緊急回避場所を確保するとともに、不審者出没の抑止力としていきます。 ◆各小・中学校及び関係団体への「子ども110番の家」の設置協力依頼を積極的に行います。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	学校教育課・指導課・こども保育課	
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	幼稚園・保育所・こども園・小学校・中学校	
事業名	98 子ども向け防犯教育の徹底			
		平成25年度事業費決算見込み額	-	
事業の概要	◆子どもたちが自分の身を守るためにどうしたらよいかを考え、行動できるように、防犯教育の徹底を図ります。			
平成25年度 事業目標	◆日常の中で潜在する様々な危険を予測し、危険を回避して安全な行動をとることができることを目指して、防犯教育を実施していきます。(学校教育課) ◆自他の生命を尊重することや、発達段階に応じて、地域社会が実施する安全活動へ進んで参加し、地域社会の一員として貢献できるような育成に努めます。(学校教育課) ◆文書等を通じて、主に不審者対策等の徹底を図り、関係機関との連携も密にしていきます。(指導課) ◆日常の危険を回避して安全な行動がとれるように、計画的な訓練の実施と職員や関係機関との協力体制を強化します。(こども保育課)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容		◆月1回の中学校生徒指導担当教員会議を通して、情報を共有化し、関係機関との連携を図りました。(指導課) ◆定期的に文書で、安全生活のための規範意識の徹底を図りました。(指導課) ◆(学校教育課) ・不審者対応訓練を実施し、不審者侵入時における安全確保について理解する機会を設けました。 ・「いかのおすし」を合い言葉に、子どもたちに「自分の身は自分で守る」ことを意識付けしています。 ・不審者情報を各学校へ連絡し、注意喚起に努めています。 ◆(こども保育課) ・不審者侵入を想定した防犯訓練を実施し、「い・か・の・お・す・し」の合言葉を通して具体的な対応の仕方を指導しました。 ・不審者侵入に対する防犯訓練を通して、具体的な職員の対応について共通理解を図りました。			
評価指標	◆幼稚園・保育所・こども園・小学校での防犯教育実施率	平成24年度数値	◆100%	平成25年度数値	◆100%

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆千葉県警京葉地区少年センター、習志野警察署等と連携を図ることができました。(指導課) ◆発達段階にあった指導により、「自分の身は自分で守る」ことの意識付けがなされました。(学校教育課) ◆様々な想定で訓練を実施したことで、子どもを守るために職員がどのように行動すればよいかを明確にし、意識化することができました。(こども保育課) ◆訓練を通して園児が具体的な行動の仕方を身につけることができました。(こども保育課)	◆児童相談所など児童福祉の関係者の出席等も必要であると考えます。(指導課) ◆子どもたちの安全を守るためには、保護者や地域の方の協力が必要であり、体制を整える必要があります。(学校教育課) ◆各学校にあった、防犯対策の為の備品を整える必要があります。(学校教育課) ◆日常の中で潜在する様々な危険を予測して、日々の点検や施設整備を確実に実施していく必要があります。(こども保育課) ◆少ない職員体制での防犯対策について、関係機関との協力体制を強化していく必要があります。(こども保育課)	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆文書等を通じて、主に不審者対策等の徹底を図り、関係機関との連携も密にしていきます。(指導課) ◆子どもの発達にあった、防犯教室等を実施します。(学校教育課) ◆防犯対策の為の備品を整えていきます。(学校教育課) ◆日常の危険を回避して安全な行動がとれるように、計画的な訓練の実施と職員や関係機関との協力体制を強化します。(こども保育課)
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保				
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	指導課	
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者		
事業名	99 学校・警察連絡制度の充実			
		平成25年度事業費決算見込み額		
事業の概要	◆学校と警察が相互に連絡し、情報の共有化を図りながら、児童・生徒の非行防止や安全確保を図ります。			
平成25年度 事業目標	◆有事に備え、常日頃から警察等関係機関との連携を密にしていくことにより、連絡制度の一層の充実を図ります。(指導課)			

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆非行防止や安全確保のため、年4回、小学校・中学校生徒指導主任会議、及び月1回の中学校生徒指導担当教員会議を行い、情報の共有化を図りました。 ◆月1回の中学校生徒指導担当教員会議を青少年センターと共催し、習志野警察署、千葉県警京葉地区少年センターとの連携を密にいくことで、連絡制度の一層の充実を図ります。				
評価指標	—	平成24年度数値	—	平成25年度数値	—

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆定期的に開催する会議を通して、情報の共有化、指導の共通理解を図ることができました。 ◆月1回の会議だけでなく、千葉県警京葉地区少年センター、習志野警察署と連携を図ることができました。	◆情報を広く入手するために、学校と警察に加え民生児童委員などの地域で活動する方とも打ち合わせ等が必要であると考えます。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		B

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆有事に備え、常日頃から警察等関係機関との連携を密にしていくことにより、連絡制度の一層の充実を図ります。
------------	--

習志野市次世代育成支援対策行動計画(後期計画)実績表【平成25年度】

3 親と子どもの健康・安全の確保			
基本施策(中項目)	2 安心、安全な生活環境の整備	担当課	危機管理課
施策内容	2 防犯・防災対策の推進	事業対象者	ケータイ緊急情報サービス登録者
事業名	100 ケータイ緊急情報サービスの提供		
		平成25年度事業費決算見込み額	819,000円
事業の概要	◆防災情報のほか、火災等の消防情報、緊急時の注意を呼びかける防犯対策情報等を、市民にとっての重要情報としてメールでお知らせするとともに、登録者数の拡大を図ります。		
平成25年度事業目標	◆ホームページや広報紙、各種事業で事業内容をPRし、登録者数の増加を図ります。		

1. 平成25年度に実施した事業内容並びに、後期計画の評価指標として掲げた指標の平成25年度数値をご記入ください。

平成25年度に実施した事業内容	◆犯罪発生状況等、重要情報の配信(平成25年12月末) ・犯罪発生状況 69件 ・火災 68件 ・行方不明者 18件 ・光化学スモッグ 17件 ・不審者情報 9件				
評価指標	◆ケータイ緊急情報サービス登録者数	平成24年度数値	◆10,133人	平成25年度数値	◆10,867人 (平成25年12月末)

2. 事業に対する事業対象者からの意見・感想等の有無並びに、有の場合の事業対象者からの意見・感想等の内容をご記入ください。

事業対象者からの意見・感想等の有無	無	事業対象者からの意見・感想等の内容	
-------------------	---	-------------------	--

3. 平成25年度に実施した事業内容や評価指標の数値を踏まえ、事業実施後の成果・課題並びに、事業達成度をご記入ください。

事業実施後の成果・課題【事業達成度の根拠となるように事業実施後の成果と課題をご記入ください】		
成果【事業を実施した結果どのような成果があったかご記入ください】	課題【事業を実施した結果どのような課題が残ったかご記入ください】	
◆緊急かつ重要な情報を迅速に配信し、市内で発生している事案を周知することにより、必要な防犯対策等を講じてもらうことができました。	◆緊急情報への認識を高め、更なる登録者数の増加を図ります。	
平成25年度の事業達成度 (A…達成 B…達成できなかった部分があるが、達成できた部分の方が多い C…達成できた部分があるが、達成できなかった部分の方が多い D…未実施 E…休止・廃止)		A

4. 平成25年度事業実施後の課題等の改善を踏まえ、平成26年度において達成すべき事業目標を具体的にご記入ください。

平成26年度事業目標	◆ホームページや広報誌、各種事業で事業内容をPRし、登録者数の増加を図ります。
------------	---